滿鐵調查資料 第三十四編

㊙

滿洲に於ける外人經濟勢力狀況

南滿洲鐵道株式會社
庶務部調査課

正誤表

頁	行	誤	正
一〇	三	Dentche●	Deutche○
五四	九	在安東外國籍別人口	在安東外人○國籍別人口
八〇	九	約十●割足らず	約一○割足らず
一一〇	六	機國●銀行	機關○銀行
自一七一 至二二二	欄外	滿蒙●に於ける歐米人の文化事業	滿洲○に於ける歐米人の文化事業
二三六	一〇	商業道法●	商業道德○ ~~（書本頁）~~

或は此の外尚誤植あるやも知れないが此處には印刷後直ちに先づ發見し得たものを擧ぐ

序言

日露戰爭の結果南滿洲鐵道及關東州が吾手に歸してより今日に至る約二十年其間に於ける南滿洲經濟事情の進展は實に驚くべきものあり、從つて又南滿洲に於ける日本經濟勢力も著しく伸張し歐洲大戰後は其の經濟勢力北滿にも浸潤することゝなりて今や滿洲は大體に於て我經濟勢力下に在るといふも過言ではない、然れども其の基礎たるや堅實確乎といふことを得るや甚だ疑はしい。

一方滿洲發展の機會を常に窺窬するものに米國あり、更に復興力旺盛なる歐洲諸國も最近は著々其侵略の手を滿洲に延しつゝある。

由來滿洲は吾日本にとり過剩人口のはけ場所として又工業原料の供給地として更に近時は我商品の需要地として(政治的重要さは今述べないでも)至要なる關係を有してゐる、故に若し今後に於て他國の經濟勢力の增大を見て我經濟勢力の衰微することありとすれば實に之れ重大問題といはなければならない。

茲に於て余は本研究に依り滿洲に於ける外人の經濟勢力狀況を檢察し更に邦人の現狀を顧みて吾同胞の發奮を刺戟すると共に且つは吾が將來に於ける對策の一考察たらしめんと試みた。

即ち第一章に於て先づ滿洲は日本經濟勢力の絕大なる所なれども亦米、英、獨等

の外國經濟勢力も著々發展の過程を辿りつゝ在りて決して油斷し得ざる事情を概述し次に第二章及第三章に於て貿易上及居住人口上より列國の地位を看第四章及第五章に於ては滿洲主要都市に於ける外人經濟活動狀況を稍々詳しく觀察した更に第六章に於ては歐米人の經濟的發展と常に密接なる關係を有するその文化事業を說述することゝした。

以上に依り滿洲に於ける外人經濟勢力の現狀を知り得て第七章に至り在滿邦商の現狀を之に對比し第八章に於ては之が結論として邦商の對外商滿洲發展策を述べたのである。

然れども余は未だ實際の經濟事業に當りたるの經驗なく從つて機微の點に觸るゝこと能はざりしを遺憾とするが之を以てしても幾分邦人の反省に資する所あれば幸である。

終りに筆者は本調查に多大の便宜を與へられた諸彥及參考とした書の編著者諸彥に對して感謝を捧げる。

大正十三年三月十二日

調查課にて

菊　田　直　次

凡例

一、外國人と云ふ時は日本人及支那人を除きたるものとす、尚北滿地方を述ぶる時は露國人をも除くものとす。

一、經濟狀況と云ふも此には商業方面を主とし工業方面は之を本調査課に於ける企業調査に讓ることゝした、只時々幾分之に觸るゝことあるは免れない、尚商業といふも俠義に於ける商業である。

滿洲に於ける外人經濟勢力狀況

目次

滿洲に於ける外人經濟勢力狀況

滿鐵調查課　菊田直次

第一章　滿洲に於ける外國經濟勢力の發展

外國にして滿洲の地に先づ手を染めたものは露國である、露國は北に偏して尨大なる土地を領し內に寶庫を藏しながら良好なる海港を有せず爲めに永く經濟的假眠の狀態にあつた、かくて有利なる海に侵出することは彼の宿望であつたが歐洲に於ては列强の爲めにその驥足を延すべき進路を塞がれ終に彼は目を轉じて東洋に侵出し滿洲の大平野に東淸鐵道を敷設し旅順を得大連に築港してこゝに輸出入貿易の根據を据ゑんとしたのである、而るに偶々日本の抗議に會ひ日露戰爭の結果露國の勢力は長春以北の北滿の地に縮少され已むを得ずして彼は浦汐中心主義を採るに至つた、かくの如くにして滿洲の地が大體に於て北滿は露國南滿は日本の勢力範圍と云ふ二大分野に分れたことは是れ周知の事實である。

而るに歐洲大戰の勃發次いで露國革命の爲め露國の疲弊と歐洲列强の東洋を顧みるの遑なかつたことは日本の經濟的勢力を大いに北滿にも延さしめることとなつたが大戰終熄後殊に華府會議後英、米、獨等の歐米人が此の滿洲に經濟的活躍を初めたことは實に注目を値せしめるものがある。

一、米　國

歐洲の世界は今猶混沌として安定を見出し得ない、歐洲大戰の總淸算は未だ仲仲目鼻もつきさうにない狀態にある、これが解決の鍵を握つてゐるものは一に米國であるが彼は戰爭中歐洲諸國に貸付けた元利百二十億弗を抹殺相殺せられることを好まず歐洲現下の紛爭に卷込まるゝを避けてゐる、彼は有り餘る資金を最もその放資を望んでゐる歐洲諸國に投せずして之を極東殊に支那に放資し歐洲列國が大戰の瘡痍未だ癒ねず國內の整理に忙殺せられ外に向つて十分手を延し能はざる事情に乘じて自國の經濟的勢力の基礎を築き歐洲諸國を抑へ殊に英國に代つて一大金融的勢力を獲得せんとするは是れ當然とする所であらねばならない、今日滿蒙に於て最も括目すべきものが米國の活動であるのは實に之が爲め

である、抑々米國が滿洲に關係を持ち初めたのは日露戰爭の終結に彼が盡力した時からで其後滿洲侵略の第一步は先づ鐵道王ハリマン氏に依つて初められた、ハリマン氏は豫てより日本滿洲西比利亞歐露及大西洋を通じて統一されたる世界一週運輸幹線をアメリカの支配の下に建設するの大計劃を有してゐたが此の大計劃の第一著手として且つは極東に於ける亞米利加勢力の擴張と亞米利加の商業の發達との爲め此處に日本が戰爭の結果露西亞より獲得したる南滿洲鐵道の支配權を獲得せんと企劃したのである、當時此の線が實質的に甚だ不滿足なる狀態にありたると而も一方日本が戰費の重き負擔に苦しみつゝありしとはアメリカの資本を以て之が改造せんとするハリマン氏の企劃をして殆ど實現するの運びにまで到らしめたがポーツマウスに於ける日本全權小村壽太郎男の反對に依つて淡くも破れてしまつた、時に一九〇五年であつたが一九〇六年再びハリマン氏はその企劃を復活せんとしたるも又小村男の強硬なる反對に遇ひかくて彼の計劃したる世界一週運輸線に於ける主要鏈條として南滿洲鐵道の管理又は部分管理を獲得せんとする企は終熄したのである。

而し乍ら彼ハリマン氏は此の失敗に依つても彼の計劃を斷然放棄はしなかつ

た、彼は更に他の鐵道を敷設して渤海灣とシベリア線との間に橋渡を爲さうと考へた、然し一九〇六年十二月の日支條約に於ける「南滿鐵道の附近又はそれに平行して幹線を決して施設せず」といふ條項は彼の此の企劃を實現する上に於て大なる妨げであつた、而るにも係はらず或は「附近」なる文字に牴觸せずとしてペチリ灣よりチチハルに到る新線を敷かんとし或は時の奉天省長唐紹儀氏等と聯絡して滿洲銀行を起し之に依つてチチハル璦琿間に鐵道を敷設せんとする等種々劃策する所あつたが支那政變により唐紹儀氏の失脚及ハリマン氏の死去（一九〇九年）は此等の計劃を凡て中止せしむべく餘儀なくせられた。

余は云ふ「中止」と、實にハリマン氏の企劃は其後と雖も決して亞米利加人の頭より離れてはゐないのである。

看よ!!米國は一九一一年當初に於て「米國は支那の主權を侵害するの虞れある列國の政治上及經濟上の借款團への加入を拒絕す」と公言して列國借款團より斷然脫退したるにも係はらず一九一八年には新に自國を中心とする新借款團を提唱し翌年五月之が成立に際しては「洮南熱河鐵道及洮南熱河鐵道の一地點より海港に至る鐵道は借款團規約の條項內に包含せらるゝものとす」と確認し南滿洲鐵

道の對抗線敷設權を新借款團の手に移してしまつた、更に又一九二一年の華府會議に於ては日本は對支優先權放棄を聲明すべく餘儀なくせられた、卽ち日本は(一)南滿洲及東部內蒙古に於ける鐵道敷設の爲めの借款及右地域に於ける課稅を擔保とする借款に關し特に日本資本家のみに與へられたる優先權を新借款團の共同事業に提供し(二)南滿洲に於ける政治、財政、軍事若くは警察に付き日本人顧問若くは敎官の傭聘をなさしむべき日支取極に依る日本の優先權を放棄し更に(三)一九一五年の日支條約に於ける日本政府最初の提案中の第五項を撤回したのである、尙華府會議には門戶開放決議事項あり。

此等の事情を顧み來る時米國の心中は蓋し察し得られるではないか、こゝに於て米國の滿洲發展の野望は一層活氣を呈して來た、加ふるに他面露國の政變に依り西比利亞、東支、烏蘇里等の鐵道が混沌狀態に陷入るや米國は之等の共同管理を主張しスチーヴンス氏の大活動を見て北滿に於ける米國勢力の地盤は相當强固に築かれることを得た。

かくの如くして米國は今後益々滿洲に於ける發展を企圖しつゝある、而して日本の最も注目すべきものも米國の活動にして吾人は常に之に對する用意を怠る

ことを得ない。

二、英國

滿洲に於ける英國の發展は米國のそれの如く著しきものではない、然しそれはより古くより堅實である。

抑々英國は咸豐八年(一八五八年)英國と清國との間に締結せられたる所謂天津條約に於て滿洲に於ける開港地を今の營口に相し自由貿易港として開放したる時に先づその發展の第一歩を印した、露國が東清鐵道を敷設し大連に築港するに至り營口の繁榮は漸次大連港に奪はるゝことゝなつたが當初營口は滿洲に於ける唯一の大貿易港にして遼河の水運により奥地に通ずる咽喉をなしてゐた、英國は疾くに對滿貿易の根據を此處に据ゑた、今日も英國の對滿貿易の策源地が營口に存し又營口が大體に於て英國の勢力濃厚なるも之が爲めである。

然れども大連港及浦汐の發展は追々營口をして衰微せしめたると最近米國の目覺しき發展振とは又英國人を刺戟して奉天に出で北滿に發展の基礎を確立するに營々努力せしめてゐる。

先きにも一言述べた如く英國の發展は著しく堅實である、一度び地盤を獲得したる時は他の容易に侵し得べからざる强固なるものとなる、卽ち若し米國の發展を馬の走驅とすれば英國のそれは牛の步みである、馬の疾走は時に横道にそれる恐れがあるが牛の步みは堅實に大地を踏みしめ著々目的地點に向つて進む、吾人は此の點を忘れてはならない。

上海を中心として中部支那の對外貿易は英國勢力の根深く蟠居する所である而して今日滿洲殊に哈爾賓を中心とする北滿の對外貿易(對歐米)は多く上海を中繼するものである、此處に於て英國が對滿貿易に於て有する便宜は蓋し大なるものがあるわけである。

最近香港上海銀行は大連及び哈爾賓に大建築の事務所を建設して恰も滿洲發展を大企劃しつゝあるものゝ如くである。

歐洲の大戰は一時英國の對滿(對支)發展を手控へせしめ更に戰後の整理は又充分なる對滿(對支)發展を許さないとはいへそは程度の問題にして彼の對滿發展の意圖は決して中止せられるものでも減少せられるものでもない。

更に英國は露國の混沌狀態により國際關係斷絕の爲めその食料の一大供給地

を失ひたるが彼はその補充を支那滿洲に於て獲んとした、上海、漢口、哈爾賓等に大屠殺場、大工場を建設して鑵詰を製造し盛んに英本國に輸出しつゝあるは實に之が爲めである、最近英國は露國政府を承認して國交を恢復したるが、支那滿洲に於て鑵詰を製造し英本國に輸出することは依然持續し且つ益々發展せしむるであらう。

滿洲に於ける英國の地位は斯の如し、又吾が一大強敵といはなければならない

三、獨逸

支那滿洲に於ける獨逸の勢力は歐洲の大戰によりて一掃せられ昔日の俤は全くない、然れども近時恢復の徵著しく滿洲にも獨逸品の輸入せらるゝもの多く奉天に於て最近電車敷設權は獨逸人の手に落ちた程である。

抑々獨逸は從來露國との關係密接にして政治的にも經濟的にも離るべからざる仲にあつた、露國に於ける外資は獨逸に俟つこと最も多くその製造工場に獨逸勢力の加はること又大にして露國人の使用消費する商品は殆ど獨逸品であつたのである、西比利亞鐵道、東支鐵道、烏蘇里鐵道等を敷設するに當りても其の材料は

凡て之を獨逸より仰いだ、かくて西伯利亞、北滿にも戰前獨逸の扶殖したる商權は之を一朝一夕にして復がやし能はざるものあり、歐洲大戰と露國政變とは一時邦品をして西伯利亞にまで侵入せしめたがそは全西伯利に行き亙りたるものに非ず僅かに重要都市及其附近に滿たされたるに過ぎずして深き根柢を築くことは出來なかつたのである。

かくて戰後は再び獨逸商品の侵入を見ることゝなり而も露西亞人は獨逸品と云へば之を喜び迎へるといふ調子である。

今日獨逸は戰敗國民として臥薪嘗膽の苦をなめつゝ鋭意國力の恢復に日も是れ足らざる努力を爲しつゝある、今此の獨逸復興力の旺盛なることに關し哈爾賓商業會議所時報第一號に載する所を次に記してみよう。

「獨逸はハンザ汽船會社を中心として瑞典東亞線、諾威阿弗利加濠線の二社と相協力し歐大陸印度間の戰前勢力の恢復に努めつゝあるに非ずや、而して英國は獨逸に比し船費不廉なると爲替相場の關係にて獨商品より高價なるに依り英國船主及貿易業者は尠からざる脅威を感じつゝあるに非ずや、又英本國に於ても低廉なる獨逸品の爲に壓迫せられ英國の生產業者をして怨嗟の聲を放た

しめつゝあるに非ずや、翻つて米國に於ける獨逸商の狀態を見るに去る十月五日(十一年)The Interocean syndicateを組織し主腦に前米國船舶局長イ、エム、エリオツト氏を戴き其後にExport Gesellscbaft Dentche Fabrikate在り本會社はオツロー、スヒロイフエル及獨逸皇帝の義兄弟なるメラレンバーク公を長となすものにて兩社間には通信の交換を爲すと云へり、該シンジケートは獨品販賣の全權を有し常に市場の狀勢及流行の推移に留意し投資に依り獨品の市場に橫溢するの弊を警め商品は種類により部門を定め各專門家をして擔當處理せしめ本社は之を指揮監督すと云ふ、尙又歐洲に於ける中立國たりし諸威、瑞西等は相聯合して獨逸のダンピンイ政策防止に腐心しつゝ在り、斯くの如く獨逸商品は歐米市場を脅かしをれり、かく到る所の市場を脅かす結果各國は獨逸品に對し高率の關稅を課し又積極的對策として國內工業保護に努め自國輸出品に對し便宜を與ふる等極力防止策を講じつゝあり、獨逸四圍の狀勢斯くの如き結果獨逸は是に對する策として伯林に「獨逸輸出協會」なるものを組織し部門を二つに分ち一は怠慢市場に對する對策の研究、需給の調節、極度の分業組織に依り生產費の低廉、製品の精巧に努め又一方に於ては企業集中に努力怠らざるものあり、尙國內物價

調節策として(一)生産費遞減(二)住宅及工場貸借賃の人爲的制限(三)食料の國家保護(四)鐵道運賃及運賃の引下げ(五)獨逸物價を世界市場標準點に昇騰せしむることに努めつゝ在り、斯くの如く戰後の獨逸は內に國勢の恢復に努め外に自國商權擴張に最大の努力を爲し居れり、此秋に際し獨逸復興に最も深き關係を有するものは露國にして露の商品缺乏は獨逸品の賣込に地理的關係より便なるものなり、露の勞力缺乏(技術者)はやがて獨露の關係を益々濃厚に導くものなり、露の鐵道運輸の破壞は技術的方面より獨の手をからざるべからざるべく斯くして經濟的に露獨の關係密なると共に獨の商權が露國に浸潤し來ることは當然の事なりとす、ジヤパンクロニクルの報導する所に依れば戰後獨逸勢力の露國浸潤迅速なる事を示し莫斯科に於ては早や獨逸新聞の發刊を見獨品は非常なる歡喜を以て迎へられつゝ在りと云ふ、尙在莫斯科獨逸代表ウヰーデンフヰールド氏は露獨通商は遠からず活氣を見るべしと報じをれり、斯くの如く露獨關係は接近し來れり、而して獨逸品の露國侵入も遠からず復活を見順次極東市場に姿を現はし而して戰前の獨占狀態に進まん」

歐洲大戰の結果極度に疲弊したるにも係はらず獨逸が滿洲にまでも再び發展

の步を踏み初めつゝあるは又何等不思議とするに足らないのである。

獨逸國內の平定せずマーク相場の變動(下落)激しきと西伯利亞鐵道の未だ全く恢復せざるとは獨逸の對滿發展に一大障碍を與へるものであるが又將來必ず怖るべきものがある。

英、米、獨等が對滿發展を企劃しつゝあること以上累々述べたるが如し、此の間に伍して日本は將してその發展を持續することを得るや否や。

第二章　列國の對滿貿易狀況

滿洲に於ける各國の經濟勢力狀態を知らんとする時先づ見なければならないものはその貿易狀況である、更に又之が貿易統計を見る時は大體に於て其趨勢を間違いなく推定することを得るであらう、依つて次に各國別貿易數量を擧げることとした、而して之が統計資料は全部本調査課發行の北支那貿易年報より採りたるものにして詳しくは同書を見られたい。

註　一、以下輸移出入といふもとは滿洲より見たるものにして卽ち輸移出といふ時は滿洲より各國に輸移出すること、輸移入といふ時は各國より滿洲に輸移出することである。

二、以下揭ぐる統計は大連、營口、安東の海關統計にして南滿のみに限るが如くであるが現在ポクラニチヤ及滿洲里に於ける輸移出入品數量は大數ならざると之が適當なる統計得難き爲め之を省くことゝした。

三、單位は凡て海關兩なり、而して海關兩の對外國貨幣平均相場表は左の如し。

海關兩對外國貨幣平均相場表

年次＼種別	日貨	英貨	米貨	佛貨	獨貨	印度貨	露貨	墨貨
大正十一年 一九二二	円一・七二	志片三九	弗〇・八三	法一〇・二三	—	留比二・八七	—	弗一・四九
大正十年 一九二一	円一・五七	志片三・一一$\frac{7}{16}$	弗〇・七六	法一〇・二九	—	留比二・九二	—	弗一・五〇
大正九年 一九二〇	円二・三八	志片六九$\frac{1}{2}$	弗一・二四	法一七・七九	—	留比三・三四	—	弗一・五八
大正八年 一九一九	円二・七二	志片六四	弗一・三九	法一〇・一二	—	留比三・五四	—	弗一・六八
大正七年 一九一八	円二・三七	志片五三$\frac{7}{16}$	弗一・二六	法七・一一	—	留比三・五五	—	弗一・六一
大正六年 一九一七	円一・九八	志片四三$\frac{13}{16}$	弗一・〇三	法五・九四	馬克四・七八	留比三・一一	留五・〇八	弗一・六三
大正五年 一九一六	円一・五四	志片三三$\frac{13}{16}$	弗〇・七九	法四・六三	馬克三・六八	留比二・四六	留二・五二	弗一・五四
大正四年 一九一五	円一・二五	志片二七$\frac{1}{8}$	弗〇・六二	法三・三九	馬克三・六七	留比一・九五	留一・六三	弗一・四一
大正三年 一九一四	円一・三四	志片二八$\frac{3}{4}$	弗〇・六七	法三・四五	第克二・七九	留比二・〇四	留一・三六	弗一・四七
大正二年 一九一三	円一・四七	志片三〇$\frac{1}{4}$	弗〇・七三	法三・八一	馬克三・〇八	留比二・二五	留一・四四	弗一・五一

大正九年 1920		大正十年 1921			大正十一年 1922		
輸移出	計	輸移入	輸移出	計	輸移入	輸移出	計
81,295,485	163,683,562	71,559,487	89,774,085	161,333,572	71,313,395	80,455,668	151,769,063
19,016,408	24,910,494	6,458,549	13,063,829	19,522,378	3,684,840	18,795,751	22,480,591
101,774	101,819	197,902	65,328	263,230	121,414	43,566	164,980
—	—	—	—	—	—	36,391	36,391
—	1,287	867	—	867	600	—	600
1,540,184	6,016,612	6,996,009	3,439,334	10,435,343	4,774,064	2,536,725	7,310,789
31,227	51,660	49,503	289,848	339,351	14,262	591,570	605,832
46,112	46,112	—	—	—	30,048	32,820	62,868
—	—	73	—	73	1,433	—	1,433
247,834	378,784	100	162,714	162,814	28,685	140,805	169,490
—	506,743	2,517,017	36,300	2,553,337	1,080,977	—	1,080,977
1,891,581	2,554,953	1,158,603	4,203,095	5,361,698	846,360	6,425,997	7,272,357
5,271,865	7,186,352	2,017,542	4,418,839	6,436,381	3,203,366	4,696,515	7,899,881
7,421	114,803	176,483	87,623	264,106	165,201	281,411	446,612
251,761	300,266	597,318	1,074,131	1,671,449	1,230,159	1,085,893	2,316,052
527,015	598,973	198,232	612,981	811,213	699,752	413,390	1,113,142
1,364,649	1,385,083	144,325	102,436	246,761	36,188	521,776	557,964
—	—	—	—	—	20,164	—	20,164
—	—	25,858	—	25,858	6,975	4,674	11,649
5,688,283	5,719,048	59,255	3,318,589	3,377,844	336,788	2,119,020	2,455,808
543,204	547,661	51,471	806,285	857,756	71,096	501,302	572,398
—	3,388	2,538	—	2,538	5,148	4,674	9,822
—	—	—	161,762	164,762	2,242	—	2,242
—	—	—	—	—	—	90,685	90,685
4,293,361	4,297,094	10,234	481,857	492,091	425,494	591,502	1,016,996
7,071,804	18,948,314	12,512,078	2,822,658	15,334,996	15,582,169	4,771,838	20,354,007
—	923,130	19,181	102,857	122,038	866,648	107,633	974,281
—	—	13,398	—	13,393	—	—	—
2	311,770	1,547	—	1,547	54,881	—	54,881
12,651,988	13,053,349	8,562	11,537,677	11,546,239	401,209	4,446,631	4,847,840
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	654,739	—	654,739
141,841,903	251,701,257	104,776,512	136,568,223	241,344,735	105,658,297	128,696,237	234,354,534
57,928,001	90,523,440	67,987,434	46,783,711	114,771,145	59,977,602	78,751,712	138,729,314
9,191,404	20,569,964	9,710,860	10,723,143	20,434,003	9,697,758	12,481,598	22,179,356
47,119,405	111,093,344	77,698,294	57,506,854	135,205,148	69,675,360	91,233,310	160,908,670
188,951,309	362,794,601	182,474,806	194,075,077	376,549,883	175,333,657	219,929,547	395,263,204

今以上の統計より各國の對滿貿易に於て占むる地位を明かにする爲め左に主要國の順位及貿易數量を並べてみよう。

輸出入合計上より見たる各國の順位及貿易數量

年別＼順位	一	二	三	四	五	六
大正二年	日本 六四、九四一、七七六	朝鮮 六、四〇八、〇八〇	香港 三、八七九、九〇九	北米 二、六三三、八四三	英國 二、四三四、五二〇	獨乙 一、九六四、一八六
大正三年	日本 六八、八〇九、七五五	朝鮮 五、八四〇、四〇九	北米 五、七五〇、〇八八	英國 四、三七九、六八八	香港 三、六八七、七九三	露國 二、七七四、〇一六
大正四年	日本 六四、一四一、四四五	朝鮮 八、二二八、五七四	香港 四、一六二、二八一	英國 三、四二三、四三五	露國 三、三四三、八九二	北米 三、〇五八、九五九
大正五年	日本 七五、八七一、六七七	朝鮮 九、三三七、二六〇	北米 五、〇三二、八六四	香港 四、八三一、四〇〇	英國 三、五〇〇、三八九	丁抹 二、〇九九、三三五
大正六年	日本 一一〇、九六三、一〇九	北米 二一、四四九、七六五	朝鮮 一三、六二九、九六三	香港 五、三六七、六四六	露國 二、一一八、二八二	丁抹 一、一六六、八二三
大正七年	日本 一二七、九四三、五七〇	北米 三九、四二八、九五二	朝鮮 一五、五九六、五五九	香港 六、二六七、二二五	蘭領印度 二、〇三二、八五三	英國 一、二二六、七五七
大正八年	日本 一八八、八五〇、九〇六	北米 二九、八九八、三四九	朝鮮 二三、六〇四、二六〇	英國 七、〇五六、七四七	香港 四、二二五、八八八	蘭領印度 二、八七三、三二〇
大正九年	日本 一六三、六八三、五六二	朝鮮 二四、九一〇、四九四	北米 一八、九四八、三一四	英國 七、一八六、三五三	香港 六、〇一六、六一三	和蘭 五、七一九、〇四八
大正十年	日本 一六一、三三三、五七二	朝鮮 一九、五二三、三七八	北米 一五、三三四、九九六	香港 一〇、四三五、三四三	英國 六、四三六、三八二	蘭領印度 五、三六四、六九八
大正十一年	日本 一五一、七六九、〇六三	朝鮮 二三、四八〇、五九一	北米 二〇、三五四、〇〇七	英國 七、八九九、八八二	香港 七、三一〇、七八九	蘭領印度 七、二七二、三五七

これに依つてみる時は日本は常に第一位に在る殊に朝鮮を含む時は實に絕對多數を占めてゐる、然れども北米合衆國の發展は著しきものあり、大正二年に於て

第四位貿易額僅かに二、六三三、八四三海關兩に過ぎなかつたが大正六、七、八年に於て第二位、大正十一年に於ては第三位貿易二〇、三五四、〇〇七海關兩に達した、更に英國は戰時中發展の歩を止めてゐたが戰後は又稍擡頭の傾向にある、殊に香港及英領海峽植民地を含む時は米國と比肩しつゝある。

かくて現在に於ては日本は一歩飛び離れた地位に在るが將來日、米、英の三國は大體に於て競爭關係に在ると見ることを得るであらう、今日、米、英三國の對滿貿易につき大正二年より大正十一年の增加割合を見れば次の如くである。

日本	約二・〇三倍
米國	約七・七〇倍
英國	約三・二五倍

更に日本の朝鮮を含み、英國の香港、英領海峽植民地及英領印度を含みたるものを見る時は(比律賓は少しく色彩を異にするを以て米國に含ませないことゝす)

日本	約二・四四倍
米國	約七・七〇倍
英國	約二・四四倍

右に述べたる所は輸出入合計上より見たるものであるが滿洲内に於ける列國品の競爭關係を見る爲めには特にその輸入狀況を見なければならない、依つて次に又先の統計より輸入上より見たる各國の順位及その輸入數量を並べてみよう

輸入上より見たる各國の順位及其數量

年別＼順位	一	二	三	四	五	六
大正二年	日本 二九、七七五、〇八九	北米 二、五〇二、五四〇	香港 二、三七九、八七三	朝鮮 二、一六五、六六八	英國 二、〇八〇、七〇五	獨乙 一、九〇五、三六二
大正三年	日本 三三、三二〇、六八三	北米 五、〇三九、〇一七	朝鮮 二、五八三、三七四	香港 二、五〇三、四一九	英國 二、二〇七、三二九	露國 一、七四三、四四四
大正四年	日本 三〇、六四三、一九〇	朝鮮 二、九四九、二一八	香港 二、六六三、五三七	北米 二、六四三、四一六	露國 二、五五四、一二一	英國 九八二、五八七
大正五年	日本 四三、七四三、三四五	朝鮮 四、一四五、八九七	香港 三、五五一、七一〇	北米 二、四七八、六五五	英國 一、〇九九、六〇三	露國 一、〇三三、五五四
大正六年	日本 七二、〇七四、六六九	北米 五、五二八、一一三	朝鮮 五、二六四、一八〇	香港 四、一五七、一九五	露國 一、九四〇、七七五	英國 一、一二九、〇二八
大正七年	日本 六九、四五一、七三九	北米 一一、〇五四、九八七	朝鮮 四、九四四、〇七三	香港 四、六三九、五〇九	加奈陀 一、一〇六、七八二	蘭領印度 九八九、五五五
大正八年	日本 九二、〇五八、一六三	北米 一九、五〇〇、七七八	香港 三、二三三、二四〇	朝鮮 五、三三八、五六八	蘭領印度 一、八〇七、三三四	英領印度 一、七五三、五五七
大正九年	日本 八二、三八八、一二七	北米 一一、八七六、五一〇	朝鮮 五、八九四、〇八六	香港 四、四七六、四二八	英國 一、九一四、四八七	加奈陀 九二三、一三〇
大正十年	日本 七一、五五九、四八七	北米 一三、五一三、〇七三	香港 六、九九六、〇〇九	朝鮮 六、四五八、五四九	英領印度 二、五一七、〇二七	英國 二、〇一七、六四三
大正十一年	日本 七一、三一三、三九五	北米 一五、五八二、一六九	香港 四、七七四、〇六四	朝鮮 三、六八四、八四〇	英國 三、二〇三、三六六	獨乙 一、二三〇、一五九

自大正二年度至大正十一年輸入增加比率

	大正二年	大正十一年	增加比率
日本	二九、七七五、〇八九	七一、三一三、三九五	約 二・三九倍
米國	二、五〇二、五四〇	一五、五八二、一六九	約 六・二二
英國	二、〇八〇、七〇五	三、二〇三、三六六	約 一・五三

日本(朝鮮を含む)米國及英國(英領海峽植民地、香港、英領印度を含む)の自大正二年至大正十一年輸入增加比率

	大正二年	大正十一年	增加比率
日本	三一、九四〇、七五七	七四、九九八、二三五	約 二・三四倍
米國	二、五〇二、五四〇	一五、五八二、一六九	約 六・二二
英國	四、七七九、一六〇	九、〇八七、〇九二	約 一・九〇

茲に於ても亦米國の發展の度著しきを見る、只茲に注意すべきは獨逸は戰前主として西比利亞鐵道に依つてその商品を滿洲に輸入した、而して戰時中は露國政變及西比利亞鐵道の破壞と相俟つてその商品全く滿洲の市場より姿を沒したが戰後は再び侵入の步を始め大正十一年度に於ては第五位輸入額一、二三〇、一五九海關兩に達し若し戰後の整理と西比利亞鐵道の恢復を見たならば獨逸品の滿洲輸入の著しく增加すべきを想はしむ。

而らば次に各國より滿洲輸入の商品は如何なるものであるかを檢してみよう大正十一年度に於ける南滿洲三港輸移入品數量及價額は左の如くである。

大正十一年南滿洲三港輸移入品數量及價額仕出國別（價額單位海關兩）

品名	數量單位	外國品 日本 數量	日本 價額	朝鮮 數量	朝鮮 價額	支那 數量	支那 價額	香港 數量	香港 價額
綿織物		—	二八、三五三、四〇八	—	五一、七七四	—	七、三三〇、一七七	—	一六、二五八
毛及毛綿交織物		—	六二七、九七一	—	一一、七九六	—	八八三、八八八	—	七、二八四
絹及絹綿交織物		—	一九四、四七六	—	一三二	—	一二、七四六	—	三〇〇
其他雜織物		—	三四八、四五五	—	四三、四九八	—	五二二、七八六	—	三八五
綿縫絲		—	一二六、一二七	—	—	—	三二五、六〇三	—	二一二
綿織絲	擔	一八〇、九八六	八、四六三、八一一	六九	三、七七二	三、二四五	九四〇、四四四	八九六	三三、〇五四
棉花	同	二五四	二、二九五	一四三	一、一三四	一三〇	四、八七四	二四	四八七
繭蠶絲及絹製品		—	三四、九七九	—	一一、七〇一	—	六、六七六	—	—
其他絲縷及材料		—	三四八、六〇二	—	五、二二九	—	六八、二六六	—	六、二二三
衣服及附屬品		—	二、七九九、四二五	—	二一、四五六	—	七四、八四二	—	一二、一九四
米	擔	九三、八二七	四三八、二八四	六七、五〇八	五二三、八三六	七、六〇三	三三、三六二	一三八、九三四	五六六、六二九
其他穀物及種子	同	一二、一八五	六八、六一四	三〇、四八五	六七、六二一	七九	一、〇四四	八五	二五三
麥粉	同	一〇八、三五五	五五〇、三一一	一、三三〇	六、九三七	五三、七四〇	二五五、〇七四	一、三六四	七、二三四
野菜及果物	同	一七八、九〇五	一、〇五六、八四三	一〇、三三三	九五、八〇二	六〇三、八七一	三四、四四八	一〇、七四四	三六、八五〇
砂糖	同	一七三、七九六	一、二七六、八三九	一三、一八八	九一、九八三	六四、五三二	五九八、一四八	二八九、四〇四	一、八三九、七六九
味噌及醬油	同	九、二六四	一〇一、四四六	三、四七七	二九、一四八	六六	八六二	—	—
水産物	同	二三、六三〇	一、三八九、一二三	三三、八二三	二八九、七七二	七、七四五	八一、七九六	三六三	三三、六六一
其他食料品	同	—	六五八、〇〇四	—	一五、二六四	—	三五九、九四三	—	六一、一三三
茶		二、八二九	一〇三、八二三	一	三八	四〇	二、五〇六	—	—
酒類及其他飲料		—	一、四二八、一九一	—	八三、四七〇	—	三四三、三九五	—	—
煙草		—	三六七、一八四	—	五七、〇三三	—	二、一一七、一六五	—	八、八一二
卷煙草製造材料		—	三九〇、二七三	—	四、〇四六	—	四二、七二九	—	一五〇
家具		—	七三四、九五五	—	四、六〇九	—	九六、三九六	—	一、八四一
藥品及藥材		—	一、三三八、八二四	—	三七、一三四	—	二一七、八七八	—	一五六、四九九
染料及塗料		—	三〇八、九二五	—	四〇、八一九	—	二、七一四、六一〇	—	一三三、八一四
石油	米哦	一、九〇、一六五	一四八、二七四	—	—	四〇二、七一三	一三四、八九六	—	—

機械油	噸	五四五、三三二	二、七〇〇、二三一	四〇、四七八	一六、六六四	三〇〇、八四八	一七七、三九八	—	—
其他油脂		—	一四九、四九三	—	四七七	—	四七、五四九	—	一三、八三〇
蠟燭	擔	一四三	三、九二八	—	—	八、二七一	一六一、三五五	—	—
蠟燭製造材料		—	一五〇、四六七	—	—	—	二八七、〇四六	—	—
石鹼	グロス	—	五三三、九一四	—	三、四〇九	—	六四、〇七一	—	二、八〇三
燐寸		一七七、七四〇	七九、五九三	七、四八四	三、〇〇五	—	—	—	—
燐寸製造材料		—	一七八、四九一	—	一八、八七六	—	一、三九八	—	—
薪及木炭	擔	六、二八五	二一、〇八五	五四、三〇九	二六、七七〇	二二〇	八四	—	—
石炭及コークス	英噸	一、二〇一	一一、八六八	二、二四六	一八、五八七	四七	三八五	—	—
鐵及鋼	擔	四三六、〇三一	二、〇五八、八六三	六九、〇二四	二三〇、九一四	二四八、七一六	一、二二八、〇三四	九、〇五八	三四、三七五
其他金屬	同	七一、五四四	一、〇〇八、五二七	九八一	四、一二八	二八、六〇二	三〇五、四七八	四、二一七	八〇、一八七
金物		—	四七七、一八八	—	九、八八三	—	二三九、二一八	—	二、七八六
機械器具		—	三、〇五一、四八四	—	六六、二六八	—	四五七、一二三	—	一、八七六
セメント	擔	五五〇、九二七	六三〇、一四八	三一、五三四	四四、七〇三	三、〇七八	三、九六五	五、六三三	七、七三三
木材及竹		—	五七一、八三五	—	四四八、六八七	—	一三、九六七	—	一八、一三〇
建築材料		—	四四〇、六四三	—	七、八七三	—	五七、七五八	—	—
鐵道材料		—	三三、六九一	—	一三七、五九五	—	三六、五七七	—	—
電氣材料		—	一、三三一、七七九	—	六、七三四	—	三六〇、七三四	—	六四五
美術及化粧用品		—	四九九、八〇七	—	九九四	—	三八、六四〇	—	三五五、二〇三
皮革毛骨角牙類		—	六一四、〇九〇	—	七九一、四五〇	—	七六、二四四	—	二七五、五〇三
紙類		—	一、四九一、八五三	—	八八、三五九	—	一三七、八四七	—	六、三六四
圖書及文具		—	八一五、二九〇	—	一〇、六一八	—	四五、六六八	—	二、一五〇
硝子板及硝子器		—	四六二、八七五	—	三、六〇四	—	一九五、三三六	—	三七〇
陶磁器及土器		—	三七九、七五三	—	四、四八五	—	五、一三二	—	四二
麻袋及其他袋類	枚	六、一九八、五六九	七七八、六四七	五六五、六八三	五四、一五八	三、一三三、二四一	四三五、五一八	四、七六二、九四四	八九二、二四一
其他雜品		—	三、三一一、九五三	—	一五三、〇八五	—	三四三、四七六	—	一六六、七六七
小包郵便物		—	四二六、四三八	—	六〇、〇一一	—	—	—	一、〇四〇
合計		—	七一、三一三、三九五	—	三、六八四、八四〇	—	二一、九二四、五五四	—	四、七七四、〇六四

品名	數量單位	外國品 英領印度 數量	英領印度 價額	英領海峽植民地 數量	英領海峽植民地 價額	蘭領印度 數量	蘭領印度 價額	佛領印度 數量	佛領印度 價額
綿織物		—	一、八四〇	—	—	—	—	—	—
毛及毛綿交織物		—	三六	—	—	—	—	—	—
絹及絹綿交織物		—	—	—	—	—	—	—	—
其他雜織物		—	一〇四	—	—	—	—	—	—
綿縫絲		—	—	—	—	—	—	—	—
綿織絲	擔	—	—	—	—	—	—	—	—
棉花	同	—	—	—	—	—	—	—	—
繭蠶絲及絹製品		—	—	—	—	—	—	—	—
其他絲縷及材料		—	九一、八二三	—	—	—	—	—	—
衣服及附屬品		—	—	—	—	—	—	—	—
米	擔	五七九	二、三九四	六、三三一	二四、一五四	—	—	七、五一三	三〇、〇四八
其他穀物及種子	同	—	—	—	—	—	—	—	—
麥粉	同	—	—	—	—	—	—	—	—
野菜及果物	同	—	—	—	—	—	—	—	—
砂糖	同	—	—	—	—	一三一、六五三	八三六、九五五	—	—
味噌及醬油	同	—	—	—	—	—	—	—	—
水産物	同	—	—	九四	六二二	—	—	—	—
其他食料品		—	—	—	九八	—	五五	—	—
茶	擔	八	六九一	—	—	三八	六四〇	—	—
酒類及其他飲料		—	—	—	三五八	—	—	—	—
煙草		—	—	—	—	—	—	—	—
卷煙草製造材料		—	—	—	—	—	—	—	—
家具		—	六七五	—	—	—	—	—	—
藥品及藥材		—	—	—	—	—	八、六六一	—	—
染料及塗料		—	五、〇七四	—	—	—	—	—	—
石油	米哦	—	—	—	—	—	—	—	—

機械油	瓲	—	—	—	—	—	—	—	—
其他油脂		—	五七、七四四	—	—	—	—	—	—
蠟燭	擔	—	—	—	—	—	—	—	—
蠟燭製造材料		—	五、六七〇	—	三、一五〇	—	—	—	—
石鹼		—	—	—	—	—	—	—	—
燐寸	グロス	—	—	—	—	—	—	—	—
燐寸製造材料		—	—	—	—	—	—	—	—
薪及木炭	擔	—	—	—	—	—	—	—	—
石炭及コークス	英噸	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵及鋼	擔	—	—	—	—	—	—	—	—
其他金屬	同	—	—	—	—	—	—	—	—
金物		—	—	—	—	—	—	—	—
機械器具		—	—	—	二六	—	—	—	—
セメント	擔	—	—	—	—	—	—	—	—
木材及竹		—	—	—	七〇	—	四九	—	—
建築材料		—	—	—	—	—	—	—	—
鐵道材料		—	—	—	—	—	—	—	—
電氣材料		—	—	—	—	—	—	—	—
美術及化粧用品		—	—	—	—	—	—	—	—
皮革毛骨角牙類		—	—	—	—	—	—	—	—
紙類		—	—	—	—	—	—	—	—
圖書及文具		—	—	—	二〇〇	—	—	—	—
硝子板及硝子器		—	—	—	—	—	—	—	—
陶磁器及土器		—	—	—	—	—	—	—	—
麻袋及其他袋類	枚	六、二五一、四〇〇	九一〇、六六八	—	—	—	—	—	—
其他雜品		—	四、〇〇八	—	八	—	—	—	—
小包郵便物		—	二五〇	—	—	—	—	—	—
合計		—	一、〇八〇、九七七	—	二六、六八五	—	八四六、三六〇	—	三〇、〇四八

品名	數量單位	外國品							
		露西亞(太平洋沿岸)		其他亞細亞		英吉利		佛蘭西	
		數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
綿織物		—	—	—	—	—	二三八、一四七	—	二六、二九一
毛及毛綿交織物		—	三六〇	—	—	—	四七〇、二二九	—	九、六九一
絹及絹綿交織物		—	—	—	—	—	三六六	—	二、七八六
其他雜織物		—	—	—	—	—	五一、六五六	—	五、〇〇三
綿縫絲		—	—	—	—	—	五八、四六六	—	—
綿織絲	擔	—	—	—	—	—	—	—	—
棉花	同	—	—	—	—	—	—	—	—
繭蠶絲及絹製品		—	—	—	—	—	—	—	—
其他絲縷及材料		—	—	—	—	—	四七、六九六	—	—
衣服及附屬品		—	—	—	—	—	三八、七三三	—	五、五五〇
米	擔	—	—	三〇〇	一、三八〇	—	—	—	—
其他穀物及種子	同	—	—	—	—	一〇	六三	—	—
麥粉	同	—	—	—	—	—	—	—	—
野菜及果物	同	—	—	—	—	二四	一、六七〇	九七	一、九六四
砂糖	同	—	—	—	—	—	—	—	—
味噌及醬油	同	—	—	—	—	—	—	—	—
水產物	同	二六、一九〇	九二、六七二	—	—	—	—	—	—
其他食料品		—	—	—	—	—	一七、五五八	—	七、六八七
茶	擔	—	—	—	—	—	—	—	—
酒類及其他飲料		—	—	—	—	—	六九、九二六	—	二三、四八八
煙草		—	—	—	一、三三四	—	九、四五四	—	—
卷煙草製造材料		—	—	—	—	—	一九、二九四	—	—
家具		—	—	—	—	—	二四、五三九	—	一、八二六
藥品及藥材		—	二、八二三	—	一〇四	—	三七三、二九二	—	九、〇五六
染料及塗料		—	—	—	—	—	三四、三四三	—	一、六二〇
石油	米哦	—	—	—	—	—	—	—	—

機械油	哦	—	—	—	—	二六五	五四八	—	—
其他油脂		—	—	—	—	—	—	—	—
蠟燭	擔	—	—	—	—	—	—	—	—
蠟燭製造材料		—	—	—	—	—	一、一七三	—	—
石鹼		—	—	—	—	—	一、四六[illegible]	—	四〇九
燐寸	グロス	—	—	—	—	—	—	—	—
燐寸製造材料		—	—	—	—	—	—	—	—
薪及木炭	擔	—	—	—	—	—	—	—	—
石炭及コークス	英噸	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵及鋼	擔	四、八六二	一四、九九九	—	—	二七、三〇〇	二一三、三三五	—	—
其他金屬	同	—	—	—	—	五、〇四六	五八、四〇〇	—	—
金物		—	七六二	—	一三三	—	一七、五七〇	—	七、三五九
機械器具		—	八九五	—	五七五	—	七〇七、二〇一	—	三五、一一〇
セメント	擔	—	—	—	—	—	—	—	—
木材及竹		—	—	—	—	—	—	—	—
建築材料		—	一、四九〇	—	一、一九三	—	二八、二四六	—	二〇三
鐵道材料		—	—	—	—	—	三、九六一	—	—
電氣材料		—	—	—	五、二五三	—	六二九、〇七三	—	一三六
美術及化粧用品		—	—	—	—	—	四、二七二	—	二一、〇〇六
皮革毛骨角牙類		—	七、四一四	—	—	—	二、一八九	—	五七一
紙類		—	—	—	—	—	二、四〇七	—	一五六
圖書及文具		—	—	—	—	—	三、二九七	—	七九〇
硝子板及硝子器		—	—	—	—	—	八、七〇二	—	—
陶磁器及土器		—	—	—	—	—	七一三	—	六七
麻袋及其他袋類	枚	—	—	—	—	—	—	—	—
其他雜品		—	—	—	五、六七一	—	四三、三八一	—	二、四二四
小包郵便物		—	—	—	六五三	—	四、〇三四	—	二、〇〇七
合計		—	二二、四一四	—	一六、二九五	—	三、二〇三、三六六	—	一六五、二〇一

品名	數量單位	外國品 獨逸 數量	獨逸 價額	白耳義 數量	白耳義 價額	和蘭 數量	和蘭 價額	伊太利 數量	伊太利 價額
綿織物		—	一六、一八七	—	—	—	二、〇四一	—	一五四
毛及毛綿交織物		—	四五、二八四	—	七七二	—	—	—	三八一
絹及絹綿交織物		—	—	—	—	—	—	—	—
其他雜織物		—	二、〇九九	—	—	—	—	—	—
綿縫絲		—	三一三	—	二、八六五	—	—	—	—
綿織絲	擔	—	—	—	—	—	—	—	—
棉花	同	—	—	—	—	—	—	—	—
繭蠶絲及絹製品		—	—	—	—	—	—	—	—
其他絲縷及材料		—	一一三	—	—	—	—	—	—
衣服及附屬品		—	五一、〇六一	—	四六六	—	—	—	八、九七四
米	擔	—	—	—	—	—	—	—	—
其他穀物及種子	同	一、三〇一	四〇、六四六	—	—	三〇六	七、二四七	—	—
麥粉	同	—	—	—	—	—	—	—	—
野菜及果物	同	四九	一、六八八	—	—	—	—	—	—
砂糖	同	—	—	—	—	—	—	—	—
味噌及醬油	同	—	—	—	—	—	—	—	—
水產物	同	—	—	—	—	—	—	—	—
其他食料品		—	五、〇〇七	—	二、八三〇	—	二、〇八四	—	九〇
茶	擔	—	—	—	—	—	—	—	—
酒類及其他飲料		—	八、九九五	—	八、五九八	—	三、六九四	—	一、二五七
煙草		—	六、九九三	—	九九九	—	九、七一八	—	—
卷煙草製造材料		—	二五、一二七	—	—	—	—	—	—
家具		—	一一、九三八	—	三三七	—	二	—	五四
藥品及藥材		—	九〇、六一五	—	三五二	—	一七〇	—	—
染料及塗料		—	四二、七五八	—	六、八五〇	—	三二、四四九	—	—
石油	米哦	—	—	—	—	—	—	—	—

機械油	瓲	―	―	―	―	―	―	―	―
其他油脂		―	二〇四	―	二、四八五	―	―	―	―
蠟燭	擔	七	三八四	―	―	―	―	―	―
蠟燭製造材料		―	三、八六一	―	―	―	―	―	―
石鹸		―	四八一	―	七四六	―	―	―	―
燐寸	グロス	―	―	―	―	―	―	―	―
燐寸製造材料		―	―	―	―	―	―	―	―
薪及木炭	擔	―	―	―	―	―	―	―	―
石炭及コークス	英噸	―	―	―	―	―	―	―	―
鐵及鋼	擔	三、七〇八	七四、七五一	一〇七、九八九	四五五、二八八	八四、二三八	二七六、九三一	―	―
其他金屬	同	一、〇三〇	三六、四一三	二七〇	三、七四六	―	―	―	―
金物		―	一三〇、七四七	―	八〇三	―	二四	―	一、四〇八
機械器具		―	二七六、〇六九	―	三四、三六一	―	一、五一〇	―	三三、一三三
セメント	擔	六九	九一	―	―	―	―	―	―
木材及竹		―	―	―	―	―	―	―	―
建築材料		―	三、九九二	―	二、八九四	―	六四二	―	―
鐵道材料		―	―	―	―	―	―	―	―
電氣材料		―	七四、五〇五	―	二三〇	―	―	―	―
美術及化粧用品		―	八、一三七	―	三、二五三	―	―	―	―
皮革毛骨角牙類		―	一五〇	―	―	―	―	―	―
紙類		―	二四、五八七	―	七一八	―	―	―	―
圖書及文具		―	五三、四八〇	―	七六	―	二七	―	一五三
硝子板及硝子器		―	一〇、六五四	―	一六〇、三五二	―	―	―	―
陶磁器及土器		―	七九一	―	―	―	二	―	―
麻袋及其他袋類	枚	―	―	―	―	―	―	―	―
其他雜品		―	七四、〇三九	―	一〇、七四二	―	二四七	―	五九四
小包郵便物		―	―	―	―	―	―	―	―
合計		―	一、一三〇、一五九	―	六九九、七五二	―	三三六、七八八	―	三六、一八八

品名	數量單位	外國品 其他歐羅巴 數量	其他歐羅巴 價額	北米合衆國 數量	北米合衆國 價額	其他亞米利加 數量	其他亞米利加 價額	濠洲 數量	濠洲 價額
綿織物		—	—	—	四三、九三九	—	二五五	—	—
毛及毛綿交織物		—	—	—	七、三八六	—	二五一	—	—
絹及絹綿交織物		—	—	—	八六	—	—	—	—
其他雜織物		—	五〇	—	四七、一九七	—	—	—	—
綿縫絲		—	—	—	—	—	—	—	—
綿織絲	擔	—	—	一九	七二三	—	—	—	—
棉花	同	—	—	—	—	—	—	—	—
繭蠶絲及絹製品		—	—	—	—	—	—	—	—
其他絲縷及材料		—	—	—	一、七四九	—	三七、七七二	—	—
衣服及附屬品		—	一五	—	四一、五六三	—	一、〇七八	—	—
米	擔	—	—	六	四八	—	—	—	—
其他穀物及種子	同	六	四〇〇	五三八	一四、八六三	—	—	—	—
麥粉	同	—	—	八七三、四〇六	四、三三八、六九〇	一、四八五	七、五九八	八、九〇七	三九、九〇六
野菜及果物	同	—	—	一、〇八九	二一、九五二	—	—	—	—
砂糖	同	—	—	—	—	—	—	—	—
味噌及醬油	同	—	—	—	—	—	—	—	—
水産物	同	—	—	七七四	五、六七〇	—	—	—	—
其他食料品		—	三八三	—	五八、五四二	—	三五八	—	三、六三一
茶	擔	—	—	—	—	—	—	—	—
酒類及其他飲料		—	—	—	三、一三七	—	—	—	—
煙草		—	—	—	一、九一四、三〇七	—	四六四、四七三	—	—
巻煙草製造材料		—	二、二四三	—	一、六八五	—	—	—	—
家具		—	一、三三〇	—	三五、九一六	—	六	—	—
藥品及藥材		—	三九七	—	二九、二一三	—	—	—	—
染料及塗料		—	—	—	七、八一五	—	一六	—	—
石油	米噸	—	—	二、七八〇、二九八	三、八〇三、六〇七	三、〇四六、七九四	九九六、二〇二	—	—

機械油	噸	—	—	五五〇、六六四	三六六、七九七	—	—	—	—
其他油脂	擔	—	—	—	四八四、一七九	—	—	—	—
蠟燭		—	—	—	—	—	—	—	—
蠟燭製造材料	同	—	—	—	一六、八七七	—	—	—	—
石鹼		—	—	—	三四四	—	—	—	—
燐寸	グロス	—	—	—	—	—	—	—	—
燐寸製造材料		—	—	—	—	—	—	—	—
薪及木炭	擔	—	—	—	—	—	—	—	—
石炭及コークス	英噸	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵及鋼	擔	二四〇	七九〇	三五五、九八八	一、六三七、一四八	一	七	—	—
其他金屬	同	—	二、四三〇	九、九一三	一八六、八四二	—	—	—	—
金物		—	三八〇	—	三三、八二七	—	一三五	—	—
機械器具		—	五〇一、八八四	—	一、八七四、九五五	—	八七〇	—	—
セメント	擔	—	—	—	—	—	—	—	—
木材及竹		—	—	—	二、五三、一六〇	—	—	—	—
建築材料		—	—	—	一〇五、〇二六	—	八、八三六	—	—
鐵道材料		—	—	—	二九、一九二	—	—	—	—
電氣材料		—	—	—	一四七、〇四九	—	六七七	—	—
美術及化粧用品		—	—	—	三、八五〇	—	—	—	—
皮革毛骨角牙類		—	—	—	四三、一五七	—	—	—	一一、三一四
紙類		—	八、三七四	—	八、七八七	—	—	—	—
圖書及文具		—	三八八	—	一七、七七六	—	—	—	三〇
硝子板及硝子器		—	七三	—	三、三三三	—	九二八	—	—
陶磁器及土器		—	—	—	—	—	—	—	—
麻袋及其他袋類	枚	—	—	五、九一七	四五七	—	—	—	—
其他雜品		—	一一、九九三	—	七三、八八五	—	一、九〇三	—	—
小包郵便物		—	—	—	一九、三五〇	—	—	—	—
合計		—	五三二、一一九	—	一五、五八二、一六九	—	一、五三二、三八七	—	五四、八八一

品名	數量單位	外國品 土耳古波斯埃及其他 數量	價額	外國品 計 數量	價額	支那品 支那諸港 數量	價額	合計 數量	價額
綿織物		—	—	—	三六、〇八〇、四七一	—	三、九九八、〇七七	—	四九、〇七八、五四八
毛及毛綿交織物		—	—	—	二、〇六五、三一九	—	—	—	二、〇六五、三一九
絹及絹綿交織物		—	—	—	二一〇、八九二	—	—	—	二一〇、八九二
其他雜織物		—	—	—	一、〇二二、二三二	—	一、八五五、三五六	—	二、八七六、五八八
綿縫絲		—	—	—	五一三、五八六	—	一、三〇九	—	五一四、八九五
綿織絲	擔	—	—	二〇四、二二五	九、四四一、八〇四	一五七、八九六	六、六四八、三〇四	三六二、一二一	一六、〇九〇、一〇八
棉花	同	—	—	六五一	八、八九〇	五〇、七五三	一、一五三、五五二	五一、四〇四	一、一六二、四四二
繭蠶絲及絹製品		—	—	—	五三、三五六	—	一、六八五、四五七	—	一、七三八、八一三
其他絲纏及材料		—	—	—	六〇二、七七二	—	二五八、六五四	—	八六一、四二六
衣服及附屬品		—	—	—	三、〇五五、三四五	—	三七二、八七一	—	三、四二八、二一六
米	擔	—	—	三二三、六〇〇	一、六一〇、一三五	七〇、五六二	三一六、一〇一	三九三、一六二	一、九二六、二三六
其他穀物及種子	同	—	—	四四、九九五	二〇〇、七五〇	三六四、六〇九	一、一五四、九三〇	四〇九、六〇四	一、三五五、六八〇
麥粉	同	—	—	一、〇四八、四六七	五、一〇五、七四〇	三七三、四五一	一、七六七、二六二	一、四二一、九一八	六、八七三、〇〇二
野菜及果物	同	—	—	八〇五、〇〇一	一、二五一、二一七	二八七、八二二	六八九、二三七	一、〇九二、八二三	一、九四〇、四五四
砂糖	同	—	—	六七一、五七二	四、六四三、六九四	八、二二七	四三、六〇一	六七九、七八九	四、六八七、二九五
味噌及醬油	同	—	—	一三、八〇七	一三一、四五六	二三	一〇二	一三、八三〇	一三一、五五八
水產物	同	—	—	二六四、六〇八	一、八九二、三一五	三六、四三九	二一六、二四五	三〇一、〇四七	二、一〇八、五六〇
其他食料品		—	二〇六	—	一、一九二、八七三	—	一、七一五、七五六	—	二、九〇八、六二九
茶	擔	—	—	二、九一六	一〇六、六九八	四八、一四三	二、〇三〇、七一七	五一、〇五九	二、一三七、四一五
酒類及其他飲料		—	三、七三三	—	一、九七八、二四二	—	七八、七五七	—	二、〇五六、九九九
煙草		—	二一、五六一	—	四、九七九、〇三三	—	三、七八六、〇九五	—	八、七六五、一二八
煙草製造材料		—	—	—	四八五、五四六	—	六、〇二〇	—	四九一、五六六
家具		—	—	—	一、〇一四、四二八	—	四二〇、四七九	—	一、四三四、九〇七
藥品及藥材		—	二六、八七九	—	二、一八一、八九六	—	七三〇、二六二	—	二、九一二、一五八
染料及塗料		—	—	—	三、三一九、一〇三	—	七三、二三八	—	三、三九二、三三一
石油	米哦	一、〇六四、二八八	三四八、〇三三	一六、五八四、二五七	五、四三〇、〇〇一	—	—	一六、五八四、二五七	五、四三〇、〇〇一

機械油	瓩	—	—	一、四三七、五八七	八三一、六三八	—	—	一、四三七、五八七	八三一、六三八
其他油脂		—	—	—	七五五、九六一	—	一九六、九六六	—	九五二、九二七
蠟燭	擔	—	—	八、四二一	一六五、六六七	五、六四一	一一〇、二八六	一四、〇六二	二七五、九五三
蠟燭製造材料		—	—	—	四六八、二四四	—	一、四八二	—	四六九、七二六
石鹸		—	—	—	六〇七、六四一	—	六三、〇一九	—	六七〇、六六〇
燐寸	グロス	—	—	二八五、二三四	八二、五九八	二九三、七〇〇	六五、二九四	五七八、九二四	一四七、八九二
燐寸製造材料		—	—	—	一九八、七六五	—	七、一一三	—	二〇五、八七七
薪及木炭	擔	—	—	六〇、八〇四	四七、九三九	三四、四〇六	一五、七七三	九五、二一〇	六三、七一三
石炭及コークス	英噸	—	—	三、四九四	三一、八四〇	二〇、四八一	一七四、二八〇	二三、九七五	二〇六、一二〇
鐵及鋼	擔	—	—	一、三五六、一六五	六、一九五、四二五	四、四二一	三一、三〇四	一、三六〇、五八六	六、三三六、七二九
其他金屬	同	—	—	一二一、六〇二	一、六八六、一五一	五、〇七六、三九三	一三三、〇二八	五、一九七、九九五	一、八〇九、一七九
金物		—	—	—	九一一、二三一	—	四一七、七九一	—	一、三三九、〇三三
機械器具		—	—	—	七、〇三三、三三〇	—	六三、九五一	—	七、〇九七、二八一
セメント	擔	—	—	五九一、二三三	六八六、六三九	六一、五八四	四七、九六七	六五二、八一七	七三四、六〇六
木材及竹		—	—	—	一、三〇五、八八八	—	一六三、六二六	—	一、四六九、五一四
建築材料		—	—	—	六七七、七九五	—	三二、一一八	—	六九九、九一三
鐵道材料		—	—	—	二四一、〇一六	—	—	—	二四一、〇一六
電氣材料		—	—	—	二、五五六、八〇五	—	二〇、二一四	—	二、五七七、〇一九
美術及化粧用品		—	—	—	九三五、一六二	—	一一二、二六〇	—	一、〇四七、四二三
皮革毛骨角牙類		—	—	—	一、八三一、〇八一	—	一、九五一、五九九	—	三、七八二、六八〇
紙類		—	—	—	一、七六九、四五二	—	二、五九六、七三五	—	四、三六六、一八七
圖書及文具		—	—	—	九五七、九四三	—	六〇四、四三〇	—	一、五六二、三七三
硝子板及硝子器		—	—	—	八四六、一一六	—	四、九八一	—	八五一、〇九七
陶磁器及土器		—	—	—	三九〇、九七四	—	一、一三〇、三四五	—	一、五二二、三一九
麻袋及其他袋類	枚	—	—	二〇、九一七、七五四	三、〇七一、七八九	一、八三三、九二四	一九七、八三五	三二、七五一、六七八	三、二六九、六二四
其他雜品		—	八〇八	—	四、二〇四、九八四	—	一、六二六、〇三八	—	五、八三一、〇三三
小包郵便物		—	—	—	五一三、九八三	—	—	—	五一三、九八三
合計		—	四〇一、二〇九	—	一三七、五八二、八五一	—	四七、七五〇、八〇六	—	一七五、三三三、六五七

之に依つて見る時滿洲輸入の重要外國品は綿織物、綿織糸、機械器具、鐵及鋼、石油麥粉、煙草、砂糖、其他雜品等である、而して之等滿洲重要輸入品につき各國の占むる地位は左の如くである。

品名	總額	一	二	三	四	五
綿織物	三六、〇八〇、四七二	日本 二八、三五三、四〇八	英吉利 二、三八一、四〇七	朝鮮 五一、七七四	北米 四三、九二九	佛蘭西 二六、二九一
綿織絲	九、四四一、八〇四	日本 八、四六三、八二一	香港 三三、〇五四	朝鮮 三、七七二	北米 七三	—
機械器具	七、〇三三、三三〇	日本 三、〇五一、四八四	北米 一、八七四、九五五	英吉利 七〇七、二〇一	其他歐羅巴 五〇一、八八四	獨乙 二七六、〇六九
鐵及鋼	六、一九五、四二五	日本 三、〇三八、八六三	北米 一、六三七、一四八	白耳義 四五五、二六八	和蘭 二七六、九三一	朝鮮 二三〇、九一四
石油	五、四三〇、〇〇一	北米 三、八〇三、六〇七	其他亞米利加 九九六、二〇二	土耳古、波斯埃及其他 三四八、〇二三	日本 一四八、二七四	—
麥粉	五、一〇五、七四〇	北米 四、二三八、六九〇	濠洲 三九、九〇六	其他亞米利加 七、五九八	朝鮮 五七、〇二三	—
煙草	四、九七九、〇三三	北米 一、九二四、三〇七	其他亞米利加 四六四、四七三	日本 三六七、一八四	朝鮮 九一、九八三	—
砂糖	四、六四三、六九四	香港 一、八三九、七六九	日本 一、二七六、八三九	蘭領印度 八三六、九五五	—	—
其他雜品	四、二〇四、九八四	日本 三、三一一、九五三	香港 一六六、七六七	朝鮮 一五三、〇八五	北米 七三、八八五	—

卽ち綿織物、綿織絲及其他雜品につきてはその大部分日本品の占むる所にして石油、麥粉及煙草は北米合衆國品の勢力下に在る、機械器具、鐵及鋼は日本の第一位を占むる所であるが北米合衆國よりの輸入數量も之に接近してその勢力容易に逆睹し難い、

以上に依つて滿洲の對外貿易殊にその輸入に於て列國の占むる地位は大體示し得たように思ふ、而して更に此の貿易と密接なる關係を有し且つその經濟勢力を示すものに貿易仲介者たる船舶がある、依つて終りに南滿洲三港出入船舶國籍別累年比較表を擧ぐ。

[illegible]

二	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

別表[illegible]及其他雑品につきてはその大部分は本品の占むる所にして[illegible]

[illegible]

[illegible]によつて[illegible]の對外貿易額に於ける[illegible]の占むる地位は大體[illegible]示

第三章　滿洲在留外國人口

諸外國人が滿洲に於て如何に發展しつゝあるかを先づ簡單に物語る縮圖は卽ち滿洲在留外國人の分布狀態である、勿論在留外國人口數が直ちにその經濟勢力を示すものと斷定することは得ないが可なり重要なる決定要素たることは否み難い。

然れども之が人口統計たるや殊に支那滿蒙の如き行政組織の完全せざる地に於ては之を得ること甚だ困難で確定的數字を得んとするに至つては全く不可能と云はなければならない、次に掲ぐる統計は其時々に際し各機關により調査せられたものであるが或は陳腐、或は不統一、或は不確實にして餘り信用を置き難きやも知れないが之をしも無きに勝り之等の統計よりして實際の數字を推定するの助とはなるであらう。

關東州竝滿洲在留外國人國別表

（大正九年十二月 關東軍參謀部調）

	露國	英國	獨國	佛國	米國	墺洪國	伊國	葡萄牙	和蘭	丁抹	瑞典	諾威	白耳義	土耳古	希臘	國籍不明	計
關東州	二四	五四	—	—	六	—	—	—	—	六	—	二〇	—	—	二	—	一一二
間島	七	一七	—	一	—	—	三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二八
安東	—	一三	—	—	九	—	—	—	—	九	一	一	—	—	一	—	三三
牛莊	六	七六	五	一八	二	—	—	四	—	—	—	—	—	—	—	—	一一〇
遼陽	—	七	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	八
奉天	四七	七六	—	一三	四八	—	—	—	—	一	—	—	—	二	二	—	一九八
鄭家屯	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	二
鐵嶺	—	九	—	四	一	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一五
長春	一九四	二	一	四	二	四三	—	—	—	—	—	—	—	九	—	—	二五五
吉林	六	一五	—	四	四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二九
哈爾賓	九一、四九七	三三	—	九	四四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一八	九一、六〇一
齊々哈爾	三二、四五〇	七	—	四	一五	—	六	—	—	—	—	—	—	—	一三	—	三二、四九五
赤峰	—	二六	一	一	—	—	—	—	二	—	—	—	一九	—	—	—	四九
滿洲合計	一二四、二〇七	二八一	七	六八	一三四	四三	一〇	四	二	一〇	一	一	二〇	一一	一六	一八	一二四、八三三

總計	一二四、三三一	三五	七	六八	一四〇	四三	一〇	四	二	一六	一	三	二〇	二	二七	一八	一二四、九五四

東支沿線其他主要地戸口國籍職業調査書（大正十年五月十三日 北滿憲兵隊調査）

國籍別	地名	戸數	人員	重ナル職業及事業	摘要
日	哈爾賓	八八六	三、四六六	林業、電氣業、製粉、貿易、銀行、商業、通信業	
鮮		一七一	七二二	宿屋、裁縫、勞働者	
支		二六、五五八	一五〇、四一四	製皮、製粉、貿易、銀行、商業、勞働者	
露		一三、三〇〇	八三、七五三	製粉、貿易、貸家業、鐵道従業員、商業、官公吏、銀行、建築業	内猶太人約二、九〇〇戸、一〇、〇〇〇人ヲ有ス
英		一二	四三	商事會社員、宣教師、貿易業、銀行保險業	
米		一七	七五	商業、貿易業、宣教師、會社員	
佛		八	三二	商業、貿易業	
獨		九	五〇	貿易業、機械業	
伊		一五	六五	貿易業、銀行業、商業	
其他外國人		四	二六	商業、技術業	

五家	支	一二	五九	製粉、製油業、商業
	露	一二	五九	製粉、製油業、鐵道從事員
双城堡	日	二六	一〇一	藥種業、穀物仲買、料理屋
	鮮	五	九	勞働者
	支	六、六二五	三九、八〇六	商業、農業、勞働者
	露	一二	四〇	鐵道從業員
陶賴昭	日	六	一五	貿易業、賣藥業
	支	二〇〇	一、二〇〇	貿易商、飲食店、雜貨
	露	九	九〇	鐵道從業員
老燒溝	日	二	二	無職
	支	二三〇	一、四二〇	貿易商、雜貨商、農業、飲食店
	露	二〇	九二	民警、鐵道從業員
窰門	日	二三	六九	特產物商、醫師、雜貨、飲食店
	鮮	一	一六	勞働者
	支	一、五〇〇	九、五〇〇	特產物商、農業、商業、燒酒製造業、馬車業

露		一三二	四三〇	鐵道從業員、飲食店、商業
支	末莎子	四七	二〇〇	農業、商業、勞働者
露		一二	四七	商業、鐵道從業員
支	阿什河	六二二	三六、一三二	製粉、製油業、農業、商業
露		三九	二一七	製粉、製油業、鐵道從業員
支	烏吉密	四〇	一七〇	材木商、農業、商業、勞働者
露		五	一三	鐵道從業員
支	烏吉密波	四〇〇	一、二〇〇	薪炭、材木商、農業、商業、勞働者
露		八	一二	鐵鐵從業員
鮮	ヤクニ	一二	五三	農業、勞働者
支		一二	四八	農業、勞働者
露		三	一二	鐵道從業員
日	石頭河子	一	四	雜貨商
鮮		一七	七四	農業、勞働者
支		一八〇	一、五〇〇	材木商、農業、商業、勞働者

露		二〇	六〇	商業、鐵道從業員	
鮮		六	二二	農業	
支	芽不里	一一〇	四五〇	材木商、雜貨商、勞働者	
露		六	二八	雜貨商、鐵道從業員	
鮮		四	一二	農業	
支	葦沙河	二九〇	二、四〇〇	材木商、雜貨商、飲食店、農業	
露		一二	七五	鐵道從業員	
鮮		一四	七七	農業	
支	周家堡	七〇	一、二〇〇	材木商、雜貨、農業、商業	
露		二〇	六〇	材木商、鐵道從業員	
日		二八	九〇	材木商、燒酒製造、料理店、理髮店、寫眞業	
鮮		七	三二	料理店、宿屋業、藥種業、農業	
支	一面坡	九八〇	九、八二〇	製粉業、燒酎製造、煉瓦製造、農業、商業、勞働者	
露		二三〇	一、六一三	鐵道從業員、商業、ビール會社、電燈會社	
米		一	一	商業	

橫道河子	日	一〇	六九	商業、材木商、料理店
	鮮	二四	一五〇	農業、商業
	支	二〇〇	一、〇〇〇	鐵道從業員、商業
	露	三五〇	二、四〇〇	鐵道從業員、商工業
海林	日	二六	八九	海林公司、料理店、商業
	鮮	一六	七六	農業、商業、旅館、勞働者
	支	三八〇	三、四〇〇	製粉、製油業、農業、商業、官吏
	露	二五	九四	鐵道從業員、商業
寧古塔	日	八	三五	商業
	鮮	一二	四二	農業、醫師、旅館
	支	四、〇〇〇	三一、〇〇〇	農業、商業、工業、官吏
	露	三	一五	會社員
	米	一	一	醫師
牡丹江	日	一	四	工業
	鮮	三二	一八〇	農業、商業

支		八〇	七〇〇	農業、商業
露		五	三五	鐵道從業員、工業
日	掖河	一	二	農業
鮮		三七	一〇五	農業、勞働者
支		八七	七二五	農業、商業、勞働者
露		二五	一三〇	鐵道從業員、牧畜業
鮮	磨刀石	六〇	二〇〇	商業、旅館、勞働者
支		七五	四二〇	鐵道從業員、商業、農業、勞働者
露		一六	五二	鐵道從事員、牧畜業、材木業
鮮	擡馬溝	一	四	農業
支		四〇	二五〇	農業、商業、勞働者
露		六	一三	鐵道從業員、牧畜
鮮	新韓村	六五	三二六	農業、勞働者
日		一四	二一	飲食店、時計店、林業公司

穆稜站	鮮	九	四二	雜貨商、農業、旅人宿、勞働者	
	支	三四〇	一、七九〇	農業、商業、鐵道從業員、勞働者	
	露	一〇〇	四二〇	鐵道從業員、商業	
穆稜河	鮮	三	一二	農業	
	支	七五〇	四、二〇〇	商業、農業、勞働者	
馬橋河	鮮	一	八	農業	
	支	一八〇	一、二二〇	鐵道從業員、農業、商業	
	露	一四	四九	鐵道從業員、商業	
大平嶺	支	二〇	三〇〇	農業、商業	
	露	一二	三一	鐵道從業員	
細鱗河	日	—	二	無職	
	支	二五〇	八〇〇	農業、商業、勞働者、旅館	
	露	二七	九三	鐵道從業員、勞働者	
小綏芬	日	—	三	無職	
	鮮	一八九	四九七	農業、商業、勞働者、旅館業	

支		一八〇	六五〇	農業、商業、勞働者、飲食店	
露		一五	四五	鐵道從業員	
日	ポクラニーチナヤ	二〇	七二	商業、料理店	
鮮		一九	一〇八	農業、商業、旅館	
支		五〇〇	六、五〇〇	農業、商業、官吏、旅館、製酒業	
露		四九〇	二、九六〇	鐵道從業員、教師、料理店、商業	
鮮	東支線以外	七一八	三、三九二	農業、商業、勞働者	
日	三姓	五	三八	宿屋、料理店、醫師	
支		五、五九八	二五、〇〇〇	製粉、製油業、農業、商業、勞働者	
露		一	一	燒酎製造業	
英		二	五	税關官吏、宣教師	
日	安達	五	一八	商業、料理店	
支		二九八	一、六五三	商業、勞働者	
露		七三	三七二	鐵道從業員	

チチハル	日	一一	一六	藥種商、寫眞業	
	支	三二八	二、一二九	商業、農業、勞働者	
	露	一九三	八八五	鐵道從業員、商業、料理店	
チチハル省城	日	四〇	一〇六	藥種商、料理店	
	支	九、二一七	四七、六四九	酒造業、製皮業、官公吏、農業、商業、勞働者、工業	
	露	五	三二	商業	
札蘭屯	支	一八六	八一七	農業、商業、勞働者	
	露	一二一	六二六	鐵道從業員、商業	
布哈圖	日	四	一九	藥種商、料理店	
	支	二〇九	一、一二六	農業、商業、製皮業、牧畜業、勞働者	
	露	一七二	九一八	鐵道從業員、商業	
海拉爾	日	七	三六	藥種商、料理店	
	支	一三九	八、二一六	製粉業、農業、商業、勞働者	
	露	一〇〇	六、二一〇	鐵道從業員、商業	

日		一二一	五二	藥種業、料理店、會社員
支		五一二	三、一二一	酒造業、農業、商業、官公吏、勞働者
露		九八六	五、六〇三	酒造業、製粉、製皮業、農業、商業、鐵道從業員
英	滿洲里	五	一三	商業
米		二	四	商業
獨		二	五	商業
墺		五	二一	商業
日	黑河	五	三七	雜貨商、醫師、寫眞業、藥種業
鮮		一二	五二	無職
支		三、二〇〇	二一、〇〇〇	農業、商業、官公吏、貿易商、材木商、勞働者
露		二九	一二〇	商業、料理店、勞働者、貿易業
支	訥河	三二〇	二、九八八	商業、牧畜業、製油、製酒業、製皮業
支	墨爾根	四五六	三、六八二	商業、製油業、酒造業、製皮業

日	武市	二	三	寫眞業	
鮮		九三	一、〇一九	農業、商業、勞働者	
支		八一二	七、一八〇	農業、商業、勞働者、貿易業、會社員	
露		九、一二一	七一、一五〇	農業、商業、勞働者、官公吏、會社員	
鮮	烏市以東哈府以南居住鮮人概數	—	三四、〇〇〇		
日	合計	一、一五一	四、三六九		
鮮		一、四二八	四一、一三〇		
支		六六、三三三	四三三、一三五		
露		二五、七二九	一七三、二五五		
英		一九	六一		
米		二一	八六		
佛		八	三二		
獨		一一	五五		
伊		一五	六五		
墺		五	二一		
其他外國人		四	二六		

備考

一、本調査は在留外人其他に付調査したるものなるも、調査機關なき今日に於ては概算に止り正確を期し難きも、參考の爲計上せり。

二、哈市以西、滿洲里以東の鮮人數不明。

三、露支人其他外國人は主要地に止む。

在大連國籍別人口（大正十三年三月警務署調）

國籍＼男女	男	女	小兒	計
英國	三三	六	—	三九
米國	一七	一一	—	二八
比律賓	九	二	—	一一
露國	一一九	八四	—	二〇三
獨逸	三	一	—	四
瑞典	三	二	—	五
波蘭	三	一	—	四
丁抹	三	—	—	三
希臘	五	三	—	八
セルビヤ	—	一△	—	一△
エストニヤ	二	一	—	三
計	一八七	一二二	—	三〇九
日本	二六、五三六	二三、四七九	—	五〇、〇一五
支那	七四、〇三七	二五、四五〇	—	九九、四八七

在旅順外人職業別表（大正十二年十二月末旅順警務署）

國籍＼男女	男
英國	二
米國	—
佛國	—
露國	—
獨逸	—
瑞典	—
諾威	—
丁抹	五
希臘	—
計	七△
日本	四、六二三五
支那	四四、七四六

女	一	—	—	—	—	—	—	四	—	五	三、七五一 △五八	三八、〇四四
小兒	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一、九四六	九、七一九
計	三	—	—	—	—	—	—	九	—	一三	一〇、三一八 △九三	九二、五〇九

備考　△印は朝鮮人とす。

營口警務署管内國籍別人口（大正十三年三月調）

國籍 / 男女	英國	米國	佛國	露國	獨逸	瑞典	諾威	丁抹	希臘	計	日本	支那
男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	七六五	一、三六九
女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	六四七	三五一
小兒	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	八〇三	五二八
計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二、二一五	二、二四八

備考　當署管内には外國人居住者なし。

牛莊領事館管内國籍別人口（大正十二年末調）

國籍／男女	英	米	佛	露	獨	瑞	諸	丁	希	計	日	支
男	四五	六	四	四	三	一	二	二	一	七七	四、五五二	九、四八五
女	三五	七	九	三	二	三	一	—	—	六九	四、一五一	三、一九四
小兒	三三	二	—	—	—	二	二	—	—	三八	—	—
計	一一三	一五	一三	七	五	六	五	二	一	一八四	八、七〇三	一三、六七九

備考　本邦人男女數中には小兒を含む。

同職業別表

	英	米	佛	露	獨	瑞	諸	丁	希	計
領事	一	—	—	—	—	—	—	—	—	一
税關吏	七	三	—	一	—	—	二	一	一	一五
會社員	二二	三	二	—	二	一	—	一	—	三一
銀行員	—	—	—	一	—	一	—	—	—	二
牧師	二	—	—	一	—	—	—	—	—	三

水先案内	二	|	|	|	|	|	|	|	|	二
醫師	一	|	|	|	|	|	|	|	|	一
鹽務稽核所長	一	|	|	|	|	|	|	|	|	一
宣教師	七	|	一〇	一	一	|	|	|	|	一九
雜	二	|	|	|	|	|	|	|	|	二
計	四五	六	一二	四	三	二	二	二	一	七七

備考　英國人會社員にして和蘭名譽領事一名あり、雜欄の一名は倶樂部書記、一名は貸家業なり。

在奉天警務署管內國籍別人口

（奉天警務署大正十二年十二月末調）

國籍／男女	墺國	馬尼剌	佛國	露國	獨逸	土耳古	諾威	丁抹	希臘	計	日本	支那
男	一	一	二	一三三	二	二	|	|	六	一六六	八、四一七	八、四四八
女	二	一	一	一三四	|	二	|	|	六	一四六	七、四五九	二、三八二
小兒	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|		|
計	三	二	三	二六七	二	四	|	|	一二	三一二	一五、八七六	一〇、八三〇

同外人職業別表

國別＼職業	農業	鑛業	工業	商業	交通業	自由業	其他有業者	家事使用人	無職	計
墺國	—	—	三	—	—	—	—	—	—	三
馬尼刺	—	—	—	二	—	—	—	—	—	二
佛國	—	—	三	—	—	—	—	—	—	三
露國	—	—	三五	一七三	二七	二三	—	八	二二	二八六
獨逸	—	—	—	—	—	二	—	—	—	二
土耳古	—	—	四	—	—	—	—	—	—	四
諾威	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
丁抹	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
希臘	—	—	—	三	—	—	—	—	—	三
計	—	—	四五	一八六	二七	二五	—	八	二二	三一三
日本	二六四	八〇	三、三一〇	三、八五八	三、九五七	三、四九八	一八七	一一三	七一〇	一五、八七六
支那	五七	二四	二、二八六	四、三三五	一、三九六	六四七	八一五	九三八	三四二	一〇、八三〇

在奉天領事館管内國籍別人口 （奉天領事館大正十二年十二月末調）

國籍＼男女	男	女	小兒	計
英國	五〇	四〇	—	九〇
米國	三二	二四	—	五六
佛國	一四	一二	—	二六
露國	一五二	一〇七	—	二五九
獨逸	一五	五	—	二〇
猶太	二	一	—	三
波蘭	二	一	—	三
丁抹	—	—	—	—
希臘	—	—	—	—
伊太利	四	—	—	四
計	二七一	一九〇	—	四六一
日本	△一、二三〇 三、三三二	△一、一七三 二、八六〇	—	△二、四〇三 六、一九二
支那	—	—	—	—

備考　附屬地を除く、△印は朝鮮人を示す。

同外人職業別表

職業＼國別	英國	米國	佛國	露國	獨逸	猶太	波蘭	丁抹	希臘	伊太利	計	日本	支那
煙草販賣	二七	二〇	三	三二	—	—	五	—	—	—	八七	—	—
官公吏	二	二	—	六	五	—	—	—	—	—	一五	—	—
外國傭聘	三	五	三	七九	八	—	—	—	—	四	一〇二	—	—
皮革獸骨販賣	四	六	—	五	—	—	—	—	—	—	一五	—	—

物品販賣業	六	四	―	一〇	―	三	―	―	―	―	二三	―	―
機械類販賣	四	二	―	―	八	―	―	―	―	―	一四	―	―
保險代理業	七	一〇	―	―	―	―	―	―	―	―	一七	―	―
醫師	一〇	三	―	―	―	―	―	―	―	―	一三	―	―
神道教師、僧侶、宣教師	三	六	六	一	―	―	二	―	―	―	一七	―	―
菓子、麵包製造業	―	―	―	五	―	―	―	―	―	―	五	―	―
洋服裁縫	―	―	―	二	―	―	―	―	―	―	二	―	―
穀類粉販賣業	―	―	三	二	―	―	―	―	―	―	五	―	―

在安東外國籍別人口（安東警務署大正十二年十二月末調）

國籍 男女	英國	米國	佛國	露國	獨逸	瑞典	諾威	丁抹	希臘	計	日本	支那
男	一	二	―	―	―	―	―	一	―	四	△ 五、四一四 二、二九八	二〇、一四二
女	―	―	―	―	―	―	―	一	―	一	△ 五、三二一 一、七八一	八、六〇三
小兒	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
計	一	二	―	―	―	―	―	二	―	五	△ 一〇、六三五 四、〇七九	二八、七四五

備考　本表外國人、日本人、支那人數は大正十二年十二月末日調査とす、△印は朝鮮人數を示す。

同外人職業別表

職業別＼國別	英國	米國	佛國	露國	獨逸	瑞典	諾威	丁抹	希臘	計	日本	支那
農業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二八 △四七	一九四
水產業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	六 △二	一
鑛業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	八 —	三五
工業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	九九一 △六七六	四、三四三
商業	—	二	—	—	—	—	—	—	—	二	一、〇七一 △二四九	四、九七二
交通業	一	—	—	—	—	—	—	—	—	一	九三六 △八一	一、五二七
公務自由業	—	—	—	—	—	—	—	一	—	一	七八六 △六九	六六四
其他有業者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	五六 △三五二	三、三七五
家事使用人	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三七 △一一	三二三
無職業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一四二 △一八一	一、二七三
總計	一	二	—	—	—	—	—	一	—	四	四、〇六一 △一、六六八	一六、七〇七

備考
本表外國人、日本人、支那人數は各々本業者のみを計上す。
本表中△印は朝鮮人本業者數を示す。
本表は大正十二年十二月末日調査とす。

安東領事館管內國籍別人口　（大正十二年十二月末調）

國籍／男女	男	女	小兒	計
英國	一〇	七	―	一七
米國	四	二	―	六
佛國	一	一	―	二
露國	―	―	―	―
獨逸	―	―	―	―
瑞典	―	―	―	―
諸威	―	―	―	―
丁抹	一五	五	―	二〇
希臘	―	―	―	―
計	三〇	一五	―	四五
日本	五、五四一 △四一、八一〇	五、三三八 △三三、二五九	―	一〇、八七九 △七五、〇六九
支那	九九〇、八七一	七八三、〇一三	―	一、七七三、八八四

備考　△印は朝鮮人。

同外人職業別表

職業 ╲ 國別	英國	米國	佛國	露國	獨逸	瑞典	諸威	丁抹	希臘	計	日本	支那
農業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	七〇 △六六、二〇七	六七八、一五六
水産業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一三 △二五	—
鑛業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一八	—
工業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二六、八二六 △一、五五五	四五、九〇五
商業	九	二	—	—	—	—	—	一	—	一二	二八、八九二 △三、七七五	七八、〇四八
交通業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二、九二四 △一八六	—
公務自由業	八	四	二	—	—	—	—	一九	—	三三	一、七八七 △二、三七一	—
其他有業者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一二〇 △七九五	—
家事使用人	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四八 △二三	—
無職	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一八一 △一三三	—
總計	一七	六	二	—	—	—	—	二〇	—	四五	一〇、八七九 △七五、〇六九	—

備考　支那人に關しては農、工、商以外は不明。△印は朝鮮人

長春警務署管内國籍別及職業別人口（大正十三年三月二十五日現在）

男女＼國籍	英國	佛國	露國	希臘	土耳其	墺國	アルメニヤ	ブラジル	ポーランド	チェック	ルーマニヤ	計	日本	支那
男	二	三	一三〇	一	四	五	一二	一	一	八	一	一六七	三、三二一	一五、六二三
女	ー	ー	一〇四	一	二	五	一三	ー	一	六	二	一三四	二、七八八	二、三六二
小兒	ー	ー	五四	一	二	七	七	一	三	四	一	八〇	二、二三九	一、一八九
計	二	三	二八八	三	八	一七	三二	二	五	一八	四	三八一	八、三四八	一九、一七四

職業＼國籍	英國	佛國	露國	希臘	土耳其	墺國	アルメニヤ	ブラジル	ポーランド	チェック	ルーマニヤ	計
英語敎師	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	二	ー	ー	ー	二
宣敎師	ー	ー	二	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	二
醫師	ー	ー	三	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	三
煙草會社員	二	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	二
鐵道從業員	ー	ー	四〇	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	四〇
石油會社員	ー	ー	五	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	五

仲買業	ー	ー	六二	ー	三	二	一〇	ー	ー	ー	ー	八六
宿屋	ー	ー	一八	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	一八
飲食店	ー	ー	一七	ー	ー	ー	一二	ー	ー	ー	ー	二九
會社及家庭傭人	ー	ー	八	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	八
貸家業	ー	三	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	三
行商	ー	ー	一四	ー	四	ー	ー	ー	ー	ー	ー	一八
寫眞業	ー	ー	ー	ー	ー	ー	六	ー	ー	ー	ー	六
仕立業	ー	ー	四	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	四
肉類商	ー	ー	一一	ー	ー	ー	ー	ー	ー	七	ー	一八
樂器商	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	五	ー	五
俳優	ー	ー	二	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	二
貿易商	ー	ー	七	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	四	一一
皮革商	ー	ー	一五	ー	一	ー	ー	ー	ー	ー	ー	一六
パン製造	ー	ー	八	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	八
製粉業	ー	ー	二	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	二
製靴業	ー	ー	五	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	五
雜貨商	ー	ー	一三	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	一三

煙草小賣	—	—	一四	三	—	六	三	—	一	—	—	二七
酒類商	—	—	五	—	—	—	—	—	四	—	—	九
果物商	—	—	四	—	—	—	—	—	—	—	—	四
日傭稼	—	—	六	—	—	—	—	—	—	—	—	六
薪商	—	—	—	—	—	—	—	—	—	六	—	六
洗濯業	—	—	六	—	—	—	—	—	—	—	—	六
無職	—	—	一七	—	—	—	—	—	—	—	—	一七
合計	二	三	二八八	三	八	一七	三一	二	五	一八	四	三八一

備考　本表には一時滯在中の露國避難民を計上せず。

長春領事館管內居住國籍別人口表

國籍	男女兒	長春附屬地	同附屬地外	公主嶺	四平街	合計
英國	男	二	二	—	—	四
	女	—	三	—	—	三
	兒	—	—	—	—	—
	計	二	五	—	—	七

佛國				露國				希國				土國			
男	女	兒	計	男	女	兒	計	男	女	兒	計	男	女	兒	計
三	｜	｜	三	一三〇	一〇四	五四	二八八	一	一	一	三	四	二	二	八
二	二	三	七	三二	｜	｜	三二	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜
｜	｜	｜	｜	五	三	｜	八	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜
｜	｜	｜	｜	二二	｜	｜	二二	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜
五	二	三	一〇	一八九	一〇七	五四	三五〇	一	一	一	三	四	二	二	八

墺國	男	五	|	|	|	五
	女	五	|	|	|	五
	兒	七	|	|	|	七
	計	一七	|	|	|	一七
アルメニヤ	男	一一	|	|	|	一一
	女	一三	|	|	|	一三
	兒	七	|	|	|	七
	計	三一	|	|	|	三一
伯國	男	一	|	|	|	一
	女	|	|	|	|	|
	兒	一	|	|	|	一
	計	二	|	|	|	二
波蘭	男	一	|	|	|	一
	女	一	|	|	|	一
	兒	三	|	|	|	三
	計	五	|	|	|	五

智惠古 男	智惠古 女	智惠古 兒	智惠古 計	羅國 男	羅國 女	羅國 兒	羅國 計	米國 男	米國 女	米國 兒	米國 計	合計 男	合計 女	合計 兒	合計 計
八	六	四	一八	一	二	一	四	—	—	—	—	一六七	一三四	八〇	三八一
—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	一	三七	五	三	四五
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	五	三	—	八
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二二	—	—	二二
八	六	四	一八	一	二	一	四	一	—	—	一	一九九	一四〇	八〇	四五六

日本				支那			
男	女	兒	計	男	女	兒	計
三、三二一 △一四九	二、七八八 △一〇二	二、二三九	八、三四八 △二五一	一五、六二三	二、三六二	一、一八九	一九、一七四
二一〇 △五六六	二二四 △四〇八	一五一 △四二八	五八五 △一、四〇二	｜	｜	｜	｜
一、一〇九 △六〇八	九八四 △四八四	四二七 △一一〇	二、五二〇 △一、二〇二	六、九四二	一、六二六	三五七	八、九二五
九二〇 △七五	八三一 △五五	三五五	二、一〇六 △一三〇	七、二三〇	一、五一六	四五五	九、二〇一
五、五六〇 △一、三九八	四、八二七 △一、〇四九	三、一七二 △五三八	一三、五五九 △二、九八五	二九、七九五	五、五〇四	二、〇〇一	三七、三〇〇

同管内居住外國人職業別表

職業別	長春附屬地	同附屬地外	公主嶺	四平街	合計
英語教師	二	｜	｜	｜	二
宣教師	二	七	｜	｜	九
醫師	三	二	｜	｜	五
會社員	七	三	｜	｜	一〇

鐵道從業員	四〇	—	—	—	四〇
仲介業	八六	—	—	—	八六
宿屋	一八	—	—	—	一八
飲食店	二九	—	—	—	二九
會社及家庭雇人	八	—	—	—	八
貸家業	三	—	—	—	三
行商	一八	—	—	—	一八
寫眞業	六	—	—	—	六
仕立業	四	—	—	—	四
肉類商	一八	—	—	—	一八
藥品商	五	—	—	—	五
俳優	二	—	—	—	二
貿易商	一一	—	—	—	一一
皮革商	一六	—	—	—	一六
パン製造	八	—	—	—	八
製粉業	二	—	—	—	二
製靴業	一五	—	—	—	一五

雜貨商	一三	ー	ー	ー	一三
煙草小賣	二七	ー	ー	ー	二七
酒類商	九	ー	ー	ー	九
果物商	四	ー	ー	ー	四
日雇人	六	二五	ー	ー	三一
薪商	六	ー	ー	ー	六
洗濯業	六	ー	ー	ー	六
無職	一七	三	ー	ー	二〇
商業	ー	一	ー	ー	一
自動車運轉手	ー	二	ー	ー	二
馬車夫	ー	二	ー	ー	二
工業	ー	ー	三	ー	三
農業	ー	ー	五	ー	五
其他ノ有業者	ー	ー	ー	二三	二三
總計	三八一	四五	八	二三	四五六

備考　一　△印は朝鮮人を示す。

在吉林外人職業別表　（大正十二年一月九日長春憲兵分隊調）

職業＼國別	英國	米國	佛國	露國	獨逸	瑞典	諸威	丁抹	希臘	其他	計
商業	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一
宣教師	三	二	四	—	—	—	—	—	—	二	一一
教師	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一
其他	八	—	—	—	—	—	—	—	—	—	八
計	一三	二	四	—	—	—	—	—	—	二	二一

備考

商業一とは太古貿易商のものにして當地に常住せざるも常に往復す。

其他の國とは丁抹、諸威。

教師とは基督青年會の英語教師。

其他職業とは高太夫並びに同居人を示す。

在哈爾賓國籍別人口　（大正十一年十一月警務署調）

男女＼國籍	英國	米國	佛國	露國	獨逸	ユダヤ	イタリー	ポーランド	コーカサス	其他	計	日本	朝鮮	支那
男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—
女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—
小兒	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—
計	一八二	一〇六	八三	一五五、四〇二	一一三	—	四五	—	—	三六、〇五三		三、八二三	七一四	一八三、六九六

第四章　滿洲主要市場に於ける外人經濟勢力概況

現在南滿洲に於ける外人の經濟勢力は「英米煙公司」及び「スタンダード石油會社」を除く外は殆ど見るべきものはない、此の二會社は其の地盤甚だ堅くして容易に動かすべからざるものあり、今日支那人にとり切實大需要品たる煙草、石油及洋蠟等を殆ど彼等外人が獨占しつゝあるは吾人の羨望措かざる所である、而も如何に僻陬の地と雖も殆ど彼等の手を染めざる所なく其の活動次第に依つては實に怖るべきものがある。

然れども一般に外人は或は營口、奉天等に其根據を置くものあれども大體に於て日本の勢力確立せる南滿に於ては發展する餘裕少しとして北滿をその活動舞臺と觀念しつゝある狀態である、かくて北滿殊にその中心市場たる哈爾賓に於ては列國が經濟巴戰を演じて勢力を角逐しつゝある。

當章に於ては滿洲の主要市場たる奉天、長春及び哈爾賓に於ける外人經濟勢力の概況を述べ「英米煙公司」「スタンダード石油會社」の發展狀況を附記するであらう。

第一節　奉天

奉天に於ける外人の活動としては米人のそれが最も主たるものである、大體米商は奉天を根據地として滿洲に於ける發展を企劃するものでスタンダード石油會社、テキサス石油會社(德斯古煤油公司)愼昌洋行等凡てそれである、英人は大體に於て營口を策源地として發展して來たのであるが(例へば亞細亞石油會社、太古洋行等)近時又奉天に進出するもの多く更に北滿への發展を企圖しつゝあるものゝ如くである。

殊に華府會議の結果日本の滿蒙に於ける優越權放棄と共に久しく日本の利益壟斷を羨望しつゝあつた在支英米人等は早くも滿蒙に於ける事業計劃を企て或は北京、天津方面より或は上海方面より英米實業家奉天に入り込み領事館と連絡を取つて支那官憲に喰入ることに努めたのである、前奉天米國總領事ベーカー氏の如きは其の最も著しきものにして彼は現在張作霖の顧問となり陰然躍動しつつあるものゝ如く傳へらる。

更に奉直戰後東三省軍が軍事整理の半面に於て頻に軍需品の獨立供給に餘念

なきに乘じ歐米各國技師、外交官、實業家の活動となり軍事上必要なる各種工場の計劃を見るに至つた、卽ち火藥製造所建設計畫、皮革製造所建設案、製絨所建設案等の如し、之等は凡て外人の慫慂したるものにして之が建設に際してはその要する材料機械及技師を彼等より供給せんとする策に出でたものに外ならない。

今張作霖が彼等外人より購入せる重なる軍需品を擧ぐれば左の如くである(關東軍參謀部調)

1. 東三省兵工廠兵器製造機械購入　張作霖は奉直戰後兵器彈藥の不足が戰敗の因を爲したるに鑑み工廠の擴張を實施し之に要する機械として丁抹より獨逸ハンブルグ製小銃製造機、火砲製造機、砲彈製造機及機關銃製造機を購入せり。

2. 同工廠兵器彈藥材料の補給調辨

(イ)小銃彈用材料及器材補修用の銅、鐵、亞鉛、ニッケル、鉛等の材料は從來日本及米國より輸入し來りたるも逐次外人の手に移りつゝある。

(ロ)無烟火藥用材料中酒精其の他の雜品は獨逸及英米兩國商人より購入しつゝあり。

因に黑色火藥用材料は日本及滿洲に於て調辨し無烟火藥用材料綿花は主と

して上海及天津に於て購買しつゝある。

3. 電話機の購入　奉直戰に於ける戰場通信の缺點に鑑み奉軍軍事整理署は米國より野戰電話機（我騎兵用携帶電話機に準する小型のもの）三百箇、附屬被覆線約四百吉米を購入し其の價格三萬圓なりと。

4. 飛行機の購入　東三省航空處は最近伊太利商哈利洋行より大小飛行機四十機を二百萬圓にて購買契約を締結したるが如し。

5. 鐵線購入　奉直戰中張作霖顧問米人ベーカー氏は鐵條網用鐵線（價格一萬圓）を奉軍兵站處に納入した。

6. 無線電信機の購入契約　主として米人ベーカー氏の獻策に基くと稱せらるゝ東三省無線電信網設置計畫は最近獨逸シーメンス會社技師と東三省軍軍事整理處工務處技師吳梯青との間に於て交渉大に進捗し其の機械購入に關する契約を爲せり、該無線電信は電話兼用の計畫にして其總額約二十三萬圓にして建設後は各所に獨逸技師を入るゝものと觀測せらる。

7. 被服廠機械購入　最近被服廠の設置を見るに至つたがその機械は米商愼昌洋行より購入し且つ之が技師をも傭聘せりと聞く。

次に顧問問題に就ては日本が顧問聘用優先權を棄てたると奉軍軍事整理に伴ひ張作霖が勢ひ外國將校技師の傭聘を必要と爲すに至りたると更に一面外人等の運動とに依り最近奉天に於ては俄かに左の如き多數外人將校技師の傭聘者を見るに至つた。

1. 東三省兵工廠傭聘外人

英國人技師	一
希臘人助手	一
丁抹人技師	二
露人技師(舊砲兵將校)	三
同　職工(下士卒)	五五
獨逸人技師	六

右の外日本より技師長一、副技師長一、組長四、工長四、其の他職工若干を傭聘するの意圖あるも未だ實現に至らない。

2. 奉天航空處傭聘外人

米國人技師	二

英國人技師(下士)	一
佛國人技師	二
伊國人技師	二
露國人飛行大佐	一
同　中尉	二
同　機關技師	二

右の外英、米、獨、佛の各國より更に一名宛の技師又は將校を傭聘する考案なりと。

3. 保安總司令部隷下

露國武官

陸軍中、少將	三
同　大佐	二
コサック大尉	一
外	二
騎兵中佐	一

獸醫　一
獸醫者　一

因に右軍事關係傭聘者の外現在奉天省に於ける傭聘外人は左の如くである。

一、米人

ペッパー	奉天電燈廠技師	月俸大洋八〇〇元	米國電氣學校卒業 宣統二年一月傭聘
ベーカー	保安總司令部顧問	同　八〇〇元	元駐奉總領事 民國九年招聘

二、英人

ブーリイス	東三省郵務管理局長	同　八二〇元	民國二年傭聘
カリント	同管理局員	同　五五〇元	民國十一年傭聘
パロトアル	同管理局員	同　四〇〇元	民國十一年傭聘
パペース	同會計長	同　六〇〇元	民國十年傭聘
ニューマン	奉天海關稅務學校敎師	同　六〇〇元	同
サントコ	奉天海關稅務司	同　八〇〇元	民國九年傭聘
ポラユーアル	同賑司員	同　六五〇元	民國十一年傭聘

三、獨人

コリント	打虎山三岔炭坑技師	同 五〇〇元	民國十年傭聘
ウエイコヌス	同	同 四五〇元	同
バイク	東三省郵務管理局	同 五〇〇元	同
ステン	奉天海關税務學校長	同 六〇〇元	宣統二年傭聘

四、伊國人

奉天に於ける傭聘外人は以上の如き色分であるが滿洲と直接共存共榮關係にない彼等が常に影にかくれ支那官憲に喰入つて滿蒙に於ける或は利權の獲得、或は經濟的發展に腐心しつゝあるかは直ちに想像し得られる所である、殊に米國は滿鐵對抗策として錦愛鐵道及連山灣築港の權利獲得に努めつゝあるが如きも滿蒙に於ける鐵道の布設が四國借款團の手を通ずることゝなれる今日拔け駈の功名は到底不可能なことであらう。更に最近聞く所によれば奉天電車敷設權は入札の結果獨逸人の手に落ちたりと。

尙又國際企業有限公司(米國會社)は近時新市街千代田通に支店を設け彩票を發行して資金を集め之を諸種の事業に投資せんと企劃しつゝあるが日本側支那側

共に之を賭博會社と目して許可を與へざるものゝ如し。

奉天に於ける外人活動狀況は以上敍說したる如くにして之に依つて又奉天に於ける外人經濟勢力なるものを窺ふことが出來る、奉天に於ける外國商品の狀態に就ては長春の商品市場に於て述ぶる所と大差なきを以つて此處には省略するに要するに奉天は今日外人滿洲發展の一大策源地にして近時此處に居住する外人數甚だしく增加し一方支那官憲に手を廻して種々劃策しつゝあるが奉天の商品市場としては煙草、石油、機械類等を除く外は日本商品が大部分を占めてゐる。

第二節　長　春

（商業會議所調及商品陳列館調に依る）

長春市場に於て需要さるゝ商品は其殆ど全部が本邦品であり直接間接に邦商により輸入されたもので現狀にあつては之等商品の販賣範圍には殆ど歐米品の侵入を許さない、一昨年來獨逸商品の著しき輸入を見價格の廉と品質堅牢の爲め一般に歡迎せられたるが如きも最近に於ては其輸入激減せり、今當地に於ける外國商品の重なるものを揚ぐれば左の如くである。

石　油（英米獨占）　ミシン機（米獨占）　靴下編機（米獨占）

レース(瑞西獨占)	レールベッチ(英米)	リスリン(獨)
羅紗(英獨)	毛布(波蘭)	高級時計(瑞西)
建築材料金具(米獨)	高級化粧品(佛米)	金網鐵鋁(米)
針(獨)	卓子掛(米)	絹織物(佛英米)
板硝子(白墺)	卷煙草(英米獨占)	絹靴下(米)
魚肉鑵詰(米)	野菜鑵詰(米)	皮革(米)
機械オイル(米)	賣藥(獨)	洋酒(佛英)
干葡萄(米)	理髮器具(獨米)	染料(獨米瑞)
釘鋲(米)	加工綿織物の一種(英米)	煉乳(米)
リノリユーム(米)	高級カベット(米)	毛糸(英米)
高級洋酒(英)	寒冷紗(英米)	砂糖(英)
麻袋(英)	高級煖爐(米)	鐵板(米)
軍用銃器(米)	寫眞機及附屬品(米)	懷中及腕時計(米瑞)

因に外國商品の輸入徑路は凡て上海を中繼し華商にて本國直輸入を爲すものはない。

先にも述べた如く此等商品も日本品に比すれば其數量極めて尠きものであるが唯石油、煙草、裁縫機械等は殆ど本邦に產出せざるか技術が未だ歐米のそれに比肩し得ざるか又は特許の保護法を獲得せざる爲め本邦品は全く競爭に耐へ得ないのである、今主要商品別に概記せんに。

（イ）石油　我國の產出極めて尠く爲めに內地に於てすら米國品の輸入に俟つて居る狀態で滿洲としても米國品の需要が極めて盛んである、大正十一年中長春に輸入された石油數量は五千七百六十三噸（十五萬五千箱）內二千八百七十一噸（約七萬五千九百六十二箱）は吉林に移出し（吉林移出の石油の大部分は地方搬出を主とするものにして省城附近は勿論遠く間島等に輸出するもの尠からず）殘り三千八百九十二噸（約七萬九千〇三十八箱）が長春及附近で消費されたが其供給者は美孚煤油公司と亞細亞煤油公司で兩者の勢力は相伯仲して居る、而して其相場は概約

美孚	鷹印	奉票	八圓四十錢
同	虎印	同	七圓八十七錢
亞細亞	猪印	同	八圓三十五錢

同　　　　　僧帽印　　　　　同　　　七圓八十一錢

である、若し將來之等外國品に對抗して本邦品の販路を擴張せんとするならば品質が劣つて居るのであるから右の價格より尠くとも五、六十錢方安價でなくては見込がない、因に需要期は十月より翌年二月迄である。

(ロ)煙草

當市場に販賣さるゝ主なる煙草の製造所は次の如くである。

英米トラスト　　　　聯合煙草公司
中華煙公司(哈市)　　老邊奪煙公司(哈市)
大安煙公司(奉天)　　南洋兄弟商會(南支那)
大美煙公司(南支那)　東亞煙公司

而して長春に於ける年需要額は約六、七百萬圓と推算される。

右の内最も勢力あるものは勿論英米トラストで東亞煙公司の外は全部其資本が注入されて居る、故に看板は異なるが系統から云ふて、英米トラスト對東亞煙公司の競爭と見る事が出來る、英米トラスト其者の勢力頗る大であるに、元來相當の地盤を持つて居た之等の各煙草會社が英米トラストを背景にして樹つて居るのであるから彌が上にも强大ならざるを得ない、各社共猛烈なる競爭を

なし支那人嗜好の研究に日も夜も足らぬ有樣で市街と云はず村落と云はず至る處目覺ましい廣告をして居る結果で、煙草は賣藥と同樣に廣告の效力が最も著しいものとせられて居るが、日本側の會社には其廣告費回收まで据ゑ置く如き充分な資本を擁して居らぬのと原料とする葉煙草の供給を敵方たる米國に仰がなければならぬ不便よりして、積極的競爭をする資格無く、漸く現狀維持が精々と觀られて居る、勿論現狀維持と稱しても英米トラスト系に漸次販路を蠶食せられつゝあるのであるから、一方に漸次新販路を擴張し其の蠶食範圍の補足に努力して居るのである。

從つて常にトラスト系に壓迫せられ勝で總需要額の約十割足らずの販路を有して居るに過ぎぬ。

(八)綿糸布　日露戰爭後までは營口經由輸入さるゝ歐米製品の獨占舞臺であつたが、其後邦人斯業者の大活動と政策宜しきを得たる爲め着々歐米品を驅逐して主客顚倒本邦品の獨占舞臺を現出したのである、然るに大正七、八年以來、本邦品の生產價額昂騰と支那の各種工業の發達せるに原因して紡績業も勃興し、殊に支那にて經營する本邦人及米國人等の外國人の紡績業の特に目覺しき活動に

より一部實用向きのものは品質に於て本邦品と比肩し得、價格に於て本邦品よりも廉なるものを生產するに至り、漸次本邦品の從來有して居た販路を浸食する趨勢にあり、唯優美を條件とする細物は近き將來に於ては紡出され難い模樣であるがこれとて本邦品の生產原價が昂騰すれば直ちに歐米物が以前の販路を回復するであらう。

當地に於ける綿布の纒つた需要先は駐屯支那軍隊であるが、當地支那軍隊に於ては之れを全部天津方面に仰いで居り、當地商人として納入して居るものはない。

(二) 機械類　當地は工業地として必要な水が尠ないのと、電流が廉ならぬ爲め今日までは勿論近き將來に於ても工業が殷盛に赴くと云ふ見込がつかぬ、從つて機械類の需要は殆ど皆無である、唯通信機械は日本の在支郵便局撤廢後支那官憲が極力通信機關の充實を企劃して居る爲め相當な需要があるが、外商は浸入して居ない、邦品も唯和登商行が一手に引受けて居るだけで競爭者はない。

次に日本商品の現狀を見るに從來我が主要輸出品なりし商品が漸次支那自國製品の爲めに壓倒され非常なる打擊を受けつゝあるもの逐次增加するの傾向あ

り著しきに至つては全く對抗の餘地なく遂ひに輸出の不可能となりたるもの枚擧に遑あらず、今其主なるものゝ一例を擧ぐれば次の如くである。

(イ)全く其輸出の不可能となりたるもの。
タオル、シーツ、莫大小、手袋、各種靴下、齒ブラシ、麥酒、清涼水、ビスケット、菓實鑵詰綿毛布、鳥打帽子、中折帽子、トランク、ヅック手提鞄、フェルト、粗製葡萄酒、果實酒、神紙(正月用)カタン糸、麥藁帽子、角の練釦、擬寶珠、團扇、綿及金巾ハンケチ、臺灣帽子、火屋、洋燈、白粉、藍棒ネル、下級化粧品等

(ロ)目下支那自國製品の爲に壓倒されつゝあるもの。
腿帶子の一種、齒みがき粉、煖爐、製麵機、下級鏡、加工綿織物の一部、粗製陶器、手帳革財布、帶皮、墨汁、不易糊、洋蠟

(ハ)將來壓倒されんとするの虞あるもの。
莫大小襯衣、莫大小袴、腿帶子、綿更紗、化粧石鹼、粗製寒冷紗、セメント、綿糸、粗布等

猶我對支貿易品にして從前より依然確乎たる聲價を保持し支那自國製及び外國製の追從を許さゞるものを擧ぐれば次の如くである。

下級掛置時計(名古屋、大阪製)細綾の一種、綿加工織物の一種、氷砂糖、金庫、吉野紙

諸洋紙、連史、護謨靴底、靴裏金具、蜜柑、便箋紙、謄寫版、封筒、鹽鱒、鮑鑵詰、片栗、古新聞紙、鹽混布、寒天、人力車、高級香竄葡萄酒、青糸混布、タイル、護謨タイヤ、中級陶磁器、琺瑯引鉄器、輕銀製品、アイボライト製、パイプ、味の素、九重石鹼、醋酸酢、壁紙、硝子製品護謨玩具、干海參、スレキ(洋服袖裏)眞地(洋服)干海老、のみとり粉等

第三節　哈爾賓

今日滿洲に於て各國の經濟勢力が最も錯綜しつゝあるは哈爾賓である、卽哈爾賓は純然たる國際市場從つて列國の競爭舞臺である、滿洲に於ける各國の經濟勢力は集つて此處に巴戰を演じつゝあるものと云ふことが出來る、之哈爾賓が北滿の中心市場であり對西比利貿易の中繼地(或は又取引市場)であるが爲めに外ならない、かくて哈爾賓の經濟事情を研究することは滿洲に於ける外人經濟勢力を知る上に於て最も必要なりと云はなければならない、以下記載する所はその資料を殆ど在哈日本商業會議所の調査に依つたものである。

一、哈爾賓が競爭市場となるに至りし徑路

哈爾賓が列國商品の競爭市場となつたのは極く最近の事で其歴史は新らしい

卽ち大正九年の夏哈爾賓新市街に獨逸海外商工會社と云ふ獨逸人の商店が開かれた頃からのことである、それ迄は歐洲大戰の好影響を受て外國品は自然に流れ込んだもので目に立つ程の激甚な競爭は見受けなかつた、今此處まで卽ち競爭が激甚になる迄の競爭舞臺たる哈爾賓の商況を過去に溯て調べてみると大要次の如き徑路を辿つて來た。

卽ち一六三六年に露國が黑龍洲を占有した頃までの哈爾賓は何等の經濟的價値を認められない一寒村に過ぎなかつたが一六八九年支那代表と露全權とがネルチンスクで媾和條約を結んだ頃から此の哈爾賓に露人が眼を付け初め降て一八五七年ムラビヨフ伯が東部西伯利總督としてイルクーツクに來た頃から露人が此の哈爾賓に特に注目する樣になり一八五八年の瑷琿條約に依り露國が黑龍江の航行權を獲得した事が露人が此の地方に事實上伸びて來る第一階段であつた、一八九五年の日清戰爭に依り支那の勢力が衰へて來た事は露國年來の南下政策を現實化する上に絕好の機會であつた、彼の日清戰爭後の所謂三國干涉は露國南下の烽火であり越ゑて一八九六年に締結せられたカシニー條約は露國が哈爾賓を手に入れる第一階段であつた、斯くて露國はカシニー條約に依つて東清鐵道

の敷設權を手に入れ卽ち一八九七年の夏東淸鐵道敷設の起工式を擧げた、此の起工式が哈爾賓誕生の產聲で哈爾賓は此の時に生れたのである、そして此の時から哈爾賓の對外的關係は生じたのである、卽ち鐵道工事に要する一切の材料はハバロフスクから松花江を溯て此の哈爾賓に送られて來た、此の工事材料は殆ど全部獨逸品で海路浦潮に送られそれから哈府に來た品物であつた、是れから日露戰爭までの哈爾賓の市場は獨逸品の獨占舞臺で他の何れの國の商品も來てゐなかつたのである。

哈爾賓の建設は斯の如くにして始まつたのであるが當時は未だ經濟的都市たる色彩を有せず露國は之を以て極東經略の策源地となしその施設も政治的軍事的のものにして產業施設は之を見なかつたのである、而るに一九〇〇年春の團匪事件次いで一九〇四年の日露戰爭の敗戰に依つて哈爾賓の立場は根本的に變へられなければならなくなつた、卽ち日露戰爭までの東支鐵道の大連中心主義は浦潮中心主義と變り、從來の軍事的施設は經濟的施設に移り、政治は軍政より民政に一變したのである。

斯くて日露戰爭後明治三十九年十月此の哈爾賓が開設せられ日本人も入り込

む樣になり日本品が市場に現はれて來た、然し當時の日本品は對外的のものでなく對內的卽ち對日本人向きのもので換言すれば共食用品であつた、翌明治四十年には日本人も次第に增加し從つて日本品の輸入も殖ゑて全輸入額五百萬留の約一割を占むる迄に進み其の性質も對內的域を脫して對外的卽ち露支人に賣込む貿易品の性質を帶んで來た、越ゑて四十二年には本邦品だけで三千四百四十八萬留に躍進し獨逸商品の勢力圈を蠶食し始めた、降て大正四年には全輸入額九千三百七十七萬留の內日本品が六割、外國品が四割と云ふ地位に進んで來た、斯くて明治四十年の中頃まで獨占的地位を占めてゐた獨逸品は一面日本品の輸入に依つて壓迫を受け一面歐洲品(英。佛)の侵擊を受けることゝなつた。

敍上の如く哈爾賓に於ける列國商品の競爭は明治四十年の中頃から始まり年を經るに從つて激甚の度を加へて來たが大正四年歐洲大戰の勃發次いで露國の政變の爲め獨逸を始め歐洲列國は他を顧みるの暇なくかくて日本の經濟勢力は更に一層哈爾賓を始め北滿に延びることゝなつた、一方又米國は歐洲諸國が戰渦に沒頭しつゝある隙に乘じ自國商權の擴張を計り北滿にもその手は延びて大正五年の暮米國品の大量輸入を見初め此に日米の商品戰が開始せられたのである

更に歐洲大戰後は再び獨逸品、英國品、佛國品等の輸入を見ることゝなりかくて今日哈爾賓市場は又列國品の巴戰場となつてゐるのである。

二、哈爾賓に於ける外國商品

哈爾賓に於ける列國商品中競爭の激甚なるものは機械類、玩具類、藥品、金具及建築材料、家具樂器、染料、砂糖、化粧品、織物類、皮革及其製品、農具、石油其他油類、雜貨の十三種である、而して此の十三種の哈爾賓に於ける輸入割合は左の如くである。

一九二二年中哈市各國商品取扱國別歩合(但し傳家甸を含まず)

品目	日本	米國	英國	獨逸	其他
機械類	五%	四五%	一五%	二五%	一〇%
玩具類	三五	一五	—	二〇	三〇
紙類	三〇	二〇	一〇	二〇	二〇
藥品	二〇	一五	一〇	四五	一〇
金具及建築材料	二〇	四〇	一〇	二五	四
家具樂器	一〇	二〇	一〇	五	五五

染料	一〇	一二	一〇	六〇	八
砂糖	一五	｜	｜	｜	八五
化粧品	一三	一二	一五	一〇	五〇
織物類	二〇	三五	三〇	一五	一〇
皮革及其他製品	｜	七〇	｜	｜	三〇
農具	｜	六〇	一〇	一〇	二〇
石油其他油類	一〇	七〇	五	｜	一五
雜貨	一〇	三〇	二〇	二〇	二〇
計	一九八	四四四	一四五	二五五	三六七

右表を見ると第一位が米國品、第二位が其他商品卽土產品及支那品、第三位が獨逸品、第四位が日本品、第五位が英國品と云ふ割合にあるのである。

而し傅家甸を含む哈爾賓の場合に於ては日本品が第一位を占めてゐる、卽ち左の如し(單位萬圓、但し推定)

日本品	二、五〇〇	米國品	一、五〇〇	獨逸品	七五〇
其他	八七〇				
支那品	一、五〇〇	英國品	七五〇	佛國品	一三〇
合計	八、〇〇〇				

更に右を取扱國人別に示すと次の如くである(單位萬圓)

日本人 一、〇〇〇　米國人 二、〇〇〇　獨逸人 三〇〇　其 他 四〇〇

支那人 三、五〇〇　英國人 七〇〇　佛國人 一〇〇　合 計 八、〇〇〇

以上の諸表により哈爾賓に於ける各國商品が如何なる狀態に在るかの概念をつかむことを得たと思ふ。依つて次に此等各競爭商品に就き品別及國別の二方面より其特徵、特能を述べてみよう。

(イ) 競爭商品の特徵

哈爾賓に於ける各國競爭品が如何なる特徵を有するかを見ることは又如何なる商品がその競爭舞臺に於て勝敗するかを知る所以である、依つて左に順次各品に就て其の特徵を揭げて見ようと思ふ。

機械類(器具を含む)

歐洲大戰中及戰後製作したる獨逸の機械及器具は戰前のものに比較して劣ると云ふ聲を聞くが北滿電氣會社其他に於て實際使用した結果に依ると戰前のものと少しも變らないと云ふ事である、兎に角機械類は獨逸品が最も勝れてゐる、獨

逸製の特徴とする點は質の堅牢にして實質に重きを置きデリケートな點にまで細心の注意を拂つて製作しある事である、例へば鋏の先端に磁鐵を入れ針を拾ふに便せる如き、又鋏を使用する場合の事を考へて力の最も多く加はる點を部厚にして耐久力に心を注げる如き、又包刀の把る所に重みを加へて使用の場合に便せる如きは明かに獨逸品の特徴を現はしてゐる。

次に英國品に就て見るに英國製の機械器具は丈夫で體裁がよいと云ふ點に特徴がある、缺點とも云ふべき所は丈夫と云ふ點に重きを置き過ぎた結果か又は化學的研究の足りない結果が能率を發揮するに必要以上の材料を使い過ぎてゐる嫌がある、其の爲め重量が重い、要するに英國製の機械器具は見るものをして丈夫だなと云ふ感じを與へると共に實質に於ても頗る堅牢である點を特徴とする。

次に米國製の機械器具は製作品に親切味を缺いてゐるが價が安くて實用に適すると云ふ點に特徴を持つてゐる。例へば哈爾賓に於ける全自働車數二百五十餘臺の內米國製のフウォード物が七割を占めてゐるがフォードは決してよい車ではないが値が安く手輕で油を喰はないのと取換用の部分品がいつでも又どこでも求められると云ふ點に强味を持つてゐる、換言すれば他のオーバーランドやハ

ドソン等に比較すると最も實用的であると云ふ點に最大の特徴を持つて居る結果最も多く使用せられる次第である。次に日本製の機械器具を見るに目下の所一つも特徴とすべき點を持たない、第一質が脆弱である、第二には製作上の研究を缺いで居る結果各部の力の平均を缺いで居る。第三は製作が不親切である加ふるに値が割高である。

玩具類

目下哈爾賓に多く輸入せらるゝ玩具は獨逸、佛國、日本もので此の外に土産品卽ち此の哈爾賓で作られたものがある。

獨逸製のものはどこまでも丈夫と云ふ點に力を注いで居る、此の點は獨逸製の特徴である、其の次は科學的に出來てゐて兒童に組織的才能を與へる上に非常に效果がある。

佛國製のものは凡てに美術味を帶びてをり柔らかみを兒童に與へる點に特徴がある、値段は少し高い。

日本人は「玩具は壞れるものだ」と云ふ觀念を持つてゐる爲か總てが壞れ易い、之が日本物の缺點である、只値が少し割安であると云ふ點に强味を持つてゐるに過

ぎない、日本のものは色彩と云ふ點は獨佛のそれに劣る、要するに日本製の玩具を露國人に仕向けるに就ては再考を要する點が多々ある。

藥　品

哈爾賓に入つて來る藥品は獨逸品が第一位を占めてゐる、日本品も多少は入つて來るが到底獨逸品の敵ではない。

金具及建築材料

金具は機械の項に記したのと大差ない特徴である、建築材料中のセメントは目下啓新（唐山）小野田、豐國、日本、淺野、大分、日本窒素、櫻、海防の九社品である、右の內唐山は此の哈爾賓地方で最も古き地盤を持つてをるもので品質も仲々よい、小野田も相當信用厚く且つ格安である結果好評を博してゐる。

家具樂器

一家具は殆んど土產品であつて內僅かに米國から入つて來ると云ふ狀態である樂器の輸入は量に於て大なるものでなく特に記する程の事もない、目下ピアノ、ヴアイオリン類が米國のシカゴから入つてをるのとオルガンが上海から其他セロやバスやクラリオネツトが英國及伊太利から少し入つて來る位のものである。

染料

哈爾賓に於ける染料の輸入は之れ又前の家具樂器と同じく掲ぐる程の事もない、目下入つて來るのは獨逸物で日本物は殆ど入つて來ない、それで今の所では獨逸物の獨占舞臺で他國品が侵入して競爭することを許さない狀態に在る。

砂糖

當地に輸入せらるゝ砂糖はジャワと南滿製糖のもので此の外に土產物(ビートシュガー)がある、目下の所土產品が第一位でジャワ物が第二位と云ふ順に在る。

化粧品

哈爾賓市場(支那町傅家甸を除く)に於ては佛國品が最も人氣よく如何な獨逸物も之には敵し難いと云ふ一種獨特の特徵を以てゐる、つまり露人の嗜好にシックリ合一するものであると云ふ點にあるのである、日本物、英、獨、米品が入つては來るが大勢は矢張り佛國品に壓されてゐると云ふ次第である。

織物類

羅紗は英國物に依つて獨占せられをる觀がある、綿織物の內高級のものは英國物下級のものは日本物に依つて市場を壓してゐる、絹織物は日本品が大勢を握つ

てゐる。

皮革及其製品

皮革類及其製品は米國物で市場は之れに依つて滿たされてをると云ふ次第である、日本物に比すれば品質がよく且つ價格の點に於て割安である、目下の所では之れに對抗するものは土產品があるが現在に於ては割高になるので大なる生產はない、土產の生皮は反つて米國に輸出されて滿洲に逆輸入される狀態である。

農具

農具は主として米國物でアメリカン、サーヴイス、コンパニーと云ふ米國商が輸入農具の大部分を取扱つてゐる、取扱ひの品は各種の把撈鋤類、選別機、農耕用ツラクター等である、大農用農具としては米國物は優良で他國品は之に及ばない、小農具卽ち鎌類は墺洪國品が最も優良で日本品はいくら競爭して見ても勝てる見込はない。

石油其他油類

北滿輸入の石油其他の油類は亞米利加ものに依つて占められてゐる、其主なるものはスタンダード及テキサスオイルコンパニー物である、之れも他國品の侵入

を許さない程の勢力を持つてゐる。

雜貨

哈爾賓輸入貨の內で雜貨程多くの國から入つてゐるものはない、數量の點に於ても可成り大にして又競爭の點より見るも最も激しいものである、而して各國製品の特徵は此の雜貨に於て最もよく現れてゐると云ふことが出來る、此の點につきては次に述ぶる列國品の特能を參照してもらひたい。

(ロ) 列國品の特能

各國商品は夫々その特能を有するものである、之れ國を異にするに從ひ民族を異にするにつれ、文化の相違するに依り又富の有無に依つて來る所である、而して右の如き事情の下に生產せられたるものが一步國際市場に現れるや市場を中心とする周圍の事情卽ち風俗、慣習、購買力等に依つて或物は適し或物は不適となり此處に於て市場四圍の環境に適するもの丶みが獨り市場に或場面の地位を占むるものである、哈爾賓に於ける各國商品の特能は次に述ぶる如くであるが只前項に述ぶる所と幾分重複する嫌なしとしないが暫く了恕を乞ふ。

獨逸品

哈爾賓に於ける獨逸品の輸入は遠く明治三十一年の頃から見受けられた、元來露國人は憂鬱な屈從的性格の所有者であり且つ獨逸人の如く科學的才能の優れた國民に非ざると一は獨逸から地理的、歷史的、人種的關係を利用せられ國內の產業を擧げて獨逸人又は獨逸系露人の手にゆだね來りし結果露國國內市場は獨逸人及獨逸系露人に殆んど其全部を占められたのである、從つて露人の使用する機械器具、生活必要品は獨逸の型に打ち込まれ久しき間に拔くべからざる癖を習慣付けられた此の習慣は哈爾賓に乘り込んで來てからも拔ける事なく東淸鐵道の敷設材料は元より生活必要品に至るまで之を獨逸又は在露の獨逸人工場に迎へた形跡の歷然たるものがある、こうした事が今日に及び現在でも獨逸品と云へば彼等露人は喜んで之を迎ふると云ふ有樣である、然しながら有力なる輸送徑路たる西伯利鐵道の未だ自由交通の開かれざる今日に於て而も又戰後の疲弊に苦しみマーク相場變動の激しい獨逸としては此の露人の欲望の總てを充たし得ることは出來ないのである、從つて運賃其他の關係から只だ雜貨に於ては人絹製品、玩具、刀物（ゾクンゲン物）洋服附屬の金具例へばホック、ビショーの如きもの、特殊の陶磁器置物及其類似品、電氣器具、機械類等に於て獨得の特能を持ち市場の一角に力

強く生きてゐる。

英國品

英國品が哈爾賓市場に目立つて入り初めたのは明治四十二年頃の事である、元來英國品は品質優良にして獨逸品に優るとも劣る事なき良品なるも價格の點と意匠が露人の風俗習慣にシックリ合はなかつた關係から此の哈爾賓に於ては獨逸品に一歩を讓り歐洲大戰迄此の狀況を持續した、而して大戰に依り大正四、五、六年は市場に存在を認められぬ程微々たるものであつたが大正七年頃から再來し今日に於ては高級綿、麻織物、羅紗類、ガス糸類、綿繻子、カーテン類に於て特能を發揮し市場の一方を占有してゐる。

佛國品

哈爾賓に於ける佛國品の特能は常に流行品の魁を爲してゐる事である、意匠の優美である點は何れの國の物も及ばない、商品の上に於ては刺繡用ガス糸、美術的流行絹織物、高級化粧品、リボン、絹眞田、婦人用櫛、帽子裝飾用造花類に於て獨步の地位を占めてゐるが價格も相當に高く又元々實用品に非ざるを以て僅かに上流生活者の需要を充すに過ぎないのである、此の趨勢及び特能は今後に於ても持續せ

らるゝものと觀測せられてゐる。

米國品

哈爾賓に於ける米國品輸入の歴史は最も新しい、卽ち米國品が此の哈爾賓に盛んに入り始めたのは大正五年の暮れ頃からで米國人も多數入り込み當時東洋市場を風靡した日本品の向ふを張り宣傳又宣傳日本品の驅逐に努めたものである抑々米國品は質に於て英、獨、佛品の敵でなく常に英、佛、獨品の模倣に之れ努め居るものゝ如く又露人の趣味嗜好に合せず且つ粗製濫造の嫌あり、爲めに今日一般に不評判であるが價格の低廉なるは購買力の極度に減退した露人の意に投合し中下流生活者用衣類及其の附屬品、理髪用器具、實用向の安石鹼及化粧水、ボイル、サージ、ゴム製品、皮革類、精製毛皮類に於て米國品としての特能を現はし市場に命を繫いでゐる、

伊、瑞西、波蘭品

伊國は美術的卓子掛、繪入織物類に於て特能を發揮しをるも市場を左右する迄には行かない、瑞西品は高級綿、麻製縫織物、カーテン類に於て特殊の地歩を占め波蘭は毛布の一點に於て聲價を留めてゐる。

日本品

日本品としては特に掲げて特能と稱すべきものなきも只數量の點に於て列國品の首位に在る、日本品は品質粗惡なりとの評あるも現在露人の極度に減退せる購買力及生活程度の低き支那人には英、米、佛、獨品は餘りに高級に過ぐるのと價格が彼等の意に反する嫌があるのに好況時代の惰性が手傳つて日本品は中下級露支人の間に半面に不評を受け乍らも迎へられつゝあるのである、此の關係が今日日本品が市場に惡評を受け乍ら猶且つ勢力を持續しをる次第である。

支那品及土產品

支那品及土產品は市場品の中下流生活者の需要を充しをるが特記すべきものとしては上布、粗布類がある位で特能を備へをるものは見當らぬが輸入品の代用物として市場に勢力を保持し居る事は事實である。

三、哈爾賓に於ける列國人

哈爾賓に於ける列國商品の事情につきては先きに述べたる如くであるが更に哈爾賓に於ける列國商人が現在如何なる活働狀態にあるかを少しく誌してみよう、哈爾賓に於ける列國商品は前項に於て述べたる如く夫々其の特徵、特能を有し

て市場に割據してゐる、從つて在哈の列國商人も自國商品のみを取扱ひ商業上の覇を爭はんとするものでなく各國商品を販賣し徐ろに自國商品の發展を企劃しつゝあるものであるが彼等商人の活働如何が又自ら自國商勢に大なる影響を及すべきことは明かなる所である。

此處には只列國商人の大體性を述べるに止め個々の商店會社については第五章を見られたい。

(イ)獨逸商人

獨逸商人を一言にして云ひ表せば「眞面目」と云ふ三字で盡くる實際獨逸商人は眞面目である、眞劍である、今その一例を示すとウイスネル商會(本店は漢堡に在り各工場の建設請負及各種の機械器具の輸入販賣を爲し獨逸商店中信用ある店として知られてゐる)が曾て關東軍倉庫との間に新式精米機の取引交涉したる際ウイスネルは代金支拂に對して次の如き事を提言した、卽ち「機械代金及工事請負に要したる一切の代金は工事が終了して愈々仕事を受渡す際に戴けばよい、それ迄は買受人の欲する銀行に隨時保證積立をして貰らへばそれで結構である、而して其積立金額も指定はしない尙又自分の方を信用出來ないとの考へであつたら何

時でも自分の取引銀行である露亞銀行、インターナショナルバンク、香港上海銀行の何れからでも保證狀を取つて差上げます」と、尙又機械に對する保證の如きも至れり盡せりである、斯の如く買手を本位とし少しも買手に不安を與へる事のない樣に銳意努力してゐる。

從來獨逸人の特徵として世に擧げられてゐる點は頭腦が組織的である事、計畫が周到綴密なる事、獨創と研究心に富む事、勤勉にして自己の職務に忠實なる事等である、而して英國商人が自尊心高く自己本位であり、佛國商人が需要者の不利不便と云ふ點を餘り考慮せざるに反し獨逸商人はどこまでも顧客本位であることは特に注意しなければならない、尙又英、米、佛の資本家が對外國に投資する場合は其投下資本の性質が自國貿易の擴張及投下資本に對する相等の報酬獲得であるに反し獨逸のそれは自己が目指したる地に於ける自己所屬の事業獨占で在る。かの露國に獨逸が經濟的發展を爲せし跡を辿つてみるも總てが獨占的で露國の產業を擧げて自己の掌中に納めざれば止まざる態度を以て進んだのである、然れども目下の狀態に於ては思ふ存分手を延すことを得ず獨逸人自らも他の外國商人と覇を爭ふの意思なきことを語りつゝありと聞く。

りと信ずるものは他も之を最良なりと認むるものなりとの信條を有して客の來り求むるを待つと云ふ風である。

(ロ) 英國商人

英國商人は先にも述べたる如く頗る自尊心高く自己本位にして己れが最良な

大體英國人の國民性は堅忍克己、着實謙讓、自尊の風あれども虛榮の念なく遲鈍鷹揚なるが如きも一旦事に當るや剛毅果斷にして成功せざれば止まざる態度がある、又誠實を尙び秩序を重じ、稍々保守的にして頑固なのは國民の通弊短所とされる缺點であるがその氣風の醇樸で志操の高操なること多く比を見ざる所である。

今日哈爾賓に於て最も注目すべき活働はExport product Co.(普通鷄鴨公司と云ふ)のそれである、海拉爾に於ける對蒙古畜産貿易の大半は此の會社の占むる所にして直ちに哈爾賓の工場に送り此處に於て罐詰となし英本國に輸出しつゝある、巷間幽靈會社と云はれその內容を詳にするを得ないが聞く所によれば集め得た生畜に對し人工的急速的肥滿法を構じ或は又鷄卵の人爲的孵化法を行ひつゝありと云ふ。

(八)米國商人

米國商人は在哈各國商人の内最も覇氣に富んだ商人である、今假りに英商人を五十歳のものとすれば米商人は二十五六歳の熱血燃ゆる青年であると云へる、其の爲す事の敏捷なる到底他國人の眞似の出來ない所である、哈爾賓に於ける最近自働車輸入の如き哈市電鐵問題の如きインターナショナル銀行が極東銀行と連絡して對西伯利貿易を企劃しつゝある如き濱黑鐵道問題の如き、又黑龍州に於ける金鑛採掘を劃策する如き凡て之れ米人の敏捷を示すものである。

然れども米國人は時に陰險なる策を弄することを忘れてはならない、支那に於て時々排日運動の起るのも彼等米人の宣傳煽動によること大なるは衆知の事實である、北滿に於ても二三年前には如何なる田舍地方にも米系排日新聞益世報が擴まつてゐた、之れ益世報が紙數多く爲めに一般支那人に喜ばれたのは勿論であるが之を付目として米人が親米排日思想を宣傳したことは蔽ふ可らざる事實である。

(二)佛國商人

佛國商人は此の哈爾賓に於ては大なる勢力を有してゐない、只その商品は或る

場面に根强い勢力を有してゐることは先に述べた所である。

(ホ) 猶太商人

猶太商人は既に定評ある如く一種獨特のスゴ味を帶びた商才と商略とを以て列國商人に伍してゐる、現在哈爾賓には猶太人約一萬五千人程居住し露國商人の七割は猶太人である。

(ヘ) 日本商人

哈爾賓に於ける日本商人は大小合して大約五百軒程ある、此の内主なるものは金融機關を除き約二、三十軒ばかりである、此の内主なるものは三井、鈴木、三菱、久原松浦、熊澤等である、現在の本邦商人は一般に眞劍味を缺いでゐる樣に思はれる、前述の如き列國商人混住し一寸の油斷もならない競爭の激甚なる此の哈爾賓に於ては殊に眞劍であり眞面目であり且つ大なる努力を要すべきに拘らず眞劍味を缺いでゐると云ふことは其前途を危ぶましむるものがある。

從來北滿特產物の取扱は在哈邦商の中心事業であつた、大正四、五年頃までは北滿から南行する特產物の約七割までは日本商人の手を經たものであつたが今日

は南行特産物年百萬噸の九割まで支那商が之を取扱ふ様になり僅か殘の一割丈けを日本商と外商とが取扱ふと云ふ様に形勢が逆轉したのは明かに邦商の勢力の衰微を示すものである、尙又東行特産物も初めは殆んど日本商人の取扱であつたものが今日では其半分を外商に奪はれてゐる。

外國商人の現狀と本邦商人の現狀とを見るとき此の間吾人は如何なる感があるか。

四、哈爾賓に於ける金融事情

哈爾賓市場の概要は以上述べた如くであるが更に各國の經濟勢力を左右する一大要因に金融事情がある、金融は經濟界の動脈であるとは屢々用ひらるる言であるが實に金融事情如何によつてその經濟狀態に影響すること大なるものであるは何人も肯かれる所である、依つて少しく哈爾賓に於ける金融事情を述べてみようと思ふ。（朝鮮銀行の調査に依る）

(イ) 哈爾賓に於ける各國人投資

在哈各國人投資額(推定)を見るに左の如くである。

國人別＼期別	出兵直前	出兵直後	出兵翌年	大正十一年八月	大正十二年二月中旬
日本人	一千萬圓	三千五百萬圓	四千萬圓	三千萬圓	三千萬圓
支那人	二千萬圓	一千五百萬圓	三千萬圓	二千八百萬圓	二千五百萬圓
外國人	三千萬圓	二千萬圓	四千萬圓	二千萬圓	一千萬圓
合計	六千萬圓	七千萬圓	一億一千萬圓	七千萬圓	六千萬圓

即ち右表に依る時は出兵直前に於て日本人側の投資額は全投資額の六分の一を占め、出兵直後に於ては七分の三·五を、出兵翌年は約三分の一、大正十一年八月に於ては七分の三を占め大正十二年二月中旬に於ては全額の二分の一を占めてゐる。

然れども今後の事情を見る時は日本が關東大震災の打撃を受けて當分海外投資の餘裕を有せざると戰後の一大成金國たる米國が歐洲への投資を欲せずして極東に投資の途を求めつゝあるとより今後米國資本の滿洲への流入の一層大なるものあることが豫想し得られる。

更に近來英國は財政經濟整理と貿易改善の結果國際金融の中心地位を著しく恢復し加ふるに最近は大陸爲替惡化し紙幣暴落の爲め人心は自己貨幣の保有に

不安を感じ倫敦に預金を集中するの傾向にあること屢々報導せられた所であるが之を以て直ちに此の倫敦に集中した資金が滿洲に殺到すると斷ずるは蓋し早計であらう、只然し之が爲め自ら倫敦に支店を有する外銀筋の爲替事務圓滑となり浦潮經由輸出貿易に於て彼等に有利なる地歩を與へることは豫想しなければならない所である。

(ロ)哈爾賓(及び北滿)の主要貨幣流通高

現在北滿及哈爾賓に流通しつゝある主要貨幣は吾朝鮮銀行券(金券)及び東三省交通、中國の各支那側銀行券(銀券)である、而してその流通高を見るに朝鮮銀行哈爾賓支店發行超過額約四百萬圓及(支那側銀行の正貨準備合計約百萬元を基礎として之れを推算すれば)東三省銀行券約二百萬元、交通銀行券約百五十萬元、中國銀行券約百二十萬元、廣信公司分約三十萬元內外の見當にして鮮銀券は主として哈爾賓附近に流通せるも大洋票の過半は東鐵沿線一帶に流出しつゝある、之を露貨全盛時代の二千萬留に比すれば三分の一以下に減少せるものと見做すことが出來る。

朝鮮銀行が金券發行權を有して哈爾賓に於ても經濟界の中央に蟠居するは邦

商の爲め大なる强味と云はなければならない、日本人間、露人間乃至日露人間の取引は勿論日露人と支那人間の輸入取引一切は鮮銀券に依つて行はれつゝある、兎に角哈爾賓を初め北滿に於ける對外取引は或は一時大洋票に依つてなさるゝこともあるも結局落ちつく所は金圓建にして鮮銀券が用ひられる次第である。

斯の如く朝鮮銀行が西伯利出兵以來北滿經濟界の牛耳を執り來りたるに對し外國側の諸銀行に於ては之が對抗策として歐米低利爲替資金の利用法、輸入信用狀發行政策及預金吸收等に全力を傾倒しつゝあるも到底金券の發行權を有する鮮銀の覇權を奪取するを得ない、然らば外銀側に於ても金券を發行するとせば如何、今日一般に信用を博したる鮮銀券あるに加へて相當の準備金を擁して更に金券を發行することは何等益する所なく徒らに蛇足に終ることは之れ明かなる所である。

斯くて外銀側は窮餘の一策として哈爾賓は天津、上海と同樣商埠地なるを以て露亞、香上、花旗の各銀行は夫々銀券を發行するの權利を有するものなりと主張するに至つた、然し斯くては支那側發券銀行嚴存の意義を失墜せしむるの虞あるを以て支那側の强硬なる反對あるべく結局此の計畫は實行困難であらう、若し又此の

計畫にして實行し得ることゝなれば吾朝鮮銀行も又銀券發行權を有することゝなるべく金劵發行權を有する鮮銀は一層鬼に金棒となるのである。

（八）在哈各國銀行の特徴とその勢圈

1. 花旗銀行(International Banking Cooperation)(米)　歐米低利爲替資金を利用して極東銀行と親子的關係を結び知多貿易を殆ど一手に掌握し將來對露金融機關の先驅として米國商權の確立を企劃し西伯利產毛皮その他對米輸出入貿易に於て最も花々しき活動を經續しつゝある。

2. 香港上海銀行　歐洲向特產物の輸出に於て最も强固なる地盤を有するのみならず輸入信用狀發行政策により上海雜貨の輸入荷爲替を獨占し廣大なる營業所を新築して著々近き將來に於ける活動の素地を築きつゝある。

3. 露亞銀行　東支鐵道との特殊關係を利用し同方面には確固不拔の勢力を扶殖せるのみならず滿洲里、海拉爾二支店を有する關係上東支鐵道沿線及對蒙古貿易に於ても亦獨特の地歩を占めたるも露貨の沒落により又昔日の俤を存せず

4. 朝鮮銀行　金劵發行權を有し隨時大資金の需要に應じ得るを賴み鋭意露支兩方面を開拓し且つ東烏兩鐵道とも然るべく連絡をとり今春以來浦汐向輸出特

産物荷爲替取組を以て嶄然頭角を現し自ら中央銀行を以つて任じつゝある。

5. 横濱正金銀行　爲替銀行としてはさすが一方の雄なるも新銳なる花旗銀行、老巧なる香上銀行の爲め多少爲替業務を蠶蝕せられ剩へ近來浦汐向輸出特産物荷爲替取組を中止したるが爲著しく活動の範圍を縮少せられたるものゝ如くである。

6. 東三省銀行　張作霖の機國銀行として大洋票發行高最も多く銀劵の普及に伴ひ今後如何に發展すべきやは頗る興味ある問題であるが目下の所傳家甸支那側銀行の盟主たるに過ぎずして埠頭區各國銀行と輸贏を決するの餘力はない。

次に特産物の出廻最盛期に於ける各銀行の預金貸出高の推定額を擧ぐれば左の如くである。

1. 日本側銀行

行名	預金	貸出
朝鮮銀行	二、五〇〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇、〇〇〇円
正金銀行	三、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇
東洋拓殖	―	一〇、〇〇〇、〇〇〇

	預金	借出
龍口銀行	五〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇
哈爾賓銀行	三五〇、〇〇〇	一、二五〇、〇〇〇
貯金信託	一五〇、〇〇〇	二五〇、〇〇〇
合計	六、五〇〇、〇〇〇	二八、五〇〇、〇〇〇

2. 外國側銀行

行名	預金	借出
花旗銀行	三、〇〇〇、〇〇〇円	六、〇〇〇、〇〇〇円
米支銀行	一、五〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇
香上銀行	二、〇〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇
露亞銀行	三、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇
極東銀行	五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
猶太人商業銀行	六〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
猶太人國民銀行	一五〇、〇〇〇	一七〇、〇〇〇
借款銀行	四五〇、〇〇〇	六五〇、〇〇〇
合計	一一、二〇〇、〇〇〇	二〇、八二〇、〇〇〇

3. 支那側銀行

行名	預金	借出
東三省銀行	一、〇〇〇、〇〇〇元	四、〇〇〇、〇〇〇元
中國銀行	八〇〇、〇〇〇	二、五〇〇、〇〇〇
交通銀行	四〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇
哈爾賓商業銀行	三〇〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇
信孚銀行	五〇〇、〇〇〇	四〇〇、〇〇〇
其他	—	一、五〇〇、〇〇〇
合計	二、二八〇、〇〇〇	一一、六〇〇、〇〇〇

附記

A 英米煙公司(英米トラスト煙草會社)

一、同公司の性質

英米トラスト煙草會社は英米資本家の合同經營する所で本店を英京倫敦に置いてゐる、東洋には上海、香港に製造工場を設け山東省及奉天には地方土產煙及米

國種煙を農家に栽培せしめたるものを乾燥する工場を有し之を上海に送り製造しつゝある、何れも下級品にしてバイレート以上の上等品は本國より輸入す、其發賣品は本國は勿論南洋、印度、支那、日本に需要を有し上海工場は支那全國を風靡するの觀がある。

同社は種々の煙草會社の合同せる所謂トラストの一であつて本國に於ては各會社各箇に生産販賣し居るも東洋に於ては共同の計算を以て下級品の製造販賣をなしつゝある、而して各會社の資本を合する時は實に八億圓に達し世界製煙界の霸者たる實力を有してゐる。

同社の滿洲に於ける工場は上述せる如く奉天に乾燥工場を置き土産煙を買ひ入れ乾燥する外僅に下等品なる蟋蟀印(クリケット)を製造し居るに過ぎない、故に販賣品の殆ど全部は本國及上海、香港より輸送されるものである。

同社は直接の販賣機關を多く置かず滿洲には只大連及奉天に出張所あるのみで他は總て代理店制を取りつゝある、而して此の代理店は殆ど之を見ざる地なくその所在地をこゝに一々列擧するの煩に堪へない(各地代理店の狀況につきては第五章參照)

二、同公司の販賣煙草

同社の發賣しつゝある煙草の種類は左の如くである。

Tarkish Emblem, Sceptre, Aide Camp, Regent, Cross Cut, West Specials, Commander, Recess AA. Embassy, Cupstan Navy Cut, Garrick, Lucky Serikes, Legatiani, Chem nen, Passing Cloud, Three Castles, Pirate, Pea-Cock, New Yowk, Swallow, Atlas, Honest weight, Doller, Pin Head, Ruby Queen, Cricket, Purple Mountain, Golden Poppy, King Fisher, Vanity Fair, Gold Fish, Hers, Five Bats, Double Eagles, 以上三十八種

就中賣行き最も善きは三砲臺、刀牌、ルビークウィーン、孔雀、紐育等にして紫金山燕子、蟋蟀等之れに亞ぐ、而して同社の滿蒙に於ける賣上高は年額約三百五十萬に達すと云ふ。

三、同公司の販路擴張活動狀態

同社の製煙は深く支那人間に信用を博し且つ愛用され決して他製品の追從を許さざる程殆ど獨舞臺の如き觀がある、然れども同社が斯の如き堅實なる地盤を贏ち得たるにつきては一方ならざる苦心努力の賜である。

同社が品質の精選と銘柄保持に留意し販賣廣告竝に宣傳に巧妙なるは既に定

評ある處にして滿蒙に於ける如何なる山間僻地の間にも「請吸老刀牌香煙」の廣告を見ざる處はない、尙內蒙の奧深く人跡稀なる砂漠の中にも同公司製品積載の自働車橫行しつゝあり、同社の活動が如何に目覺しきものたるかを想像し得られよう、更にその販賣政策に至つては常に注意硏究を怠らない、殊に彼が專ら支那人本位の代理店制を採りつゝあるは實に當を得たるものと云はなければならない。

次に同社の販路擴張策として余の見聞したる二三の例を示せば次の如きものがある。

(イ)代理店に對し同社製品の賣上高の幾分かを奬勵金として與へることゝし彼等の多賣心を刺戟せんとする。

(ロ)地方に於ては金錢の代りに洋蠟を與へつゝありと、田舍地方に於て可なり重要なる需要を見る洋蠟に氣付きたるは機徼を察せるものと云はなければならない。

(ハ)その販賣煙草の中に時に抽籤券或は景品券を混へて民衆の購買心を刺戟する。

(ニ)バイレート當りの包紙を一定の用紙に二十五枚貼付して持參すれば一枚の

抽籤券と引替へることゝする一昨年(大正十一年)十二月頃之が用紙を奉天印刷會社に三十萬枚注文したことありと聞く。

以上二、三の例を以てしても同社が如何にその販路擴張に苦心しつゝあるかを知るに足るであらう。

四、同公司に對抗して活躍せんとしつゝある煙草會社

(1) 東亞煙草株式會社　(京城に於て創立明治三十九年、資本金一千萬圓大正八年に於ける公稱資本、營口、天津、奉天に工場を有す)

(2) 南洋兄弟商會　(廣東に本據を有す、組織內容不明)

(3) 株式會社中華煙公司　(創立昨年八月、長春東華煙公司其他を擴張して資本金百萬圓、北滿に勢力あり)

(4) バイチス商會　(ユダヤ商人の經營なり、工場を天津に有す、滿洲には大連、旅順に販賣店鋪を有す)

(5) チユーリン商會　(哈爾賓チユウリン一大百貨商店內)

(6) ロバート商會　(哈爾賓に於ける煙草製造業者にして英美煙公司の後援ありと)

(7) 聯合煙公司　(奉天に於て英、米、露三國人の合資に係り資本金一千五百萬元(?)各種煙草製造販賣を經營し滿洲各地に販路を有す)

B 美孚洋行(Standerd Oil Co.)

一、同洋行の性質

美孚洋行は紐育に本店を有し資本三千萬弗の大會社にして米國石油及洋蠟の販賣を業とす、滿洲に於ては奉天に東三省及蒙古地方全般を統轄する支店を置き其他主要都市及田舍に至る迄出張所代理店又は依託販賣店を有しその販路は滿蒙全般に亘るものである。

今それ等出張所代理店又は依託販賣店の所在地を一々此處に列擧する煩に堪へないが、その石油倉庫所在地を擧ぐれば左の如くである。

大連	容積	三五、〇〇〇噸	四平街	容積	三〇噸
營口	同	二〇、〇〇〇	長春	同	三〇
遼陽	同	三〇	撫順	同	三〇
奉天	同	三〇	本溪湖	同	三〇
鐵嶺	同	三〇	安東	同	一、〇〇〇
開原	同	三〇	哈爾賓	同	七〇、〇〇〇
公主嶺	同	三〇			

同洋行の石油は或は其本社工場より罐入にて輸入せられ或はタンク船にて輸送せられ大連にて罐入とし又はタンク車にて各地に輸送せられつゝある。

二、同洋行の販賣石油

同洋行の販賣石油は代表品はブリアン印であるが滿洲向の品はタイガー印及イーグル印である。

今大連に於ける最近六箇年間のスタンダード石油一箱の卸賣値段を見るに左の如くである。

	最高	最低
大正六年	金五圓八十錢(十一月)	
大正七年	銀六圓二十五錢	銀五圓二十五錢
大正八年	同六圓二十五錢	同五圓六十五錢
大正九年	同六圓六十錢	同五圓六十五錢
大正十年	金七圓八十七錢	金六圓十六錢
大正十一年	同七圓十錢	同五圓四十一錢
大正十二年	同五圓九十三錢(一月)	同五圓四十六錢(二月)

一體滿洲に於ける石油の値段は先づ上海に於て相場が立ち上海より之を滿洲各石油會社の本部に通知し來り滿洲各石油會社本部は更に之を各支部に通知し

て時々その相場を上下するのである、而して先に擧げた卸値段はスタンダード石油卸その代表品ブリアン印の値段であつてタイガー印及イーグル印の値段は又之に依つて相場を建てられるわけである。

大正十二年六月に於けるタイガー印及イーグル印の卸値(單位一箱)は左の如し。

タイガー印	銀四圓六十錢
イーグル印	銀四圓四十錢

但し此値段は會社自身が稱する表面上の價格にて實際は値引き販賣するとのことである。

三、同洋行の石油滿洲輸入額

同洋行が每年滿洲に幾何量の石油を輸入しつゝあるかは之を知ることを得ない、只次の數字に依つて之を推察するに止まる。

(イ)最近五箇年間の滿洲石油輸入量

	南滿洲輸入量	北滿洲輸入量	合計
大正六年	一六、三三九、六四三米噸	三七〇、五六九米噸	一六、七一〇、二一二米噸

大正七年	八、四八六、六三六	一一、四〇〇	八、四九八、〇三六
大正八年	一八、七九三、九一〇	二〇四、二九五	一八、九九八、二〇五
大正九年	一七、〇四九、〇四二	二一七、〇二〇	一七、二六六、〇六二
大正十年	一四、四〇六、〇六〇	一六、〇八五	一四、四二二、一四五

(ロ)最近五箇年間の南滿洲輸入石油種類別數量 (單位米ガロン)

年次	種類別石油名	大連	牛莊	安東	計
大正七年	亞米利加油	四、三五九、四七〇	—	二、二五〇	四、三六一、七二〇
	スマトラ油	—	三、〇二七、九七一	五、〇〇〇	三、〇三二、九七一
	日本油	七二五、八五〇	一九、七一〇	二七九、二六五	一、〇二四、八二五
	其他石油	一四、六〇〇	—	五一、五〇〇	六六、一〇〇
	戎克にて移入(外國品)	一、〇二〇	—	—	一、〇二〇
	計	五、一〇〇、九四〇	三、〇四七、六八一	三三八、〇一五	八、四八六、六三六
大	亞米利加油	三〇〇、〇〇〇(中繼輸入) 八、二四三、六四〇(直接輸入)	一、二五四、四五七 三、八七五、三五五	四七五、四一〇	一四、一四八、八六二
	スマトラ油	—	三、二七八、七七五	四八、八三五 六八二、八九〇	四、〇一〇、五〇〇

大正八年	日本油	三四七、九三〇	—	一二〇、五二〇	四六八、四五〇
	其他石油	四五、五九八	—	九六、〇〇〇	一四一、五九八
	戎克にて(外國品)	二四、五〇〇	—	—	二四、五〇〇
	計	八、九六一、六六八	八、四〇八、五八七	一、四二三、六五五	一八、七九三、九一〇
大正九年	亞米利加油	八、二二〇、〇一〇	一、二五二、二三六 一、七八八、〇七〇	—	一一、二六〇、三一六
	スマトラ油	—	二、五四一、八三六	—	二、五四一、八三六
	日本油	三〇九、五四五	—	—	三〇九、五四五
	露西亞油	—	二一二、五三七 七三三、六二八	—	九四六、一六五
	不明石油	—	六九一、二〇五	(日本、新嘉坡)三八〇、〇〇五 八九七、九七〇	一、九六九、一八〇
	戎克にて(外國品)	二二、〇〇〇	—	—	二二、〇〇〇
	計	八、五五一、五五五	七、二一九、五一二	一、二七七、九七五	一七、〇四九、〇四二
大正十年	亞米利加油	九、五五二、〇二〇	二、八三七、一一三 八二九、九七〇	七五六、九〇〇	一三、九七六、〇〇三
	スマトラ油	—	二一五、五九二	—	二一五、五九二
	日本油	三、八六五	—	—	三、八六五
	其他石油	—	—	二一〇、六〇〇	二一〇、六〇〇

年	計			
	九、五五五、八八五	三、八八二、六七五	九六七、五〇〇	一四、四〇六、〇六〇
大正十一年　亞米利加油	九、九七七、七八五	四、八四九、三〇七	—	一四、八二七、〇九二
亞米利加油（支那より）	三六、六四二	—	—	三六、六四二
スマトラ油	—	—	二〇〇、〇二〇	二〇〇、〇二〇
日本油	四、五二五	—	七〇、〇〇〇	七四、五二五
其他石油	—	一、〇六四、二八八（波斯）	二八五、六四〇（日本）	一、三四九、九二八
戎克にて（外國品）	九三、〇五〇	—	—	九三、〇五〇
計	一〇、一一五、〇〇二	五、九一三、五九五	五五五、六六〇	一六、五八四、二五七

(八)最近五箇年間の南滿洲輸入石油總數量に於ける亞米利加油の地位

年次	總數量	亞米利加油	總數量に對する米油の割合
大正七年	八、四八六、六三六	四、三六一、七二〇	五一%（以下切捨）
同八年	一八、七九三、九一〇	一四、一四八、八六二	七五%
同九年	一七、〇四九、〇四二	一一、二六〇、三一六	六六%
同十年	一四、四〇六、〇六〇	一三、九七六、〇〇三	九七%

同　十一年	一六、五八四、二五七	一四、八六三、七三四	八九%

以上の諸表にて明かなるが如く滿洲輸入石油の大半は亞米利加石油と云ふことが出來る、而も亞米利加石油の大半卽ち八〇%までは之をスタンダート石油會社のものと見ることが出來るであらう、滿洲の石油界に於てスタンダード石油會社が嶄然頭角を拔いてゐるのも又宜なりと云はなければならない、更に先の諸表に依つてみればスタンダード石油會社は大連よりの輸入を主とし亞細亞石油會社は營口よりの輸入を主とすることも亦うなづかれる。

四、同洋行に對する競爭石油會社

(イ)亞細亞石油會社　石油販賣業に於て美孚洋行に次ぐ大會社にして兩者の競爭激甚である、美孚洋行が滿洲に於ける本據を奉天に於くに對し亞細亞石油會社は之を營口に置き滿洲奥地に數百のエジエントを有す、專らスマトラ石油及副產物の輸入販賣に從事し一箇年約三百萬ガロンの輸入をなすと、而して石油は會社所有船にて直輸入す、同社の製品は代表品クラウン印、滿洲向の品を錨印とす。

(ロ)テキサス石油會社　本部を奉天に置き又相當大なるものである、その取扱品は

所謂テキサス石油にして星印(代表品)幸福印(滿洲向の品)を以てする、今該社の取引方法を見るに委託販賣―相當の保證金を取り最初は其額位の品物を送る、口錢は二分で一切の文具費及其他營業費は會社より支給するか又は其實費を支拂ふことにしてゐる。

(ハ)パシフイツク石油會社　カリフオルニヤの石油會社にて昨今開店の準備中である。

第五章　滿洲に於ける外人經營商店會社

一、在大連外國會社商店（大正十三年三月調）

（玆に賣上或は資本としてあぐる所は民政署の課税標準として記するものなり△は會社組織）

名稱	國籍	代表者	營業科目	內容	所在地
△テキサス會社	米國	バーンス	石油販賣	賣上高約三萬圓	山縣通
△シンガーミシン會社	同		ミシン機械販賣	米系會社なれども外人存せずして凡て日本人の經營する所なり、賣上約二萬四千圓	浪速町
△スタンダード石油會社	同	エフエフ、バーハン	石油販賣	賣上約十萬圓	寺兒溝
△セルフレーザー大連支店	同	エフ、イー、カーバー	自動車附屬品販賣	賣上約三萬圓	山縣通
△花旗銀行	同		銀行		山縣通一八
△フラー會社	同	ダヴリユー、サンプル及ジエー、アイ、トラップヘーゲン	建築	元東京に東洋方面の總支配店を置きたるが最近之を大連に移す	神明町
△アンドリユースジヨージコンパニー	同	エフ、ライフスナイダー	機械類及金庫類		山縣通
ルイス商會	同	ジヤクソン、ルイス	船舶業食料雜貨	大正十年二月開業現在小賣約一萬二千五百圓	東公園町
△香港上海銀行大連支店	英國	リード	銀行	大連支店流用の資本四十五萬圓といはる	越後町
△サミユルサミユル商會	同	ダヴリユーエチトーマス	機械紗羅販賣	賣上約十萬五千圓	同
△ブラナモンド	同	オー、エス、リッツル	遭達灰	賣上約二萬圓	山縣通

△ゼネラルエレクトリックコムパニー	同	ダヴリユー、シー、ターナ	電氣器具	賣上約一萬八千圓	東公園町
△太古洋行	同	アール、ダヴリユー、マツキンタイヤー	船舶代理		山縣通
△英米煙公司	同（米國）	ホプソン	煙草		東公園町
△亞細亞石油會社	同	ホウチンス、徐憲齊	石油販賣	卸賣上約六萬圓、從事員八人	小崗子北同仁街區外
和記洋行	同	ダヴリユー、エツチ、ウインニング	代理業船舶保險輸入品雜物品販賣業	卸賣上約十五萬圓	東公園町
同興洋行	同	フランクデラートムソン	代理業雜貨		越後町四七
	同	エフ、ジエー、バーデンス	代理業洋酒食料品火災保險		山縣通
△ロイド、サーヴエーヤー	同	ジヨン、シン	船舶保險歐洲行特產物査定		東公園町
ワカキス商會	希臘	ジヨージ、ワカキス	機械類雜貨輸入業	大正十年十二月開業卸賣上約七萬圓	山縣通
	同	ジヨン、ミハイリデス	菓子商兼宿屋	大正七年四月開業宿屋號を「アクロノポールイスホテル」といふ	監部通
パイツス商會	同	エレン、パイツス	賣洋酒	卸賣上約四萬二千圓小賣上約三萬五千圓	浪速町
△寶隆洋行	丁抹	ジヨーゲンセン	特產取引代理業		山縣通
維田洋行	同	クンストイエクローグ	仲立業特產物	大正九年十二月開業	山縣通
	獨乙	ハンス、エバース	建築請負業		山縣通
禮行仁洋	同	ヂー、エチ、ウイルナー	寫眞器類輸入		東公園町
△カデリウス商會	瑞典	イー、ブラウンス	機械販賣		薩摩町

△德大洋行大連支店	チエク	ホーラー	請負物品販賣	請負三萬七千圓 賣上一萬九千圓	山縣通
△イルス商會	エストニヤ	カールサス	運送業英米汽船會社代理店		同
△露亞銀行	佛國		銀行	當地資本二十萬圓	監部通
△英支貿易會社	露國	カパルキン	貿易		山縣通
	同	スタウイーツキイ	下宿業兼代理業		大山通
	同	ヤコブヒルブライエル	仲立業	大正九年十二月開業	山縣通
	同	ミハイルドウケルスキー	仲立業	大正九年十二月開業	西通一一五
△ソースキン商會	同	イー、ソースキン	特產物	經營者は露人なれども其の資本は英國なるを以て英系會社といふことを得	山縣通
	同	ライゴロ、デツキー	運送取扱	大正十年十二月開業	越後町
敷島商店	同	ドーリヤ	運送取扱	大正九年十二月開業	山縣通
	同	ウエスネル	食料品雜貨		西通一〇一
ジエレスニヤコフ商會	同		運送業		春日町二

二、在營口牛莊外國商館一覽表（大正十二年六月調）

名稱	國籍	營業種目	本店所在地	從事員數 歐米人	從事員數 支那人	從事員數 計	備考
							資本金五千五百萬留、外に支那政府出資金參百五十萬兩（庫平兩）營業狀態 當地支店は日露戰爭前には

Russo-Asiatic Bank.（道勝銀行支店）	露國	一般銀行業	巴里	二	一五	一七	大に活動せるも、戰後特に露國革命後は不振の狀態に在り 現支配人 J. Lugebil（米國人）露國は現在の有樣なるを以て現在の資金は佛國資本家投資なりと云ふ
Butterfield & Swire.（太古洋行）北部支那本部）	英國	船舶及保險代理一般輸出入（取扱主要品砂糖）	香港	三	二五	一六	資本金 Butterfield & Swire 各社（卽ち本社竝に在香港、太古精糖株式會社及太古船渠株式會社）を合せ一千萬磅と稱せらる 營業狀態 所有船舶を以て運送業及輸出入業を營み、頗る活動しつゝあり當港に於ける最大會社の一なり。 現支配人 J. Robertson（英人）
Jardine Matheson & Co. Ltd.（怡和洋行）支店	英國	運送業船舶代理業一般輸出入業、保險代理店、雜貨（砂糖、毛皮、猪皮）Horsehair	上海	二	一五	一七	資本金 五百萬磅（株式は全て一家族所有） 營業狀態 支那沿岸の航路に從事せる印度支那航業會社代理店を營み又他船會社、保險會社各種製造會社の代理店をも業とし支那各地に支店を有す當地支店に於ては、印度支那航路會社の沿岸航路船を取扱ふを主要業務とす、當港に於ける最大會社の一なり。 現支配人 W. Ford（英人）
Arnhold & Co. Ltd. 安利洋行支店北支那本部	英國	一般輸出入業 Bristles, Horsehair 食料雜貨綿糸布	倫敦	二	二〇	三	資本金 約五、六十萬磅 營業狀態 一般輸入商品の代理商を業とし從來綿糸布の輸入を主とせるが最近Vickrse會社と特約を結び盛に機械類の輸入を企て活動目覺しきものあり。支那各地に支店を有す因に會社は從來Arnhold Bros & Co. と稱せしも本年四月一日より Arnhold & Co. Ltd. と改稱せり、之は英國本店に於ける幹部の更迭せると同時

							に增資せる結果なりと云ふ、滿洲に於ける代理店(蓋平、海城、遼陽、奉天安東、長春、吉林、哈爾賓) 現支配人 J. B. Dewhurst (英人)
Asiatic Petroleum Co. (North China) Ltd. (亞細亞煤油公司) 北支那本部	英國	石油及其副產物	倫敦	三	三〇	四二	資本金　不詳 營業狀態　專らスマトラ石油及副產物の輸入販賣に從事し、一箇年三百萬ガロンの輸入を爲し、滿洲奧地に數百のAgentを有し、Standard Oil Co.: B. Texas Oil Co. 等との競爭激甚なり、石油は會社所有船にて直輸入す尙牛家屯にタンクを置く、最近吉林哈爾賓方面の擴張を試みるもの〻如く、同方面の特派員の增員を爲せり 現支配人 Richards (英人)
A. Van Ess & Co. (源來盛)	英國	一般輸出入代理店業 質業 Bristle, Horsehair業 綿糸布 洋品雜貨、特產物	營口	三	二〇	一三	資本金　不詳なるも當地に資本百五十萬內外ありと稱せらる 營業狀態　取扱輸入品の主なるものは綿糸布染料塗料(セメント)等とし、輸出品の主なるものは、豆油豚毛、皮毛類等なり、外に自己所有船舶數隻を以て、運送業をも營み又支那人使用人にして、質業をも營みつ〻あり主人A. Van Essは三十年來の居住者にして、土地の事情に通じ、最も勢力を有ぬ (經營者) A. Van Ess (英人)
Edgar Beos. & Co. Ltd. (瑞康洋行)	英國	一般輸出入業及代理店	營口	二	一〇	三	英人 E. Edgar 氏の經營に係り、資本金不詳なるも約二百萬餘の財產を有すと稱せらる、主として綿製品を取扱ふ外保險其他の代理業を營み現主は當地に生れ父の亡後依然として業務を續け今日に至る

F. D. Farmer & Co.（旗昌洋行）	英國	運送業及代理店	營口	一	日本人一 一〇	三	資本金約十萬弗(銀)日本郵船會社の代理店を營み又他船會社及保險會社の代理店を業とす
Brand Bros. & Co.（義源洋行）	英國	輸入雜貨殊ニ織物ノ輸入	營口	一	日本人一 五	七	資本金不詳(四五萬弗銀?)英國人P. C. Colman 氏の經營にして本人は天津にて事業の經營を爲し當地にては、日本人井上宗二氏業務を掌る
H. C. Augustesen China Trade（雅利洋行）	獨逸	一般輸出入	上海	二	五	七	資本金不詳、支店所在地、北京、天津、牛莊、芝罘、漢口、Augustesaは上海にて有名なる富豪にして、獨逸猶太人なり、當地にては從來Loreuzen & Co.を代理店とせるが、大正十二年六月支店を開設し獨人A. SchmidtをManagerとして活動を開始せり
British-American Tobacco Co. Ltd.（英美煙公司）	英國	煙草	香港	二	一〇	一三	資本金は明かならざるも、約千萬圓位なるべしと云ふ、當地に於ける取扱高約四十萬圓なりと云ふ現支配人S. W. Glass(米國人)
Standard Oil Co. of New York.（美孚洋行）	米國	石油及其ノ副産物	米國紐育	二	一五	一七	資本金不詳　最近輸入四五萬ガロン、河北にタンクを有す最近(十二年五月)取調べたる所に依れば當地より各地に鐵道を以て輸送せる數量25.000 lases(約30車)なり
Loreuzen & Co.（羅利洋行）	獨逸系	一般輸出入 Bristle, Horsehair 食料品及雜貨塗料	營口	四	一五	一九	資本金不詳　C.Lorenzen(獨逸人)の個人經營にして、獨逸バイエル商會の染料輸入販賣を主とし、其の他雜貨、輸入を爲す、二箇月前に休業
Gaspersen & Co.（德茂洋行）	獨逸	一般輸出入	營口	二	五	七	資本金不詳 J. Jaspersenの經營

同 Colinet & Co.（利源洋行）	佛國	一般輸出入	營口 三五八	資本金不詳 G. Colinetノ經營
Chapin, Olsen & Co. Inc.（オ利洋行）				資本金不詳 當地支配人K. Winston（米人）東洋本部は天津に在り休業天津に引上げたり

三、在奉天外人會社商店（大正十年領事館調）

二、附屬地內の分

國別	經營者	所在地	資本金又は基本金	營業及事業の範圍	摘要
希臘國	イマンゼリ事 ハジョホロス	奉天浪速通二四番地	一五,〇〇〇	雜貨商安東縣に店を有す而して貨物は上海北京香港より輸入	中法煙公司にも關係あり
同	コンスタンチン パルダドロス	同彌生町六番地	一〇,〇〇〇	宿屋業	西伯利イルクーツクに店舗あり
土耳古	アブメット ヤショサレン	同四番地	一,〇〇〇	煙草及毛皮商	阿片密賣を爲すことあり
同	アークーメート ワッツ	同	不明		妻の裁縫に依り生計を爲しつつあり
同	トロスン カスカロー	同春日町七番地	一,〇〇〇	飲食店	土耳古アブメットなる者の經營に係る
希臘國	ニカカイ ペトロプル	千代田通十一番地	二,〇〇〇	雜貨商	以前哈爾賓に在りしものなりと
塞國	ヴインマー アラバシダ	藤浪町二番地	不明	毛皮商	毛皮商と稱するも資力なく酒類及砂糖類を販賣しつつあり

伊太利	アントニー プラザノビス	春日町七番地	三,000	飲食店	土耳古人「アーメントカソポクー」との協同經營に係り阿片の密賣をなす
露國	トロスン カスカロー	濱速通二二番地	三,000	旅館	久しく當地に在りて此の業に從事す
同	レープ ミヤルケン	春日町一番地	不明	毛皮商	仲介業を以て生活す
同	ラープル	千代田通二・三番地	同	同	同
同	ハイシダピト ハテテスニスチー	江ノ島町九番地	同	同	目下殆んど休業の狀態に在り元米國人に使用せられたる關係上美商と稱す
米國	パイアン	濱速通四十番地	八,000,000	石油販賣	滿洲全土殊に支那人間に販賣し居り尚資本金は八百萬圓と云ふも確否判明せず 商號は德土古火油公司と稱す
同	マイルストン	春日町一番地	不明	同	スタンダード石油會社支店員として從事す 北京、天津、南滿洲全土に販賣し勢力あり、支那人七名日本人一名を使用しつつあり

二、附屬地外

英國	E. S. Quleddes	城內小北關	五00,000	獸毛皮商	商號を安利洋行と稱し支那各地主なる都市に於て取引をなす
同	T. W. Willison shu	小西關北山什字街	一五0,000	綿糸布商	商號を怡隆洋行と稱し支那各地主なる都市に於て取引營業をなす
同	Raiskin	小西關圈神廟	五,000	毛皮商	商號を彼得洋行と稱し毛皮類を取扱ひ居れり
同	R. M. Sonlbock	大西關	二0,000	石油販賣	商號の亞細亞火油公司と稱す

同	H. E. Borden	小西邊門外	50,000,000	各種煙草製造販賣	英米トラスト煙草會社支店にして本店の總資本金を一億五千萬圓と稱す世界各地に販賣を擴張し勢力を有す
英國	ブリンナー	大西門外	50,000	曹達販賣	支那各地に曹達を販賣す商號を卜內門水城公司と稱す
同	J. E. Brooks	同	—	各種煙草販賣	支那各地主なり都市に販賣す英米露三國人の合資に係り商號を駐華聯合煙公司と稱し總資本金一千五百萬元なりと云ふ
米國	J. P. Hoffins	小西邊門外	1,000,000	各種機械販賣	商號を愼昌洋行と稱し支那各地に販路を有し勢力あり
同	ハルカウキッチ	小西門	100,000	皮革販賣	商號を源隆洋行と稱し東三省一帶に皮革類の取引販賣をなす、世界各地に販路を擴張し大に勢力を有す
同	M. F. Grey	小西邊門外	50,000,000	石油販賣	商號を美孚洋行と稱し本店の資本總額二億圓と稱せらる
同	Baker	同	2,000,000	鑛山業及各種貿易	商號を美合洋行と稱し米支兩國人の合資に係り六十萬元は米人の出資と云ふ、同人は元奉天駐在の領事にして將來東三省に大に活躍を開始せんとすと噂せらる
同	A. E. Chopin	同	1,000,000	各種皮革賣買業	東三省に於て各種皮革の賣買を業とす米支兩國人の合資に係り米人二十萬元を出資すと、商號を利達公司と稱す
同	ピルレンス	小西關	50,000	綿絲布及毛皮商	東三省一帶に於て斯業に從事す商號を遠東實業公司と稱す
同	Mishegern	小西邊門外	100,000	皮革販賣	一般皮革類を取扱ふ商號を惠茂洋行と稱す
同	Earlech	小西關	110,000	綿絲布毛皮商	主として毛皮及綿絲布を取扱ふ商號を宜利時洋行と稱す
同	ミスレンダー	小西邊門外	10,000	同	同商號を鼎昌洋行と稱す

佛國	Adlumant	小西邊門外	1,000,000	一般銀行業	商號を中法實業銀行支店と稱し支佛兩國の合資に係り本店を巴里に支那各地に支店を有す、本店の總資本金を一億元とす、其三割は支那側の出資にして七割は佛國資本に屬す當支店は最近の設立に係り大に注目に値すと稱せらる
同	Lambillis	大西關	三0,000	煙草販賣	支那各地に販路を有す、支佛兩國人の合資にして支那四割佛六割の出資と云ふ商號を中法煙公司と稱し本店の總資本金五百萬元なりといふ
希臘	フォーダス	小西邊門裡	二,000	食料雜貨商	商號を佛道洋行と稱し一般食料雜貨の販賣を業とす
波蘭	カスコウ	同	三00,000	各種卷煙草商	商號を中俄煙捲公司と稱し主として東三省一帶に亘り各種の卷煙草の販賣に從事す
猶太國	フォークス	城內四平街	五00,000	各種雜貨	商號を仁太洋行と稱し支那各地主なる都市及西伯利地方に亘りて各種雜貨の販賣をなす
同	トウドリン	小西邊門外	100,000	各種毛皮賣買業	商號を北合洋行と稱し本店を寧古塔におき滿洲及露國方面に亘りて斯業に從事す本店の總資本三十萬圓と稱す
墺國	ウイチエンハーゲン	小西關	不明	毛皮仲買	商號を生茂洋行と稱し各種毛皮類の仲買業をなし其間の利益を得て生計をなすと云ふ
露國	カラマチエーフ	同	二,000	麥粉商	商號を永勝麵粉公司と稱し哈爾賓に本店を有し資本金を一千五百萬元と云ふ、東三省各地に麥粉の販賣をなす

三、奉天以下

米國	スタンダード石油會社奉天支店	本溪湖附屬地大川町	ー	石油貯藏倉庫	本溪湖地方に販賣する目的を以て貯藏庫を建設し本支那人二名を使用監視せしめ必要に應じ奉天支店より出張倉出をなし居れり

四、在安東外人會社商店 （大正十年領事館調）

1、英米煙公司安東縣出張所

經營者 米人「ゼー、ダブルユー、ヒース」。所在地 安東六番通七丁目四番地

資本金 不詳

營業及事業の範圍 本出張所は在奉天同公司支店の支配下に屬し本人は當出張所の主任にして支那人店員四五名を使用して專ら兩切紙卷煙草の卸賣をなす其營業區域は安東縣及鴨綠江沿岸下流地方、鳳城縣其他上流の方面輯安、寬甸及桓仁の三縣地方とす、當地東亞煙公司安東出張所は本公司に對立競爭する所なるも兩切煙草は本公司の製品優勢にして一般に歡迎せらる。

2、安東孚美火油公司

經營者 米人「ヘンリーバートン」 所在地 安東舊市街中富街

資本金 約十萬元

營業及事業の範圍、スタンダード石油會社の一出張所にして奉天同公司出張所の支配下に屬す本人は當地出張所の主任たり其營業區域は鴨綠江沿岸支那側各縣地方にして當地方に於ける石油販賣は殆ど一手に掌握し居れり。

3、怡隆洋行

經營者、英人「ジーエルショー」。所在地　安東舊、市街販神廟街

資本金、約十五萬元

營業の範圍、一般雜貨の貿易商にして豫て汽船會社太古洋行に係る上海安東間の船舶回漕代理店を兼營せり、本人は邦人齋藤フミなる者を妻とさせるも極端なる排日思想を抱持し常に當地方に於ける排日の張本人なるが昨夏不逞鮮人に關聯し內罪亂として本邦官憲に逮捕せられ目下京城高等法院に於て之が審理中にあり本人は支那官民に對しても橫暴不遜なるを以て一般に支那側の氣受良好ならず

4、ハジユポロス

經營者　希臘國人「ハショロポロス」　所在地　安東市場通七丁目一番地

資本金　約一萬圓

營業の範圍　西洋煙草及洋酒類の販賣を爲し主として本邦人の顧問客とす一年賣上高約二萬圓見當なり、本人は常に哈爾賓方面に往復し不在中は邦人店員末吉彌作をして常務に當らしめ居れるが時に哈爾賓方面より阿片を密輸し尚怡隆洋行主「ジーエルショー」とも多くの連絡あるが如きも未だ其實證を得ず

五、鐵嶺に於ける外人會社商店

會社名	主任者	所在地	賣捌地方	摘要
英米煙公司支店	英人二名	東門外	開原、西豐、東豐、西安、朝陽鎭北山城子、洮南法庫門、昌圖、四平街、鄭家屯、	大正九年の販賣高鐵嶺のみにて小洋十二萬元鐵嶺以外の地にて約一百萬元なりといふ
美孚洋行代理店	遲旭五	東門外北大街路東	山城子、西豐、東豐、西安、海龍、新臺子	附屬地鐵嶺西に倉庫を有す、一箇年平均賣上高、小洋十二萬元、一萬二千五百箱
亞細亞煤油公司出張所	孫雲風	東門外廣臺廣西大街路南	山城子、孤山子、柳河縣、大孤家子、棵子哨、法庫縣	附屬地鐵道西に倉庫を有す、一箇年平均賣上高小約洋八萬元、八千餘箱

六、開原に於ける外人會社

（憲兵分遣所調）

會社名	主任者	所在地	管轄出張所	摘要
亞細亞石油會社代理店	哈雲生	第四區三號地	開原城內 山城子 海龍 東豐 西豐 輝南 朝陽鎭 八棵樹	開原附屬地鐵道西に倉庫を有す、大正十年中の販賣高 開原代理店販賣高　一萬四千鑵 各地出張所同　二萬鑵 開原代理店は同會社滿洲本店（營口）より送貨を受け之を各地出張所に轉送し又は本代理店にて卸小賣をなし本店よりは店員英人支那人等が一箇月一回乃至三回位營業狀況視察の爲め來開し必要に應じ奥地出張所へも赴きつつあり
スタンダード會社支店	孫榮齊	第四區七號地	開原城內 西安 山城子 海龍 東豐 朝陽鎭 輝南	附屬地鐵嶺西に倉庫を有し最も多く貯藏するときは三、四百箱位なるも直ちに奥地各出張所に送貨するを以て多く貯藏することなし 大正十年中販賣高 開原支店販賣高　一千七百箱（二鑵入） 各出張所同　二萬八千箱（同） 石油名は「紅星碑」「幸福碑」にして主として支那人の燈火として用ひらる
英米煙公司代理店	宋子盈 劉品三	附屬地第七區二號地	開原城內 掏鹿 山城子 朝陽鎭 東豐 海龍 柳河 興京 通化	煙草は上海本店より開原代理店へ直送を受け開原代理店より鐵嶺及奥地各代理店出張所へ轉送し又開原地方各小賣店には開原代理店より直接卸賣をなし居れり 販賣高は開原代理店及奥地各代理出張所に於て一箇月約三萬圓餘一箇年概算約四十萬圓餘なりとす 代理店に於ける賣上高は本社の命に依り上海本店及奉天代理店へ一週二回宛電報報告をなさしめ又一週二、三回宛奉天代理店より英米人社員巡回視察をなし代理店の業務を監督しあり

七、四平街に於ける外人會社

稱呼	太古洋行糖局分行、太古水火保險公司代理店
營業科目	砂糖販賣、火災保險代理兼業 商標（太古） 砂糖 灣　五　B 灣　五　四　GW 灣　四　CX 糖　氷　SC 重なる商品
開業	民國元年正月當地開店
資本額	某支那人が英商より滿洲各地代理店經營請負し間接に又下請負營業するものにして現錢保證を提供しある趣其額不明
公課	公費年額百六十五圓ヲ納ム
營業所	四平街北三條路滙昌隆院內（代理店）
資本主	英國商人營口に本店あり時々英國人來店商況視察帳簿檢査する由
業務主任或執事人原籍氏名年齡	山東省蓬萊縣人 叢禮庭 當三十六歲 外店員貳名
備考	大正十年販賣高、砂糖三千袋ニシテ販賣先內譯左ノ如シ 一、五〇〇袋　洮南地方奧地へ 三〇〇　八面城へ 三〇〇　賣買街及柳樹臺へ 三〇〇　當地にて 一〇〇　西安縣地方へ 五〇〇　附近各地特約店へ 火災保險は保險金約十萬元にして率は一萬元に對し月七元の割也 砂糖三千袋小洋約七萬二千元と云ふ

稱呼	英美公司四平街分莊
營業科目	各種洋煙販賣
開業	大正二年八月一日當地開業
資本額	信用ある某商店が貳人にて保證し營業するものにして(舖保牌子)と稱し純然たる販賣店にして分行と云ふは當らず資本額不明
公課	公費年額金百貳拾參圓を納付す
營業所	四平街南四條路福聚棧院內(代理店)
資本主	奉天英米トラスト會社
業務主任或執事人原籍氏名年齡	山東省蓬萊縣人　王　耀　西　當三十九歲　外店員三名
備考	大正十年度販賣高約五百萬元內譯左の如し 一、約八萬元　當地 一、約四〇萬元　洮南方面奧地へ

項目	內容
稱呼	亞細亞火油公司分行
營業科目	火油販賣 石油商標は（鐵錨）即錨印
開業	大正二年五月二十三日當地開店
資本額	貯油倉庫專用線は營口より直接支配し執事人は其看守人の監督を爲す保證小洋五千元又は一萬元提供し外に大連の某有力商店を當地以北の各分行を舗保し居ると云ふ委細不明也
公課	公費は本社直接外人より納付
營所	四平街北四條路萬和棧院內
資本主	英國倫敦本店、營口支店
業務主任或執事人原籍氏名年齡	山東省登州府人 李會卿 當四十年 外貳人 石油倉庫敷地四六二坪及專用線を引込貯油場と賬房とに區別す
備考	大正十年度輸入五四〇噸なるも店員の語を聞くに昨年一箇年約貳萬箱を販賣せり 內譯左の如し 二、〇〇〇箱　當地及各小賣店へ 八、〇〇〇箱　西安縣地方へ 五、〇〇〇箱　八面城方面へ 五、〇〇〇箱　賣買街方面へ 右價格約小洋二十一萬元也

稱呼	美孚洋行貯油場竝賬房
營業科目	火油竝蠟燭 石油は 老鷹印 老虎印 洋燭は老散鷹印
開業	宣統四年十月
資本額	本店　拾八億圓或は支那人が保證銀を提供し保牌と稱し間接代理店の樣なり或は亞細亞と同一なりとも云ふ委細不明也
公課	公費は本社へ直接外人より納付す
營所	四平街南四條路福聚棧內
資本主	米國紐育奉天支店
業務主任或執事人原籍氏名年齡	山東省牟平縣 孫丹震 當四十二歲 石油倉庫敷地四六二坪三七五を借受け専用線引込あり之に看守人三人を置く
備考	大正十年度輸入二一〇噸店員の語るを聞けば前年約五千箇と云ふ內譯左の如し 五〇〇箱　西市街にて 一、五〇〇箱　八面城賣買街方面へ 一、〇〇〇箱　西安地方へ 二、〇〇〇箱　鄭家屯方面へ

稱呼	金星、保永、福安、廣恆、羊城各水火、生命保險會社聯保代理店
營業科目	綿糸布、葉貫、蔴蒟類問屋（轉運業）竝各保險會社代理店 Venes 金丹 ★ 星國 保險會社牌
開業	民國六年二月一日
資本額	奉天票参千元
公課	公費年額金百五十九圓を納む
營業所	四平街北四條路晋祥達院内
資本主	山東省歴城縣　焦輯五　當四十七歲
業務主任或執事人原籍氏名年齡	直隷省樂亭縣　楊儀凱　當五十三歲
備考	大正十年舊歴一箇年保險總額約三百萬元保險料約二萬五千元手數料約三千元と云ふ對保物件は貨物重に特産物二、三箇月分にして次は火災險なり保險率月一萬元に付七元位と云ふ各保險會社は英、米、伊、佛、白、等のものなりと云ふ

八、公主嶺に於ける外人會社　（大正十年領事館調）

1、美孚洋行代理店

營業者　支那人遲日新。所在地、公主嶺西本町通二丁目號外地

資本金　資本金は詳ならざるも委託販賣契約當時二萬圓の保證金を提供し居れりと云ふ

營業及事業範圍　米國美孚洋行石油委託販賣店として米國より輸入し來る石油一箱に對し金十錢の利益を受け居れり重なる販路は伊通盤石長嶺懷德の各縣にして一箇年販賣高平均二萬箱内外なりと

2、亞細亞石油會社代理店

經營者　支那人李秀卿。所在地　公主嶺榮町一丁目

資本金　資本金は詳ならざるも委託販賣契約當時一萬五千圓の保證金を提供し居れりと云ふ

營業及事業範圍　英國亞細亞石油會社委託販賣店にして英國より輸入し來る石油一箱に對し十錢の利益を受け居れり一箇年の平均賣上高一萬五千箱内外にして販路は懷德伊通盤石長嶺各縣なりと

九、吉林に於ける外人經營會社 （吉林滿鐵公所調）

會社名	國別	大正十一年賣揚高	設立年月	經營者又ハ主任者	所在地	摘要
英美煙公司	英米	一百二十萬元	光緒三十年	鞠樹堂	吉林城内北大街	吉林より間島龍井村局子街等へも陸路輸送す
亞細亞煤油公司	英	三十萬元	光緒三十三年	王善亭	同 西大街	
德喜煤油公司	同	十一萬五千元	民國九年	鞠樹堂	老晋隆胡同	一名幸福公司ともいふ
太古洋行	同	二十萬元	光緒二十四年	劉魁武	北大街	砂糖販賣、火災保險等を行ふ
美孚洋行	米	二十萬元	宣統元年	李亞新	西大街	
シンガーミシン	同	二萬元	同	王品三	糧米行	

備考　之等は凡て代理店にして外人直接販賣に任ずるものにあらず

十、在長春外國商館一覽表 （大正十二年十一月十二日長春商品陳列館調）

名稱	國籍	營業種目	所在地	摘要
				滿洲に於ける三大（美孚、亞細亞、德斯古）石油販賣業者の第一位にして當地には外人（米露混血兒の）一名常住し華人の店員五六名を使用せり十一年度に於ける石油販賣年額は約四萬鑵にして假に一鑵@二、八〇円と見て此額十一萬二千圓とす、

美孚洋行	米國	石油販賣副蠟燭販賣	城内北大街	洋蠟は支那國製品に漸次壓倒され賣行年々不振なるが如し因に當地に於ける三販賣業の其賣揚比例は美孚五〇%亞細亞三〇%德斯古二〇%見當なり猶ほ美孚の滿洲に於ける貯油タンクの存置箇所は左の如し、大連(三五、〇〇〇噸)哈爾賓(七〇、〇〇〇噸)營口(二、〇〇〇噸)安東(一、〇〇〇噸)遼陽、奉天、鐵嶺、開原、四平街、長春、撫順、本溪湖、(各三〇噸)公主嶺(二〇噸)なり
勝家縫店機器公司出張所	同	ミシン機販賣	日本橋南詰	需用は漸次支那人間に增大し逐年良成績を收めつつあり當地出張所には主任(日本人)壹名華人の外交員一名教師(邦人女)一名計三名從事しつつあり最近一箇年の賣揚額は足踏百六十臺手繰二十臺此の價格貳萬六千圓なり
亞細亞煤油公司	英國	石油販賣副洋蠟	城内西三道街	三大販賣業者の第二位にして當地には外人一名常住し華人の店員四五名使用せり十一年度に於ける販賣額は約(三五、〇〇〇鑵)此價格約七萬圓前後なり洋蠟は支那自國製品の爲めに漸次壓倒せられ逐年不振の模樣なり
德斯古煤油行	同	石油販賣商	城内北大街	三大販賣業者中第三位にして華人の店員三、四名使用し外人は常住して居らざるも時々事務監督の爲め奉天より出張す十一年度に於ける販賣額は約一萬六千鑵此の價格四萬五千圓なり
怡和洋行出張所	同	砂糖販賣高等織物保險業(火災)	城内東三道街	上海の出張所にして店員六名を有す瓜哇砂糖の販賣を主として副業として高等織物繻子類及び火災保險業を營む砂糖の販賣年額は約十五六萬圓前後にて織物及保險業は振はずと外人は年何回かの沿線出張巡視の際立寄り出納の檢査をなすのみなり
				大連の出張所にして十數年前より瓜哇糖の販賣を主として傍ら保險業を營む華人の店員約十名を使役し業務積極的にして一般華人間の信用を

太古洋行出張所	同	砂糖及火災保險業	城內東四道街	厚し砂糖の賣揚に於ては三井鈴木の及ぶ處にあらず火災保險の成績に於ては被保險件數より比較する時は三井は相い伯仲ず業務上の成績に關しては堅く口を噤し語らざるも同業者間の言に依れば砂糖の賣上年額のみにて約二十五、六萬圓は下らざるべしと外人は常住し居らざるも時々巡察し業務狀態を監督す 備考、奉天糖と瓜哇糖の優劣比較、奉天糖は市場に於て瓜哇糖に比し常に約一割安なるも一般消費者に喜ばれざるは製菓に際し粘着力及膨脹力乏しき爲め製品の見榮えせざるを以てなり、因に當地に於ける輸入砂糖の消費の割合は五〇%太古三〇%怡和二〇%奉天砂糖にして內地及臺灣糖は不引合の爲め輸入杜絶の姿なり
聯合煙公司出張所	同	卷煙草販賣	商埠地大連	取扱額に於ては英米トラスト及び南洋兄弟煙公司に比し遙かに下る、華人の店員四名を使用し外人は常住せず
老普隆洋行	同	各國卷煙草及石鹼香水香油	城內北大街	英商の看板は支那官憲より課稅を避ける手段にて眞の經營者は華人なりと云ふ主として英米トラストの代理業を營む化粧品の販賣には餘り意を注き居らず然れども當地に於ける幾多の英米トラスト代理店中最も信用を有し且つ手廣く營業せるは他に見ざる處なり惟ふに兩者の間の特殊の特の保護的（資本注入？多賣に伴ふ特割引？）關係あるが如く推測さる
卜內門洋行出張所	同	曹達及錠油（曹達ハ染布染糸用、錠油ハ泥藍）	城內西三道街	上海の出張所なりと云ふも實際の營業者は當華人にして單に看板のみを襲用するものと認めらる華人の外店員一名に過ず年賣揚額も僅かに壹萬五六千圓に過ぎずと
英米トラスト煙公司出張所	英米合併	卷煙草	附屬地日ノ出町二丁目	卷煙草販賣業者中の覇者たる事は世人周知の處なり當地には米國人二名常住して其他華人の店員六名を使用す此の營業振は頗る旺盛にて積極的なり業務成績に關し多く語るを避くるを以て適確に知り難きも年賣捌額二十五六萬圓に達するならんと推測さる

汽巴洋行出張所	瑞西	染料	城內西二道街	上海支店の出張所にして華人店員四名をして店務を一任せしめ外人は年四五回沿線出張所監督の際立寄り營業情態檢を查するのみにて常住し居らず當地に於ける販賣年額は約三萬圓前後なりさ
道勝銀行支店（露亞銀行）	露國	一般銀行業	城內西門裡	二三年以前より營業停止せり

十一、在哈米國會社商店（大正十一年六月現在北滿洲特務機關調及大正十二年六月版哈爾賓案內記載商品陳列館調）

(イ)哈市を中心とする米國會社、商店、銀行、工場調查表（イロハ順）（大正十一年六月現在）

名稱	營業科目	代表者	內容	所在地
國際銀行「インターナショナルバンキングコーポレーション」	銀行業	「ダブリユーデーハウ」	本店米國紐育市「グロード」街資本金一千萬弗哈市銀行支店より紙幣發行を計畫せしも支那官憲の爲反對せらる	哈市「サマンナヤ」街
「イー・ジエーネヴイル」商會	輸出入商			哈市埠頭區アプチエカールスカヤ街
國際農具會社	農具販賣及耕作收納業	「エフ・エスシユウエーヤー」		哈市新市街
「ハシキロフ、ゲ、イ」商會	輸出入商			哈市新市街停車場大街チスチヤコーフ內

「ボルドウキン」機關車製作工場	機關製作	「ジョン●タブリユウケルカー」		哈市新市街「ボチトーワヤ」
「カルボード」大米商會	火災保險	「コレンポリスキー」		哈市埠頭區「ペカールナヤキタスカヤ」街
華盛公司	米國「ウエスチングハウス」電氣會社代理業		本店米國「ウエスチングハウス」國際電氣會社哈市電鐵布設及運行權を有する支那利權者より本事業の建設を引受くる爲設立せるものにして北支那代理店なり	哈市埠頭區
「タブリユー●オフレーベルグ」請負事務所	技師建築請負業			哈市埠頭區バザールナヤ街
「ダンロップ」護謨會社支店	ゴム製品業			哈市埠頭區シローカヤ街
「ソロモン」商會	貿易業			哈市新市街「バザールナヤ街
「ウエスチングハウス」電氣會社出張所	電鐵事業請負建設	「エス●グロスバルト」	本店米國桑港電氣事業建設會社にして大正十年十二月代表者を派遣して哈市電鐵事業請負に從事せんとせしものなり	
「ヴエキユアム」石油會社支店	石油採掘業自動車販賣			哈市新市街
「ウリフソン」商會	毛皮商			哈市「ピルゼーワヤ」街

「クレマンタスキーヘーツ」商會	輸入業アジア石油會社代理店保險會社代理店	取締役「チヤールスヘーツクレマンタスキー」	一九〇四年資本金五萬磅を以て「ジヤカス・クレマンタスキー」氏單獨經營せしが一九一一年會社組さ織爲す	哈市埠頭區
「クラウベル」商會	自動車	「シユステーロウイツチ」		哈市「コンメルチエースカヤ」街
「クークベリチング」商會	輸出入商		「バケローク」商會代理店	哈市「ポリシヨイプロスヘクト」街
「グレースアメリカン・インターナシヨナル・コーポレーシヨン」	特產物輸出米貨輸入業	「エッチ・カーチス・ヴキゼー」代表者たりしこさあり	本店紐育市「グレース」商會外數十會社の合同事業、北滿西比利の特產物輸出及米國雜貨其他の輸入業現今活動せす	哈市新市街
「クランデル」貿易會社	貿易業	「クランデル」		哈市新市街
株式會社「マルテンス」商會	輸出入業			哈市埠頭區「バザールナヤ」街
「マンチユリアンインポート・エキスポート・コムパニー」滿洲貿易商會	貿易業	「ヂー・エス・スクロール」(取締役重要出資者)		哈市新市街
「マンチユリアン」株式會社	貿易利權其他一切	ワトソン		哈市新市街

「フレーザー」商會（車輛販賣）	貿易業車輛販賣	支店長「エス・ジエーローランド」	該商店は英國人「セール」と米國人「フレーザ」と日本横濱にて合同經營せしものなるが「セール」死後「フレザー」單獨經營せり	哈市新市街
「フセオブニチヤエレクトリチエスカヤ・コムパニー」	輸出商電氣器具、毛皮			哈市埠頭區「キタスカヤ」街
「エ、ウエ、フレツエル」商會	「フランクリン」自動車會社代理店			哈市「アシユヘースカヤー」街
「ブリチメン」商會	輸出入業	「ブリチメン」		哈市「アブチユカルスカヤ」街
「フイヤソン・ダニエル」商會	製粉所設立計畫	「イー・アールオブ・ライエン」	大正十一年六月初旬極東共和國及勞農西比利に製粉所を二三設置し有利の場合には大々的に知多國民經濟省の許可を得て知多共和國銀行と協定活動せんとするものの如し	哈市新市街「ブリワールナヤ」
「コンマーシヤルユニオン・インシユランス・コンパニー」	保險業	支店長「ジー・キラード」		哈市埠頭區
「コンネル」商會	輸出入商			哈市埠頭區「バザールナヤ」街
「エツチ・エフオストランダー」商店	仲買船舶代理店、保險代理店	持主「オストランダー」	一九〇七年「オストランダー」は「フレツド・ジヨンソン」と共同して船舶業を開始せしも一九一〇年遂に事故の爲分離し全く「オストランダー」單獨事業となれり一九一五年支那東部西比利商會の依賴を受け船舶數隻を借入れ營業順調なり彼の資産約一百萬乃至百二十萬弗との世評あり本店は米國紐育市資本金八十萬乃至百萬弗	哈市新市街

「エチンゴンシリツト」	毛皮			哈市「ペカールナヤ」街「カサツキン」內
「アメリカンパンキング・コーポレーション」	銀行業	支店長「ペニモウイツチ」	米國最大銀行の一にして極東に勢力大なり日本、支那各地に支店を有す	哈市埠頭區キタイスカヤ街
亞細亞商工業會社	印刷製本ノ注文			哈市埠頭區
「アンダーソントレーデングコムパニー」	滿蒙貿易業		米國有名なる貿易會社にして極東に最活動せるものなり	哈市埠體區
米支商業銀行支店	銀行業		本店北京、資本金一千萬弗、(拂込)米國のみにて五百萬弗一九一九年支那政府の特許を受け米支兩資本を以て設立す代理者を米國紐育市に支店を北京、天津、上海、漢口、哈市、間島、青島	哈市埠頭區
極東貿易運輸會社	極東共和國內へ運送引受業		本店滿洲里停車場內、支店哈市知多「ウエルフネウヂンスク」運賃又は稅金を支拂ひて極東共和國內に各種貨物輸入又は引受を爲すに在り	哈市埠頭區
北支那商會	輸出入商	「サンメルス」		
極東商事會社	米國商品輸入商	「チ・ナ・ローゼンクランツ」		哈市「アプチエカルスカヤ」街
極東用達會社	機械靴玩具			哈市「ビルゼーワヤ」街

「ユーロペータホーム・エンドフオレン・トレーテング・コーポレーション」(「ユーロペーター」内外貿易會社	貿易業(毛皮、大豆油、銅、ヅック袋)		本店米國紐育市、資本金一百萬弗(最近更に五百萬弗に増加の計畫)毛皮製品(ズック)袋、銅を輸入し大豆油、蒙古産毛皮を輸出す 備考　當會社は元「ペトログラード」市に南部露西亞内國貿易會社なるものありて歐露西比利に二十一箇所の支店を有しありしが露國崩壞後維持し難く米人と合同し米國紐育市に移して會社を新に設立して南米、英國、支那にも支店を設けし但し取引信用薄く閉店するやも計り難し	哈市新市街ビルジエワヤ
「ユナイテツド、ステーツ、マニユフクチユアラス、コーポレーシヨン、オブ、ニユーヨーク」	製造業			哈市新市街
「ユナイテツド・ステーツ・シベリアン」商會(米西商會)	貿易業			哈市新市街
「メジードゥナロドナヤ・コムパニー」	農具販賣			哈市新市街停車場大街チスチアコーフ内
「ジー・ジヤーロツト」商會	輸入「ブローカー」	「ジーヂヤロツト」	本店一九一六年哈市埠頭區に資本金二萬五千弗を以て開設す 備考「シヤアトル」市に本店を有する西比利商店の代表者なり	哈市埠頭區
「シンガー」商會	「ミシン」機械販賣			哈市埠頭區キタイスカヤ

「モンゴロ・アメリカン」商會（蒙米商會）	蒙古貿易業	支店長「ブラウン」	本店米國紐育市、猶太系米人「コッキット」最初主任なりしか不評なりしため「ブラウン」交代して滿蒙西比利に於て一大活躍の準備を初めたり支店は海拉爾滿洲里庫倫烏爾何斯泰張家口等にあり 備考「ブラウン」は米國借款團の一員にして最近滿洲地方に於て活躍振を發揮せるものなり米國商業中「モンゴロアメリカンコーポレーション」の名は有名なり	哈市埠頭區
「モンゴール」商會	豆豆油毛皮豚商	「コッキット」		哈市新市街アッヘースカヤ街
「スタンダード」石油會社支店	石油採掘販賣	「スキフト」		哈市フーチャーテン
米國商工會社	機機及輸出入保險業			埠頭區サマンナヤ街
米露商會	輸出入商其他			新市街ブリワールナヤ街
英米煙草會社	煙草商			埠シローカヤ街
ブレーネル兄弟商會	輸出入商			埠ペカールナヤ街
ロステール商會	貿易業			埠バザールナヤ街
ネウイルリ、ゲ、ゼ商會	輸出入商			新市街アッシュヘースカヤ街
北支那商會	同			新アッシュヘースカヤ街

アメリカント、レーデイング、コムパニー	貿易業			埠頭區

（ロ）哈市の中心とする英國會社商店銀行工場調査（大正十一年六月現在北滿洲特務機關調及大正十二年六月版哈爾賓案内記載商品陳列館調参照）

名稱	營業科目	代表者	内容	所在地
ロリウエルパラント	輸出入商			哈市ノプゴロツドニカヤ街
バシテルヘリトイスアイル商會	火災保險代理店			埠ポリチエースカヤ街
バタフキルドスワイヤ商會		支店長パーソンス	極東に於ける知多商店なるも目下調査中支店長夫妻五月十六日汽船にて武市に向ひしは何等か活動の準備中にあらずや	新コーニナヤ街
エヌ、ソースキン商會	穀類輸出	ソースキン	資本金五百萬圓	同
ラング、エル、ウエ	紙、毛皮、酒類雜貨、煙草、毛皮製品			同埠頭區キタイスカヤ街
ムスダード商會	毛皮輸出入商			哈市埠サマンナヤ街
ゲートンブリード商會	歐米品輸入生物輸出		資本金七萬圓	哈市新コーンナヤ街

生産輸出會社プロダクトエキスポートコムパニー	生産物加工輸出	ツールター		同傅家甸
英支東洋商事會社	穀類、豆油毛皮			哈市ノキトルゴワヤカスカースカヤ街
エドワード、ホイーン、エンドサンス商會	羊毛業	イ、エッチヒース		哈市新市街
英米煙草會社店支	煙草製造販賣	支店長エー、エス、ケント	資本金二億圓、支那に於て煙草を加工し販賣す恰も我南滿鐵道會社の如き内情あり哈市支店のみにて一箇箇月賣上高約五十萬圓なりと	埠シローカヤ街
アルトルポクレー商會	輸出入			哈市新ニコライエフスカヤ街
英佛店舗アングロ、フレンチストウアー	濠洲産牛酪ジャム、葡萄酒等ノ販賣			埠頭區
サミユエル商會	貿易業		知名の商會なり	埠ポリチエースカヤ街
極東シンヂケート	利權(鑛山、森林漁獵)等ノ護得		本シンヂケートは米領アラスカの鑛業家たる英米兩國に籍を有する猶太系ヴント兄弟等を主腦とす哈市に於ては「マンチユリアンコンパニー」を代理店とし同社支配人にして「チヤイナ、ミユチユアル」保險會社哈市支店支配人「シエー、エス、ロトリン」(政治的野心家にして亞細亞混血英國人)か關係しあり	新市街

極東保險會社	保險業	ダヴリユウエム、グレー		埠キタイスカヤ街
西伯利モーター商會	自動車			哈市キタイスカヤ街
西伯利農事商會	織物、輸入、靴、農具、生物	マクラーソン		同
ショウ兄弟商會	輸出入商		朝鮮人を煽動したる排日英人ショウの兄弟なりと云ふ說あり	新市街
ジヤーデンマゼソン商會	銀行、貿易船舶業		該商會は香港上海銀行と共に極東に於ける最大英國商館にして支那借款に英國政府として應ずる場合は此等資本金を介せざれば活動する能はざる程財政的權勢を有するものなり	埠、水道街
トツパーズ商會	生物輸出入商	ナフターウイツチ	資本金四十萬圓	哈市新ピルゼーワヤ街
香上銀行支店	銀行業	フオツクス	ジヤーデンマゼソン商會と共に雷名あり哈市北滿に於ける活動は目下調査中主なる社員「エフダブリユースタブ」「フアーカーソン」	哈市埠ポレワヤ街
チヤイナ、ミユチユアル保險會社	保險業	ジエーエスワトソン	資本金五十萬圓（積立金三千萬圓）支那に於ける最大生命保險會社の一なり、支配人は滿洲會社支配人兼極東シンヂケート哈市代理店なり	新市街
リウエルコン商會	羅紗輸入商			哈市埠モストーワヤ街
ワツサルド商會	輸出入商			埠、ポレワヤ街

名稱	營業科目	代表者	內容	所在地
加奈陀貿易會社	輸出入商 利權獲得		滿洲西伯利方面の利權獲得を目的とす、大正八年頃加奈陀騎兵少佐「ボルバートパイパー」なるもの「セミョノフ」の旗を擧げしとき彼に取入り滿洲里、海拉爾附近に於て興安嶺、江北の森林牧畜、鑛山、狩獵業等を含む廣大なる地域の利權を獲得し該契約を當哈市英國領事館に於て登記したりと稱し該利權の賣渡をなさんとす稍山師的なり	埠頭區
ブリーネルモンド商會	輸出入商			新市街ボリショイ大街
株式會社滿洲商會	皮革商			新市街ノヂトルゴワヤ街

（八）在哈獨逸會社商店

（大正十二年六月版哈爾賓案內記載商品陳列館調）

名稱	營業科目	代表者	內容	所在地
ウイス、ネール商會	製粉機械販賣 建築業請負			埠、アプテカールスカヤ街
獨乙亞細亞商會	同			埠、ウチヤストコーワヤ街
獨支工業會社	獨乙品輸入商			埠、サマンナヤ街
クンスト、アリベルス	輸出入商			アルチルレリースカヤ街コンメルチエースカヤ街角

シーメンス、シユツケルト	電氣器具			新、ノオトルゴワヤ街 埠、キタイスカヤ街
株式會社トルゴーチ、アクツイチネールノエ、オブシチエストチ	機械汽鑵附屬品			埠、サマンナヤ街
ホリシテイン	獨乙品輸入醫科用品、時計			埠、ピルゼーワヤ街
エリアシフ商店				埠、ポリチエースカヤ街
エクドラード商店	旅館業			埠、ウチヤストゴーワヤ街
キタイスピルスキー商會				埠、スクオーズナヤ街
デアナ商會				埠、ウチヤストコーワヤ街
ミレルシークモンド商會				埠、カザーチヤ街
アードウレル商會				埠、サマンナヤ街
スベリゲルマンスキー商會				埠、コンメルチエースカヤ街

(ニ) 在哈佛國會社商店 （大正十二年六月版哈爾賓安内記載商品陳列館調）

名稱	營業科目	代表者	内容	所在地
株式會社松花江製粉會社	製粉業			埠、ポリチエースカヤ街
ブランシ商會	佛國製品輸入商			新、ノヲトルゴワヤ街
滿洲商會	輸出入商			埠、ヒルゼーワヤ街
萬國寢臺會社				新、スンガリースカヤ街
株式會社カ、エム、ベンド	輸出入商			埠、キタイスカヤ街
佛亞保險會社	保險業			埠、コンメルチエースカヤ街
フレゼール商會	米國「フォード」商會代理店			埠、サマンナヤ街
ペ、イズミードヤン	輸出入商			埠、キタイスカヤ街モデルン内

(ホ) 在哈丁抹會社商店 （大正十二年六月版哈爾賓案内記載商品陳列館調）

名稱	營業科目	代表者	內容	所在地
東亞商會	雜穀商			埠、水道街ボレワヤ街角
コンスタント、ア、クローグ	輸出入商、ヤーフスコエ、モールスコエ火災保險會社			埠、ボリチエースカヤ街
露亞商會	生物輸出報			埠、ビルゼーワヤ街
西伯利亞商會	輸出商			埠、ペカールナヤ街

(ヘ)在哈瑞西會社商店 (大正十二年六月版哈爾賓案內記載商品陳列館調前)

名稱	營業科目	代表者	內容	所在地
ブロツサールモツペル	輸出入業			埠ビルゼーワヤ街
ビユーレル兄弟商會	諸機械及鑄造所			埠キタイスカヤ街
ゲ、ユ、ラツセーレ(テ、ジユアーエ)	時計貴金屬竝ニ輸入商			同

コスキネン	輸出入商			同

（ト）在哈白耳義會社商店（大正十二年六月版哈爾賓案內記載商品陳列館調）

名稱	營業科目	代表者	內容	所在地
ベルギ、マンチユルスカヤ、コンメルチエースカヤ商會	鏡用硝子、科學用品、製造販賣			停車場通チステヤコーフ內
ルースコ、ベルギスカヤ商會	毛皮、穀類			埠、キタイスカヤ街

（チ）在哈伊太利會社商店（大正十二年六月版哈爾賓案內記載商品陳列館調）

華義銀行				新領事館內

十二、齊々哈爾外人會社商店（大正十年領事館調）

1、露商「アンツエレウイツケ」商店

經營者、露國人「アンツエレウイツケ」

所在地、チチハル城南大門通

資本金、金二萬圓（經營の情況より推定）

營業範圍、時計竝に各種洋雜貨販賣附屬事業として牧畜を爲す
開設年月日、一九一〇年四月十八日。
右經營者の牧畜及皮革事業
所在地、チチハル西南約一里船套子、
資本金、一萬圓(推定)
開設年月日。一九一九年

2、露商「サーリマン」
經營者、露國人「サーリマン」
所在地 チチハル永安街
資本金、一萬圓(推定)
營業の範圍、札來諾爾石炭取次販賣を主とし貨物の取次を副業とす
開設年月日、一九一四年

3、英商ト内門洋撼公司代理店(Bruner mond and Co.)
經營者、支那人張夕良。
所在地 チチハル南大街

資本金、小洋三千元

營業範圍、英國製曹達の販賣竝に原料を同公司の上海或は營口支店より取寄せ土產の天自然曹達の製成及石鹼製造販賣。

開設年月日、民國三年七月

其他、本代理店は公司本店又は支店と直接資金の融通關係なく商品の到着次第に其代金を送金するを以て一手販賣の如き關係なり。

4、英米煙公司代理店

經營者、支那人賀香廷

所在地、チチハル南門大街

資本金、小洋二萬元(英米公司に對し小洋一萬元の保證金提供及確實なる商人の保證小洋一萬元)

營業範圍、隨時哈爾賓の同支店より商品の送付を受け之を賣却して一箇に對し小洋四元の口錢を受け代金の取立送付の義務を負擔するものとす、

開設年月日、宣統元年十一月

5、米商美孚煤油公司

經營者、支那人寶山永
所在地、チチハル南門大街
資本金、小洋五千圓(黑龍江中國銀行の小洋票五千元を保證金とす)
營業範圍、一定の數量を限り公司より隨時商品の送附を受け之を賣却一箱に付三角の手數料を申受く
開設年月日、當初代理店を創設したるは光緒二十八年なりしも民國八年中に契約を取消し現在の經營者は同年八月より本業に從事す
其他、民國八年中の賣却高一萬箱內外なりと云ふ

6、英商亞細亞煤油公司
經營者支那人王肇甫
資本金、小洋一萬二千元(黑龍江省中國銀行の小洋票六千元を保證金として供託の外に同小洋六千元の身元保證人あり)
營業範圍、一定の數量を限り哈爾賓の同公司支店より送付を受け之を賣却して一箱に付三角の手數料を申受く
開設年月日、民國三年四月

其他、民國八年賣上高は僅に五千箱未滿にして代理店は非常の損害なり

7、米支人の共同事業(名稱不明)

經營者、支那地方官廳代表者張壽增

所在地、黑龍江省黑河道庫瑪爾河金鑛

資本金、米人より採金機械を提供し其價格十萬元なりと云ふ

營業範圍、單に採金事業に從事し機械は米人「バークス」使用す

開設年月日、民國九年十月末より向ふ五年

其他、右は大正八年十一月五日附機密第三號を以て報告せしものに係り其後年限を五年とし期滿後は無償にて支那側に機械を交付することに改訂せり

十三、海拉爾に於ける外人經營會社商店

英
(Export Product Co.
(鷄鴨公司)

對蒙古畜產取引に於て最も大なるものにして專ら生畜のみを取扱ひ今年(大正十二年)に於て牛羊約六萬頭(牛二萬羊四萬)を買占めたりと、當地にも廣大なる土地を有し牧場としつゝあるが多く買占後は直ちに哈爾賓製造工場に發送す。

國	商號	摘要
國	彼得洋行	牛皮、馬皮、羊皮。羊毛を取扱ひ上海に輸送す。
	遠東公司	殆ど牛皮のみを取扱ひ全部奥地取引にしてその買付方甚だ手際よしと今年は羊毛をも買入れたり
米國	美豐洋行	羊毛専門
	烏利蘇洋行	重に羊毛、羊皮を取扱ひ昨年大失敗したとか今年(大正十二年)は餘り活動せず
米國系猶太人	「ブラウン」	本人は紐育に取引を有し最近羊腸を盛んに輸出す羊腸は屠殺場にて直ちに買入れ其場にて洗腸して鹽漬とす、十米突五毛の割にて買入れあり、牛腸も同樣買入れあるも甚だ安く一疋に付五毛、羊毛の買集も旺んにして自己の洗毛工場を有し全部米國に輸送す。
	「カプラン」	「ブラウン」と同樣に最近大に事業を擴張しつゝあり羊毛専門にして奥地と直接取引をなし自己の手にて洗滌し米國に輸出す。

大正七年より始め大正十年迄羊毛買集及洗滌をなしたるも昨年及本年(大正十二年)は工場を閉鎖し單に羊毛及毛皮の買集をなしつゝあり。

「タバマ」(猶太人)

イシマコーフ(タタール人)大正九年失敗して以來振はず手控の方にて取扱高も甚だ少く本年(大正十二年)は洗毛をなさず。

アクチユーリン(同　)　本年(大正十二年)夏季一寸洗毛したるも後直ちに閉鎖す買集量は二千五百布度餘羊毛の外に牛皮、馬皮、羊皮を取扱ふ

東支鐵道經營洗毛工場。　本年(大正十二年)八月より事業を始む。本工場は凡て賃金請負にて一布度の洗滌費四十五哥、荷造費十五哥、本工場の特色は荷造りに在り卽ち石油發動機にて壓搾器を使用し一日の能力百五十梱

海拉爾相互信用組合　借款銀行とも稱するものにして遠からず極東銀行に合算せられるの運命を有す。

十四、滿洲里に於ける外人經營會社商店（滿洲里特許機關調査）

十四、滿洲里に於ける外人經營會社商店（大正十一年八月滿洲里特務機關調）

名稱	國籍	營業別	摘要
ヴイリアムホルブス商會	英	貿易	本店を倫敦に有し一九一九年滿洲里に出張所を設け尙庫倫、克魯倫にて設置の豫定なりと、羊毛、羊腸、獸皮を蒙古より買付く
ロバート株式會社	同（猶太系）	煙草	
ビーデルマン商會	同	羊毛取扱	
東方合名會社	露	雜貨	最近殆ど休止狀態
東露會社	同	同	不明
アムール會社	同	皮革及靴	本店哈爾賓にあり
ザバイカル株式會社	同	貿易	
滿洲里印刷株式會社	同	印刷	借款銀行に屬す
滿洲里相互信用組合	同	銀行	借款銀行とも稱するものにして最近極東銀行に合併せられたり

以上會社の外商店として

露國　一〇

猶太　三

獨逸　一

波蘭　二

アルメニヤ　三

第六章　滿洲に於ける歐米人の文化事業

滿洲に於ける歐米人の文化事業につきては本論と直接何等關係なきが如く見ゆるけれども其の實本論と關連して必ず注目しなければならない問題である、即ち彼等は常に政治上及經濟上の對支發展策の第一步として先づ文化事業に手を染める、而して其地方に於ける人心を收攬した後これを根據として政治上或は經濟上の行動に轉化したのである、殊に遲れ走せに走せ參じた米國は最早や支那に於ける主要なる利權が各國の取得する所となり自らの發展する餘地甚だ涼々たるを見て一方に機會均等、門戶開放を頻に唱へ他方盛んに宗敎敎育を支那に起し之を利用して在支列國の勢力を驅逐することに努むると同時に自國の對支貿易發展を計つて來たことは蔽ふことの出來ない事實である、彼の支那に於ける排日、排日貨運動がその大部分彼等の煽動に依ることは吾々日本人が今日まで痛感して來た所である。

曾てタイムスが米國の對支貿易を論じた一項に次の如き文句がある「米國の對支貿易に關する苦心經營は決して一朝一夕の事ではない、一九一二年から一五年

にかけて及び其以後も續いて米國は支那に於ける地位と勢力とを得んが爲めに全力を注いだ殊に敎育事業に對しては最も力を用ひ巨額の資金を投じて多數の高級學校を建設し支那人の子弟敎育に盡瘁した、其結果支那人子弟の米國を德とするもの出でて米支親善に導き延いて米支貿易に影響を及すに至つた。

英國の對支貿易政策は之と同樣でない、英國の政策は精神的事業と經濟界の事業との間に何の聯絡もないけれども米國の傳道師と商人とは團結力が甚だ强い米國が支那に投じた傳道資金も多いが其貿易上に收めた利益は更に大なるものがある」と此のタイムスの一言を以てしても米人の對支文化事業の蔭に政治的或は經濟的の野心あることは只に日本人のヒガミとのみ云ふことを得ないであらう。

タイムス紙の言は英國に限り斯の如き事實なきが如く論じてゐるけれども余を以てすれば英國にも又此の事實を肯定せざるを得ない、或は直接その對支文化事業と政治的經濟的行動とを結びつけざるとも意中其の對支文化事業により支那人の歡心を求め或は親英的の人物を養成して政治的經濟的の發展に便せんとするは否み難き事實である、佛蘭西、和蘭、戰前の獨逸又此の類である。

抑々歐米各國の對支關係は日支間のそれの如く共存共榮的にあるのではない。彼等は世界の未開放地を凡て分割處分した後最後の發展地を支那に求めたのであつて彼等の目的とする所は一に支那富源の搾取である、彼等の支那に對する好意は是れ凡て此の搾取の爲めにする所である、支那の滅亡は彼等自身に何等の苦痛ともならない寧ろ支那の分割こそ實は彼等の最も望ましきことであらう、斯の如き關係にある彼等が眞に支那自體の爲めを思ふことは不可能事といはなければならない。

彼等が或は機會均等、門戶開放を唱へ支那を擁護すべしとして在支各國利權を縮少せんとし或は文化事業により人道的に支那の文化を向上せしめんと云ふが如き是れ凡て美名を以て支那を欺くものに外ならない、今日の資本主義的經濟組織に於て歐米各國が共存共榮的關係にない支那に於て單に人道的貢獻の目的のみを以て文化事業に從事することはあり得ない。

然れども文化程度の未だ甚だ幼稚なる支那に對し先づ此等の好餌を以て歡心を得著々野心を遂げたる彼等歐米人の筆法は甚だ妙を得たものであつたと云はなければならない、五六歲の幼兒の歡心を得る最良の手段は玩具、或は菓子を以て

するに在ることを思へば蓋し思ひ半に過ぐるものがあらう。

然るに支那もいつまでも幼兒であるはずはない、最近に於ては歐米人の對支文化事業なるものが眞に自分達の爲めのみを思つてなされるものであるかを疑ひ出した。

一昨年(大正十一年)の春北京に於て基督教學生大會が行はれんとする時に當り一部支那學生間に起つた反基督教運動の如きはその著しき現れである、此の反基督教同盟大會に於て發表された宣言書は左の如くである。

我等の世界基督教學生同盟に反對する所以は我等の幸福を擁護せんが爲である、現代の社會組織は資本主義の社會組織であつて資本主義は勞せずして食ふと云ふ有產階級である、換言せば階級を壓迫した掠奪者である、現在の基督教と教會は此掠奪者を扶助する惡魔である、我等は此不合理的な而して非人道的な社會を改造しなくてはならない、世界の資本主義は日、英、米、佛に論なく今や崩れんとして居る、こゝに於て萬一の殘喘を延ぶべく支那に入つて實は經濟的侵略主義を行ふのだ、現代の基督教及基督教會は此經濟侵略主義の先鋒隊である各國の資本家は支那にて教會を設くるが支那人民を惑して資本主義を歡迎せ

しむるものである、支那に設けらるゝ基督教青年會は資本主義の走狗を養成する所である、而して其目的は支那人民の膏血を吸はんと欲するものである、我等は資本主義に反對すると同時に資本主義擁護の現代基督教及基督教會に反對する、世界基督教學生同盟は現代基督教及基督教會の產物であるが彼等は本年四月四日北京淸華學校に全世界の基督教徒を集合し資本主義維持と對支發展とを議せんとするものであるが我等は我國の靑年を汚辱し我國民を欺くものとして此の同盟を結び彼等と宣戰するものである、學生諸君よ、靑年諸君よ、勞働者諸君よ、我等は誰しも資本主義の罪惡を知らざるはない、若し資本主義の罪惡を知らば彼等走狗の會議に反對せよ。(非基督敎同盟)(一九二二、三、九)

此の宣言書は歐米人が宗教の蔭に隱れて如何に野心を逞しくしつゝあるかを完膚なく言ひ盡して餘りありと云ふことが出來る、余は此の宣言書中資本主義なる文字を歐米資本家と云ふ文字を以て置き替れば其意一層明瞭なるを覺ゐる。

即ち現在の基督教及教會は支那を掠奪せんとする歐米資本家を扶助する惡魔である、世界を凡て分割處分してその經濟的發展を遂げた歐米資本家は最後に殘されたる支那に於て其の殘喘を延ぶべく經濟的に侵略し初めた、而して此の經濟

的侵略の先鋒隊として彼等は先づ基督敎青年會をして彼等資本家の走狗を養成せんとするのである、故に基督敎青年會なるものは歐米資本家即支那掠奪者を扶助する惡魔である、此の危機に際し我等の反基督敎同盟會は我等の幸福を擁護せんが爲めに立つたのである」と。

此の運動には北京大學の敎授蔡元培、吳虞、胡漢民、陳獨秀等の知名の人々も加はり非常な勢で支那全國に擴がつたのである、今や彼等支那人は目覺めて來た。

更に此の反基督敎同盟大會に於て定めた綱領の一に左の如く言つて居る「專ら宗敎の羈絆を解脫し科學の眞理を發揮するを以て宗旨とす」と、彼等支那人は宗敎のみならず學問も亦歐米人に依り其の國家的色彩を背景として敎育せらるべきものでなく自國の主義により只科學の眞理を探究すべきものであることに氣がついて來た。

斯の如くにして歐米各國が對支經濟侵略の先鋒隊として唯一の賴みとした對支文化事業は今日その根據を危くしてゐるのである。

飜つて滿蒙に於ける歐米人の斯業を窺ふに又甚だ目覺しきものがある、間島地方或は蒙古地方の如き人煙稀なる所にも彼等は手を延して活動しつゝある、その

意氣や正に我等日本人をして敬服せしめる、而して滿蒙に於ける支那人の人智未だ幼稚にして北京に於て起つた樣な反外人宗敎敎育の思想は未だ見受けない樣である、彼等は著々地方民の歡心を得經濟的侵入の先鋒隊たる役目を忠實に演じつゝある、又時に排日思想も煽動してゐる、在滿蒙支那人も將來又必ず目覺める時があらうとは考へられるが今暫くは寧ろ彼等の好餌につられる方多しと見なければならない。

昨年(十二年)三月我帝國議會に於て對支文化事業特別會計法の可決確定せられたるに當り此が對抗策として徒らに彼等歐米人の後塵を拜せず共存共榮關係にある日本の地位を顧みて眞に支那の爲めを思ふて策を立てなければならない。

左に滿洲に於ける歐米人の文化事業を擧げて如何に彼等が侵入前提の手を擴げつゝあるかを示さう。(關東軍參謀部調)

奉天省外人文化及社會的施設(其一)　(大正十年十二月盡日調)

國名	地名	宗敎上ノ施設		病院			學校		摘要
		牧師	信徒	員數	醫師	患者	員數	生徒	
	鐵嶺	一	四、五百名	一	三	平均一日約五〇	一	二〇	英人「ターールオールド」主管にして且醫長たり、不振、生徒小見なり

英	法庫門	一	男 一〇五 女 六一	一	二	不明	男 二 女 一	初等 三六 高等 二六 中等 一〇 女學 八〇	基本資五萬元、信徒及有志の寄附になる、成績不振、醫師は支那女醫、女學校は幼稚園及一、二級に分つ
	海龍	二	不明	一	不明	不明	一	八〇	學校は小學程度より中學程度に至る
	奉天	一		二			專 一 小 二	一四〇	醫(專)校生徒五〇、盲啞(小)五〇 基督教學校(小)四〇
	新民府	不明	七、八百名	一	不明	平均一日五〇	小 三 中 一	二〇六 三〇	英本國教會の補助及信徒の喜捨を以て一般經費に充つ
	通化	一	數百名						長老派に屬するもの
國	遼陽	一	一七〇	一	不明	平均一日約三〇	小 一 中 一	一五〇 三〇	
	營口	會堂 一 牧師 一	一、五〇〇	一	支那人一	不明	小 一 中 一	不明	
佛	鐵嶺	伊人 一	不明				一	一二〇	學校は孤兒院にして小學程度、經費は寄附の外營口天主教會より補助を受く
	東豐	一	不明				一	二〇	同右
	西豐						一	二〇	
	奉天	男 一 女 一	一、〇〇〇				小 二	三〇	

國	黑山縣	一				小 一	八〇	
	新民府	一	不明					同右
	永陵	一						
	遼陽	一	一四〇			小 一	八〇	同右
米國	奉天	六	約一、〇〇〇			中 一	一〇〇	文會書院と稱し英米人の敎師あり
						夜 一	四〇〇	基督青年會に屬する獨學校なり、兩者共排日鼓吹の噂あり
丁	蛤蟆塔	一	一五〇			小 一	二、三十名	
						中 一	二、三十名	中學校は農科ありて毎日二、三時間實地敎育を爲す、相當基礎固し
	鳳凰城	一 外に支那人若干	二〇			小 二	男 四二 女 三三	敎會堂を福音堂と稱し石斗城、四台子通遠堡、對家河出張所を設け臨時出張布敎す
	大孤山	一 外に支那人若干	約 四五〇			小 二	男 五〇 女 二五	莊河、青堆子、龍王廟、岫巖、水旗溝に出張所を設け臨時出張布敎す

抹	岫巖	一	三五六	一	外に支那人若干　一	一箇年延約二、五〇〇	二	男四六　女三二	基本金四十五萬圓、岫巖耶蘇敎溝書堂と稱し學校は丹國西山學校、病院は同西山病院と稱す、入院料普通患者は一日四十五錢、此地方は病院なき爲め支那人の信用厚し
	安東	一	一五〇	一	一	不明	一	一〇〇	學校は小學、高等、中學の三部に分つ中學部には農科あり

奉天省外人文化及社會的施設（其二）（大正十年十二月壹日調）

主として長老會に屬するものにして宣敎師區別、病院、學校等の區分不明のもの

敎會堂所在地	會堂數	信徒數	敎會堂所在地	會堂數	信徒數	敎會堂所在地	會堂數	信徒數
復縣	一	一二五	遼陽中	一	七〇六	撫順	一	二四〇
蓋平	一	二四三	同東	一	四二九	懿路	一	二四三
大石橋	一	一一八	同西	一	三四八	三岔子	一	一六〇
營口	一	二一三	奉天西	一	五一〇	鐵嶺	一	三八五
盤山縣	一	一三三	同東	一	七一五	朱家泡	一	九〇
田庄臺	一	六七	同北	一	一二五	達連堡	一	一二九
富家庄	一	二〇五	沙嶺	一	二八八	海城	一	五三六
海西	一	二一九	白塔舖	一	一六〇	八面城	一	一二四

	會堂數	信徒數
西豐縣	一	一五六
永陵	一	一四九
興京	一	四〇
江甸子	一	七三
八家鎭	一	一七二
旺清門	一	一〇〇
道義屯	一	一〇〇
長灘	一	三四七
錦縣	一	六二
興城縣	一	四三一
北鎭縣	一	一四四
閭陽驛	一	一五五
中安堡	一	一七六
黑山鎭	一	四〇八
清河門	一	二八四
開原	一	九四三
梨樹縣	一	三九五
新立屯	一	一七六
小三字子	一	二〇九
金家屯	一	一〇六
朝陽鎭	一	二八〇
山城子	一	一七三
柳河縣	一	一三二
大連	一	
新民縣	一	
盧家屯	一 (盧家屯・大民屯)	七七二
大民屯		
芳山鎭	一	一三七
法庫門	一	七二五 (法庫門・遼源縣)
遼源縣	一	
旅順	一	
大丘山	一	
懷仁縣	一	
寬甸縣	一	

備考

信徒數(判明せるもの) 一五、九〇三　會堂數 五六

支會數 一五一　牧師 外人 一五 支人 一九

長老 外人 九四 支人 七　女教師 外人 一一

女醫師 外人 六

學校	男 初等	六三
	男 高等	一四
	女 初等	四五
	女 高等	一〇
學生	男 初等	一、七八一
	男 高等	三八四
	女 初等	一、三〇六
	女 高等	三七
教員(男女)	初等	一二一
	高等	三七

吉林省外人宗教施設（大正十年十二月盡日調査）

主として長老會に屬するものにして宣教師區別、病院、學校等の區分不明のもの

地名	會堂數	信徒數	地名	會堂數	信徒數	地名	會堂數	信徒數
長春	一	三三〇	琿春縣城	一		明東村	一	三〇〇
伊通	一	五七〇	金塘村	一		大拉子	一	三〇〇
盤石縣	一	四二〇	電線村	一		寧安	一	四五
黑石鎭	一	一一七	頭道溝	一		阿城	一	二七四
楡樹縣	一	八〇〇	烟筒磊子	一		三姓	一	不明
吉林	一		大荒溝	一	七〇〇	新城	一	不明
延吉	一	五五四	中岡子	一		賓縣	一	二二三
敦化	一	八七	南別里	一		呼蘭	一	九六
龍井村	一	五〇〇	闊枝溝	一		三杏	一	一六
土城堡	一	二〇〇	四道溝	一		哈爾賓	一	不明

黒龍江省（齊々哈爾以西東支沿線）外人文化及社會施設（其一）

大正十年十二月盡日調（露國）

所在地	教會 會堂名稱	教會 宗旨別	教會 信者數	學校 名稱	學校 經營者	學校 生徒數	病院 名稱	病院 經營者
安達驛					東支鐵道附屬學校は東支鐵道廳に於て公立學校は市民會に於て經營す		鐵道病院	鐵道病院は東支鐵道廳に於て公立病院は市民會に於て經營す
齊々哈爾	ペトロウロフスカヤ寺院	耶蘇正教	未	東支鐵道附屬學校			同	
	獨太人祈禱所	猶太教		公立學校			公立病院	
富拉爾吉							鐵道病院	
札蘭屯驛	正教寺院	耶蘇正教		東支鐵道附屬學校			同	
免渡河驛				同			同	
博克圖驛	アレキサンドロフスカヤ教會	耶蘇正教		同			同	
				公立學校				
海拉爾驛	プレオブフジエンスカヤ教會	耶蘇正教		東支鐵道附屬學校			同	
	猶太人祈禱所	猶太教聖		公立學校			公立病院	

滿洲里驛	聖セラフキモーフスカヤ正教院	耶蘇正教	詳	東支鐵道附屬學校	鐵道病院
	猶太人祈禱所	猶太教		公立學校	公立病院
札來諾爾驛	ミハイルアルハンゲルスカヤ正教院				
合計	耶蘇正教々會		六	東支鐵道附屬學校 六	鐵道病院 八
	猶太人祈禱所		三	公立學校 四	公立病院 三

備考　本表區域東支鐵道附屬地內に於ける露國人經營以外に外國人經營學校なし。

黑龍江省外人文化及社會施設（其二）（露國を除く）

所在地	經營者	宗旨別	信徒數
齊々哈爾南門外	佛國天主堂	耶蘇正教	六八
同　東門外	英國福音堂	耶蘇新教	一七六
呼蘭　北街	同	同	一二〇
同　西街	佛國天主堂	耶蘇正教	八〇
同　東門	英國福音堂	耶蘇新教	五〇

綏化　西城	同	同	五〇
同　南門	佛國天主堂	耶蘇正教	七〇
同　北門外	英國福音堂	耶蘇新教	四〇
同　東門外	同	同	二七
同　東外隅	佛國天主堂	耶蘇正教	二八
海倫　西城	同	同	八〇
同　三條胡同	英國福音堂	耶蘇新教	六〇
巴彦　二條胡同	同	同	二〇
同　西城	佛國天主堂	耶蘇正教	五〇
蘭西　北門	英國福音堂	耶蘇新教	三〇
同　南城	佛國天主堂	耶蘇正教	七〇
同　西門	英國福音堂	耶蘇新教	四五
同　二條胡同	同	同	八七
餘慶　城東	同	同	五〇
木蘭　城東	佛國天主堂	耶蘇正教	六〇

木蘭西門外	英國福音堂	耶蘇新教	七六
合計	英國福音堂（一三） 佛國天主堂（八）		八三二 六〇六

此處に擧げたる所の統計は少しく陳腐たるの觀がある、尚又各文化事業の內容を詳にしてゐない、然れども滿洲に於ける凡ての外人文化事業を網羅して而も最近の內容を詳細に調査することは甚だ至難の事としなければならない、依つて余は集め得た資料の範圍內に於て割合最近に屬する各地外人文化事業の內容を次に掲げることゝした。

A 營口に於ける外國人文化事業狀況（大正十二年十二月二十日鞍山地方事務所營口外人係調）

病　院（Newchwang Mission Hospital）

一、名　稱　Newchwang Mission Hospital　通稱營口普濟病院

一、所在地　奉天省營口縣營口豐濟門街

一、設立時期設立者及管理　一八九七年 Dr. C. C. Daly の創立せしものにして後同人より愛蘭傳道團（Irish Mission）に之が經營を引繼ぎ爾來引繼ぎ同團に於て經營に[illegible]（Dr. W. Phillips）名譽院長として之を管理せり。

當り來りたるものなり、目下(Dr. W. Phillips)名譽院長として之を管理せり。

一、目的　支那人に對する診療機關にして貧困者に對しては無料診療をなす。

一、一般患者に對する料金

(1) 外來患者　新患者に對しては繃帶並に投藥料として奉票十仙を徵し舊患者に對しては同じく奉票五仙を徵す。

(2) 入院患者

一、入院料	一等	食費一日	奉票三十三仙
	二等	同	同 二十三仙

(3) 手術料

全身痲痺を要する場合	奉票 三元
局部痲痺の場合	奉票 五十仙

料金は凡て奉票小洋を以て單位とす、貧困にして料金支辨の能力なきものは全部無料とす、料金支辨の能力あるものに對しても强制的に料金を徵することなく支拂は患者の任意とせり。

一、入院患者收容力　六十八人(男女を問はず)

一、過去三年間に於ける年額經費

一九二〇年	墨　銀	七千六百三十九弗四十仙
一九二一年	同	七千六百五十弗八十仙
一九二二年	同	七千九百六十二弗五十二仙

一、資金

(1)愛蘭傳道團より補助年額英貨百六十磅
(2)地方所在の外國人及支那人の商社竝に寄附
(3)患者より申受くる診療料寄附金及入院患者より徵する食費

一、一九二二年中の收入及經費

(1)收入の部

愛蘭傳道團補助	墨　銀	二千四百三十一弗三十一仙
醫員旅費	同	六百二弗六十仙
患者診療料	同	千三百九十六弗四十八仙
入院患者食費	同	千七百八十六弗三十三仙
寄附金		

外國側	墨銀	九百八十八弗八十四仙
支那側	同	百五十一弗八仙
爲替差額	同	二百九十五弗十七仙
合　計	同	七千六百五十弗八十一仙

(2) 支出の部

未勘定支拂	墨銀	四百四十四弗九十二仙
醫員其他に對する給料	同	千七百五弗
燃料及電燈料	同	六百三十三弗八仙
建物、器具管理及修繕料	同	六百八十弗八十七仙
醫藥及繃帶材料費	同	八百二弗四十七仙
患者及醫員其他傭員の食料費	同	二千九百五十八弗五十仙
當座借出利息	同	三十二弗二十六仙
爲替差額	同	二百九十五弗四十仙
貸方殘額	同	九十八弗三十一仙
合　料	同	七千六百五十弗八十一仙

一、最近三箇年間に於ける取扱患者數(延人員)

一九二〇年　入院患者　四百二十五名
　　　　　　外來患者　一萬二百六十一名
一九二一年　入院患者　三百八十一名
　　　　　　外來患者　一萬八千九百七十三名
一九二二年　入院患者　五百二十五名
　　　　　　外來患者　一萬六千八百三十名

一、醫員其他雇人
　支那人醫員　一
　同　助手　八
　同　事務員厨夫其他　九
　同　看護婦　一

安立甘會　(Church of England Mission)

一、名稱　St. Nicholas Church(支那名「安立甘會教會」)
一、所在地　營口舊市街豐濟門街

一、沿　革　元來滿洲は朝鮮京城駐在の布敎團の管轄下にありたるものにして當牛莊(營口)に Church of England Mission 支部を設けたるは今を去る三十餘年前のことにして初めて當地に來り布敎に從事せるは Bishop Corfe なりき、コルフエ氏に亞で Rev. Pownall 來任し第三代目として Rev. Doxat 來り現在の敎會の敷地を買求め構內に宣敎師の住宅を建設せるが當時の布敎には敎會の建築なかりしため英國領事館內の Court room を其の目的に使用せりと云ふ。

Rev. Sprent 來任するに及び當地敎會は京城駐在布敎團の手より北京駐在のそれに移管せられ現在の敎會の建設を見たるは今を去る約二十年前のことなり本敎會建築費は一部英本國本部より一部は在滿歐米人の寄附金を以て支辨せりと云ふ。

一、設立の目的　本敎會は全然中國人の敎化を目的とせずして在滿洲歐米人に布敎するを以て目的とす。

宣敎師(英國人)は當地に於て布敎する傍ら日を定めて大連、奉天及哈爾賓に出張し各地在住の歐米人に對し布敎す、要するに在營口の本敎會は歐米人に對する Church of England Mission の滿洲に於ける本部たるなり。

一、現今の主管者　Rev. L. Milliams.

一、出資者　英本國の Church of England Mission 本部

一、現狀　營口に於ける現敎會員は男女合計約四十名(小兒を含まず)每日曜會員を敎會に集めて禮拜を行ふを常とす。

敎會は可成り廣き構内の一部に在り、宣敎師の住宅も整頓す、敎會堂の構造は英國の地方敎會堂その儘の形式にて禮拜堂として頗る古雅、趣味多き建築物なり。

一、敎會附屬事業　附屬事業とまでは稱し難けれ共、在住歐米人子弟に初等敎育を施す、生徒數二十名內外、敎師としては現宣敎師ウイリヤムズ夫妻、其の任に當る但しこは片手間仕事として父兄の依賴に應じて開き居るものにて、正式に小學校と名付くるには餘りに萬事不整頓なり、外に中國人子弟に英語敎授をもなしつゝあり。

(附記)　現任宣敎師ウイリヤムズ氏の語るところに依れば各地に於ける敎會員數左の如し(歐米人のみ)

大　連　約三十名　奉　天　約六十名　哈爾賓　約百名

耶蘇長老會

一、名稱　Irish Presbyterian Mission（耶蘇長老會）

一、所在地

本敎會堂　營口豐濟門街

分會堂　營口（牛莊）に二箇所

（附記）當地敎會の管轄にして營口外にある分會堂は大石橋、蓋平、熊岳城、其他十五箇所にあり。

一、設立　營口布敎事業を創始せるはRev. Hugh Waddellにして彼が滿洲に初めて來任せるは今を去る五十餘年前一八六九年。

一、目的　布敎

一、出資者　營口敎會は資金全部を英本國敎會より仰ぐ、金額は一箇年約五百磅內外なりとのこと。

（附記）Pastor（牧師）は本國敎會よりEvangelist（中國人布敎者）は一部は本國敎會より一部は各地方敎會團員より資金を得るを常とす。

一、現主管者　Rev. Mc Cammon一九二〇年Rev J. Carsonの後任にして來任、昨年（一九二一

二三年)賜暇一年半を得て英國に歸り居たるが本年(一九二三年)十月再び來任敎務を掌りつゝあり。

一、現狀　營口に於ける中國人信者數約二百名(管轄區全部に亙りては一千名以上なりとマックカモン氏は語れり)本敎會管轄區內の中國人布敎師は Pastors 五名、Evangelists 十名にして當地主管者マックカモン氏は第二回公式に管內を巡視する外必要に應じて各地に出張し布敎師の指導を爲す。

一、附屬事業(當營口に於けるもの)

一、病院　一 }(別項參照)
一、小學校　一 }

天主敎會

一、名稱　Roman Catholic Mission (天主堂)

一、所在地　營口舊市街履和門街

一、創立者　F. B. Simon

一、創立年度　一八七三年

一、敎會堂　現在の敎會堂は Bishop choulet の監督の下に一八九八年に起工し一九〇

〇年に完成せり、廣大なる構内に建立せられ壯大を極む。

一、現在主管者 J. D. Daval（五年前來任）外に Sister と稱する佛國尼僧八名。

一、目的 中國人を教化するを目的とし附屬事業として小學堂、孤兒院及養老院を經營す。

一、信者 營口市内に於けるもの約八百名。

天主教小學堂

一、名稱 天主教小學堂。

一、所在地 當地天主教會主管者 J. P. Daval 氏（佛人）住宅の構内。

一、設立 光緒二十五年。

一、組織及目的 中國普通小學校令に依る、中國人男女を教育し且つ普教するを以て目的とす。

一、主管者 J. P. Daval

一、生徒數

男 六〇名 女 四〇名 計 一〇〇名

一、教師

佛人宣教師　一名　中國人　男二名　女一名

一、出資者　天主教會。

孤兒院

一、名稱　營口天主堂育嬰堂。

一、經營　天主教會。

一、孤子數　女兒一三〇。

一、經營　戰前迄は可なりの資金を本國教會本部より仰ぎ維持し來れるも戰後は本國よりの送金少く加ふるに法(フラン)の相場の關係上尠からず資金に缺乏を來し財政困難なる爲め數年來は孤兒の手內職等により辛うじて維持しつゝあり。

一、孤兒の教化　孤兒は幼は二三歲より二十歲頃迄を收容し二十歲前後となれば各々結婚の世話をなし一家を持たしむと云ふ、現在宗教教育を施すと同時に讀書、手藝等の教授をなし孤兒の製作物は之を販賣して維持金の一部となす。

養老院

一、所在地　天主教會堂構內。

一、經營　同教會。

一、現　狀　主として貧窮なる老人、癈疾者を收容し救濟慈善に努む、現在收容者は約三十名。

以上孤兒院及養老院の實際の敎化に當るものは佛國尼僧(所謂 Sisters)にして現在天主敎會堂構內に住居し居るもの八名なり、中にも二名の監督尼僧の如きは四十五年來一日の如く當地に在りて敎化事業に從事しつゝあり。

營口長老會附屬小學堂

一、所　在　營口加太棧街。

一、設立者　Rev. Carson

一、出資者　長老會敎會。

一、設立年　一九一三年。

一、目　的　中國人子弟に初等敎育を施し且つ布敎をなす。

一、程　度　小學校程度。(學科)聖經、國語、作文、習字、歷史、算術、英文、理の八科目。

一、組　織

初等科　四箇年(七、八歲の兒童に入學を許す)

高等科　二箇年(初等科修了生に入學を許す)

一、敎　師
　英國人　校　長　一　名（現任 Rev. Mc Cammon
　中國人　敎　師　三　名
一、生徒數　約八十名。
一、附　記　現任 Rev. Mac Cammon が賜暇歸朝迄は本小學校卒業生を入學せしむべき中學校及女學校を經營せるも其後兩者を閉ぢ今日に及べり、マックカモン氏の語るところに依れば、校舍の設備（現在は頗る不完全なり）を完成せしめ明後年頃より再開する見込なりとのことなり。

B　遼陽の外人社會施設

（大正十二年二月盛京時報所載）

一、英國基督敎會　城內大街の東端に在り、宏莊なる一廓を成す、其附屬事業は病院及學校なり。
（イ）病院　は二部に分ち男子を診療するものを施醫院と稱し女子を治療するものを仁母院と稱す。
施醫院には牧師兼任の英人醫師一人、朋友二三人あり、仁母院には英國女醫

一人、支那婦人助手二三人あり、信徒の患者を治療するは概ね無料にして一般患者に對しては低廉なる實費を徴す、入院患者に對しては食費は徴せず只極めて低廉の藥餌費を徴す、但し之を納むる能はざるものは概ね之を免ず、治療を受くる患者極めて多く毎月五百人を下らずと云ふ。

(ロ)育才小學校　城內三道街に在り男女二部に分ち女子部七十八人、男子部約五十餘人、小學敎育を施し概ね學費を徴さず貧困の生徒を收容するを主旨とす

(ハ)文德中學校　五道街に在り生徒五十餘人、中等敎育を施す、學費年額十元を徴す、職員は牧師四夫婦及女醫一人を主幹と爲し養成せし多數の支那男女を助手となし事業を經營せり、規模頗る宏大なり、其經費若干なるや明瞭ならざるも其事業上より觀察するに一箇年數萬元を下らず、遼陽の社會施設中略々完成せるものと稱するに足る。

二、佛國敎會　城西大廟に在り其宏大なる構內に於て經營する社會施設は左の如し。

(イ)崇正學校　男子の信徒及貧兒を收容して小學敎育より牧師の資格を得るまで敎育す、其經費は一切敎會より支辨す、常に二三十人の生徒ありと云ふ。

(ロ)育嬰堂　扶養するものなき嬰兒及極貧者の嬰兒を收容す、堂內に乳母あり之を哺育し或は外に哺育を託し相當の學齡に達すれば崇正學校に入らしむ、女子は附屬の習藝工場に入らしむ。

(ハ)習藝工場　育嬰堂構內に在り、編物、織物、裁縫等女子に必要なる手工を教授し其製品を販賣し得たる所の利益は維持費に充つ、又其幾分を收容の貧兒に分與す。

(ニ)老人院　世の扶養するものなき老人を收容し男女を分て扶養す、常に四十人乃至五十人內外あり、職員は牧師一人、尼二人を中堅とし崇正學校出身の支那人數人を助手と爲し經營せり、此れ獻身的事業なり、其經費は不明なるも每年四五萬元を下らざるべし。

C　奉天外人文化事業

（大正十二年十二月奉天外人係調）

奉天に於ける外國人文化事業は凡て基督教各團體の經營に係るものにして此の中蘇格蘭長老會(United Free Church of Scotland)及之と他國の基督教團體との共同經營に係るものの大部分を占む、因に蘇格蘭長老會は本部を蘇國エジンバラ市に有し

亞弗利加、印度及支那に文化事業を經營し之が資金は凡て蘇國の有資者の寄附金である、以下に是等團體經營の學校、病院の敎會等を示そう。

一、奉天醫科大學(Mukden Medical College)

經營團體　United Free Church of Scotland と Danish Mission の共同經營なれ共資金は主として前者より出づ。

所在地　奉天大東關小河沿。

設立　千九百三年。

備考　現在生徒數は八十一名、卒業生約七十名、三箇年終了、入學資格は中學卒業生を試驗の上採用す、職員數は外人十二名、中國人六名、校長S. E. Ellerbek博士は六十歲位の蘇格土蘭人にして在職二十年に近しと。

二、盛京醫院(Hens' Hospital)

經營團體　(一)と同じ(一)の附屬醫院。

所在地　(一)と同じ。

設立　千八百八十三年。

備考　一日外患者數平均百四十名位、外來患者の料金として一回每に小洋十錢を徵す。入院患者は一日最小額ー小洋四十錢より最高額三弗六十錢を徵す、職員數は前記醫科大學の

職員以外に中國人醫師五名、中國人看護人(男子)二十七名、外人看護婦三名あり。
院長Dr. W. A. Young博士は蘇格土蘭人にして在職長く支那人間にも勢力ある人。

三、盛京女醫院(Women's Hospital)

經營團體　(一)と同じ。

所在地　(一)と同じ。

設　立　千八百九十七年

備考　患者數は平均一箇年八百名(入院患者)外來患者は一箇年四萬と稱す、料金としては外來患者は小洋十錢を徵し醫藥代は別に徵收せず、手術料として最高額小洋四弗を徵す、職員數は外人二名(婦人)中國人二名(婦人)外人看護婦一名、補助員中國人十二名(婦人)院長Miss Mary Horner女史は蘇格蘭土婦人にして創立當時より今に在職、尙盛京女醫院の附屬經營として產科院(Maternity Home and School)あり產婦及產兒の授託を受け現在八名の捨子を收容す。

四、坤光女學校(Middle and Normal College for Girls)

經營團體　United Free Church of Scotland と Presbyterian Church in Ireland の共同經營。

所在地　(一)と同じ。

設　立　千九百十二年。

備考　現在生徒數は四十八名、五箇年終了、入學資格小學卒業、職員數外人五名(婦人)(此中三名は他

校に兼職)中國人四名、校長Miss D. Rutherford女史は蘇格蘭人にして在職六年溫和なる三十歲位の婦人なり。

五、淑德女學校(Primary School for Girls)

前記坤光女學校の共同經營に係る女子小學校にして生徒數百六十名此中半數は寄宿舍生、他の半數は通學生、職員は外人二名(婦人)中國人七名(婦人)校長は前記Miss Rutherford女史兼任にして同校庭內に校舍を有す、尙此の外に前記坤光女學校の共同經營に係る幼稚園あり、生徒數二十六名を收容し前記二校の校庭內に校舍を有す。

六、重明女學堂(St. Nickolas Industrial School for Blind Girls)

經營團體　(四)と同じ。

所在地　南門外。

備考　盲人女生徒數約五十名、編物を教授し之に依り生徒の自活費に宛てしむ、堂長Miss Madsen女史は蘇格蘭人。

七、文會書院(Manchurian Christian College)

經營團體　United Free Church of Scotland と Presbyterian Church in Ireland との共同經營

所在地　大西邊門外。

設　立　千九百〇二年。

備考　元Mens Arts Collegeと稱したりしが千九百二十年にHigher Middle Schoolを增設し後者は支那政府より公認を得公立學校の資格を有す、前者は元四箇年終了なりしが目下二箇年に短縮したり、今年十二月二十日十名の卒業生を出したる後は千九百二十七年迄休校する筈、後者は三箇年終了にして生徒數百五十名、文學部(Literary Course)及科學部(Scientific Course)の二部に分れ職員數は外人五名、中國人五名(此中二名は支那政府の任命に係る)入學資格は乙種中學校(Junio Middle School)卒業者を試驗の上採用、授業料一箇年三十弗(小洋)生徒は凡て寄宿舍生(自費)にして通學を許さず、卒業生數八十六名、之等卒業生は大抵教員生活(教會學校、青年會、公立學校等)又は稅關、郵務等に採用さる、校長Dr. Daniel T. Robertson氏は蘇格蘭人にして年齡六十歲位支那側に人望あり。

八、基督教神學校(Theological College)

經營團體　(七)と同じ。

設　立　千八百九十八年。

所在地　奉天大西邊門外。

備考　現在生徒數三十六名を有し元四箇年終了なりしが現在六箇年に延長したり、入學資格は二十歲以上、嚴密なる入學試驗を經て採用さる牧師の養成所なり、校長Dr. Fulton氏は愛蘭人にして年齡六十歲位、支那に駐在すること三十九年に及ぶと。

九、基督敎青年會

經營團體 United Free Church of Scotland ト Presbyterian in Church Ireland の共同經營。

所在地　大東關。

備考　米國側代表者 M. J. E. Platt 及蘇格蘭代表者 Mr. Stewart 氏の指導の下に約二百名位の會員を有す。

一〇、基督敎婦人會

經營團體　(九)と同じ。

所在地　大東關。

備考　米國側代表者 Miss Mary E. Streeter 女史及蘇格蘭側代表者 Miss Hotchkis 女史の指導の下に約百名位の會員を有す。

一一、大英聖書會(British and Foreign Bible Society)

經營團體　United Free Church of Scotland と他國の基督敎團體(主として米國)の共同經營。

設　立　千八百九十三年。

備考　上海に本部を有し三十二名の布敎師(Colporteurs)(中國人)を有し以て滿洲内を傳導し且聖書を販賣しつゝあり、主任者 Mr. G. A. Anderson 氏は蘇格蘭人なり。

以上列記せるもの以外に滿洲天主敎敎會 Vicaire Apostoligue de la Manchurie Meridionale あり佛人 Blois 僧正の監督の下に多數の信者を有す。

註　之を要するに奉天に於ける外人文化事業は歷史的に根柢深く且之が經營者は何れも深き宗敎上の信念に立脚して不倦不撓事業を經營し居ることは敬意を値す、只近來財政上苦痛あるらしく見ゆれども此方面に關する調査未決なる爲殘念乍ら玆に報告することが出來ない建築物は何れも堂々たるものにして且事業の性質を考慮して場所を選定したる結果かと思はれるが一二を除いては何れも好適の場所に設けられてある。

近來財政困難の爲め(一)(二)(三)に列記したる學校、病院等を支那側に讓渡せんとする計畫ありとの噂專なり。

D安東領事館管內外人文化事業　（大正十年二月領事館調）

一、丹國病院　安東舊市街靑龍街に在り、丁抹國人チーウォールフ(支那名沈澤溶)經營し基本金約十萬元、當地方に於ける丁抹耶蘇敎と策應して支那人漸化策を採りつゝあるものゝ如く一般患者の他貧困者に對し施療收容に努めつゝあり、建坪約百坪、病室八室を有し一般支那人に歡迎せらる。

二、丹國耶蘇敎會堂　安東縣蛤蟆塘劈柴溝に在り、丁抹國人アヴアース、ポールセン

（支那名包東深）經營し基本金約十萬元、耶蘇敎の布敎を爲し信徒約百五十名内外を有す、附屬事業として三育學校と稱する學校を兼營し小學部、高等小學部、中學部の三部に區分し各部に約二、三十名の生徒を敎育せり、中學部には普通中等敎育の外農科を置き一日二三時間宛農科を敎授し學校所有地にて農家の實修を爲さしむ、建坪は敎會堂校舍を併せ約百五十坪内外ありて相當の基礎を固めつゝあり。

三、福音堂　鳳城縣鳳凰城内に在り、丁抹國人ヘャツ、アユワンツ（氏名判明せず）經營し基本金は不明なるも支那人敎師の謂ふ所に依れば一箇月の經費千圓内外なりと云ふ、耶蘇敎の布敎を目的とし信者約五十名にして每日曜日に說敎禮拜を行ふも普通二十名内外の參集者あるのみなり、此外石頭城、四臺子、通達堡、劉家河に出張所を有し隨時本人又は支那人牧師出張布敎す、附帶事業として敎會學校を兼營し男學部、女學部の二部に區分し男學部は二學級、女學部は三學級制とし初等敎育を敎授す、其敎科目は國語、地理、圖畫、唱歌、體操、手工、習字、算術、聖書（女學部に限る）の九科目とす、現在生徒は男學部一學級三十一名、二學級十一名、女學部一學級十五名、二學級十二名、三學級六名、計七十五名。

四、大孤山耶蘇教禮堂　莊何縣大孤山東園にあり、丁抹國人シーボルイ(支那名柏衞)經營し基本金小洋錢四十五萬圓、耶蘇教の布教を目的とし信者數四百五十二名を有し尙莊河縣青堆子街、鳳城縣龍王袖街、岫巖縣紅旗溝に布教所を置き一箇月一二回宛出張布教し且絕へず支那人巡廻教師を派出して加入を勸誘せしめつつあり、附帶事業として左記二學校を經營す。

(イ)大孤山培英學校　本校は男子の教育を目的とし初等科高等科の兩科に區分し初等科は國語、算術、修身、地理、物理、論說、體操の七科目を、高等科は英語、算術、歷史、地理、圖畫、體操の六科目を教授す、生徒數は各五十名內外とす。

(ロ)大孤山丹國崇正女學校　本科は初等科、高等科、師範科の三科に區分し初等科は國語、算術、修身、地理、圖畫、習字、體操の七科目にして現在生徒數四十八名、高等科は初等科數科目の外女工論說尺牘の十科目にして生徒數五十五名、師範科は西洋史、算術、物理、地理、家政、刺繡の六科を教授し現在生徒數二十九名あり。

五、岫巖耶蘇教講書堂　岫巖縣岫巖西山に在り丁抹國人オー、オレセレ(支那名吳東信)經營し基本金小洋錢三十五萬元なり、耶蘇教の布教を目的とし信者數三百五十六名にして別に地方に布教所を有せざるも絕へず支那巡回教師を巡回せし

め信徒の勸誘に努力しつゝあり、附帶事業として左記學校及病院を經營す。

（イ）岫巖丹國西山學校　本校に男子部及女子部の區分あり共に初等教育を授く男子部教科目は國語、算術、修身、地理、物理、論說、習字、體操の八科目にして生徒數四十四名、女子部教科目は國語、算術、修身、地理、圖書、習字の六科目にして現在生徒數三十二名とす

（ロ）岫巖丹國西山病院　同醫員は米國人醫師（氏名判明せず）を雇傭し他は悉く支那人にして藥局員三名、事務員四名、看護婦五名、雜役七名、炊事夫三名にして患者の入院料は醫藥料食費を合し一日小洋四十五錢にして萬一豫算經費に不足を生じたる場合は地方有志の寄附に依り補充す、一箇年の治療患者數一千五百名內外に達し當地方に於ける唯一の醫療機關なり。

E　在鐵嶺領事館內に於ける外國人各種文化事業調査

一、鐵嶺縣內

（イ）鐵嶺英國基督教施醫院　本醫院は英國長老會基督教の附屬事業にて英國教會本部より受くる年額約五千圓の維持費（教會の維持費を含む）と信者八百よ

りの年額約一千二百圓の寄附金と同醫院の雜收入とに依り經營し居れり。
經營者袁阿樂（英國人）は牧師にして醫師を兼ね支那人醫師一名を雇入れ專ら同醫師をして診療せしめ居り技倆良好ならざるを以て同院の診療を受くるものは療養費を有せざる貧民中の感冒、腹痛患者等の一時的簡單なる患者のみなり。
本醫院は初診料二錢、入院患者は食費として一日四十錢にして他は一切無料なり。
最近の成績左の通り。

大正九年	施療延人員	約一千五百人
大正十年	同	約一千八百人
大正十一年	同	約一千八百人

(ロ) 鐵嶺佛國天主敎孤兒收容所　本收容所は佛國天主敎鐵嶺敎會所の附屬事業として佛國本部より年額約七千圓の維持費を受け一般支那人女孤兒を收容し普通學及裁縫を敎授し信者中の貧民の男子にして學資なきものを收容し普通學を敎授す。

最近三年間に於ける收容人員左の通。

大正九年	男子	十名
大正九年	女子	七十名
大正十年	男子	十八名
大正十年	女子	九十名
大正十一年	男子	二十名
大正十一年	女子	九十八名

二、開原縣内

(イ)基督敎附屬病院　本病院は英國人經營に係り其擔任醫師たりし女醫馬氏(支那名)大正九年十二月歸國し後任未決なりし爲閉鎖中の處最近其の後任としてゼンミャックエエンなる者決定の趣なるも未だ着任開業せず。

(ロ)基督敎附屬學校　英國人經營に係り男女二部に分れ普通敎育を施し現在在籍生徒七十九名あり、支那人間に相當信用を得年々入學希望者增加の傾向あり。

維持經營は主として基督敎會に於て行ふ。

三、法庫縣内

(イ)英人經營基督敎附屬病院　本病院は大正九年英人專屬醫師死亡後病院經營を中絶せり、右は大正十年支那側に於て衞生病院なる施療醫院を經營することゝなりしに因るなるべし。

(ロ)基督敎中學校　本中學校は現在英人牧師倪斐德の經營する所なり、本校は明治四十年四月英人宣敎師オーネンが附近官民よりの義捐並に該敎會の補助に依りて創立したるものなり。同校の事業は逐年健實に發展しつゝあるも最近兩三年間の狀況は殆ど變化なし。

維持經營の情態左の通り。

收入	小洋　七千九百元	
内譯	小洋　一千二百元	基本金五千元に對する收入
	小洋　一千三百元	各種の義捐金
	小洋　五千四百元	授業料及寄宿舍費其他食費の收入
支出	小洋　六千四百元	

內譯 小洋一千五百元 教員傭人の俸給手當
同 四千八百元 營繕、備品、雜支出等の維持經營費
差引殘 小洋一千五百元 基本積立金に繰入
現在教員數 三 名(支那人)
現在生徒數 八十二名(支那人)
學費 初等科 一箇月 五 元
高等科 同 六 元
中等科 同 十二元

(八)基督敎青年會 本會は大正十一年二月現住英人牧師倪斐德が當時官民と共に設置せるものにて創立日尚淺きも昨年度の成績左の如し。

一、通俗講演會 十六回
一、蠅驅除宣傳 二 回
一、名士講演 四 回
一、夜學校(英語) 二 回
一、貧民學校開設

一、運動會　一回

一、遊藝場設置

本會の維持費は全部官民の義捐金に依る外財源なきを以て一般に倦みたるが如き傾向あり。

大正十一年度收支左の通り。

總收入　小洋　四千四百九十五元九十四錢

總支出　同　四千二百八十八元六十五錢

(ニ)基督敎女學校　本校は大正三年三月當時の英人宣敎師オーネルが信徒有志の寄附に依り設立したるものなるも事業何等見るべきものなし。

總收支左の如し、

一、二千〇六十四元　授業料其他收入

一、一千九百元　俸給其他支出

敎員生徒數

敎員　二人(支那人)

生徒　四十三人(支那人)

(ホ)基督敎國民學校　本校は大正三年三月開校したるものにて前記女學校の豫

科敎育機關なり現在敎員二名、生徒三十六名あり。

(ヘ)基督幼稚園　本年三月現在英人牧師の創立したるものにて收容兒童は信者中の貧民小兒を養育す、維持費は基督敎各種學校の基本財產より生ずる利益を以て之に充つ。

(ト)基督敎貧民學校　本校は本年三月現住英人牧師の創立したるものにて信徒中の貧困者を收容し學費を徵收せず、文房具、消耗品一切を給與す、現在收容人員十三名。

F長春外人文化事業（大正十二年一月九日長春憲兵分隊調）

一、基督敎會(北門外)　宣敎師英國人ゴルドン氏管理し外に英國宣敎師二名ありて布敎に頗る熱心にして信者約二百名を有し附屬事業として醫院(公益醫院?)及神學校を經營し一般支那官民に寄附を仰ぎて設立したるものにして宣敎師ゴルドン醫師を兼ね外に支那醫二名を傭ひ支那官民に施療を爲し其患者數一箇年に約一千名以上に達すと、神學校には目下支那人生徒五十名あり、尙外に支那細民の兒童に小學程度の敎育を爲しつゝあり。

二、仁慈堂(城内東三道街)佛宣教師ラベシェル氏管理し外に佛宣教師兼醫師一名あり、目下信徒百名を有し附屬事業として支那人に夜間佛語を教授し又醫院を開設して信徒及貧民に施療しあり。

三、天主堂(城内)佛國宣教師ケラアマーユ管理し外に佛國女宣教師一名あり、專ら支那婦人に對し天主教を布教し佛語を教ゆ、又幼稚園を設け目下米佛人五名、露人三名、支那人三十名を教養しつゝあり。

四、長春復安息會(外門外西四馬路)米國宣教師エンバイ管理し目下支那人信徒數約七十名あり、附屬事業として高等小學程度の學校を設け支那人生徒五十名を收容して普通學を教育し上海安息大會にて發刊する雜誌「時兆月報」を信徒に配布する等極力布教に努めつゝあり。

五、長春基督教青年會　本會は大正七年中吉長鹽務權運局顧問にして同局稽核處長として會計監督たりしパルマー氏の發起に依り吉長道尹鎭守使を初め多數の地方有力者の賛同寄附の下に創立し夜間は青年に英語を教授し一時盛大なりしがパルマー氏個人に對する信用失墜以來不振となりパルマー氏が大正十年八月本國へ歸國後は自然消滅し會員は英國宣教師ゴールドン氏の經營する

青年會に加入せり。

G　吉林外人文化事業

英國

長老敎會　一　（信徒數約七〇〇名）

病院　一　（高太夫の經營に係る）

佛國

加特力敎會　二　（信徒約四百名）

福音堂　一

小學校　一　（神羅學校と稱し支那人兒童多からず）

米國

基督安息會　一

中學校　一　（支那人學生を敎導し敎師又支那人なるも上海米國人系に屬するを以て米人系と異らず）

佛加特力敎會、吉黑兩省天主敎の如きは來住二十餘年を經多數の土地家屋を得彼等の爲す所我邦人の意想外に出づること稀ならず。

英人經營に係る長老敎會又前者に劣らざるものあり、卽ち醫院を開設して男醫院と女醫院に別ち貧困者には無料にて診療し又機を見て財を投じ以て其施療に從事する等遠く日本側の及ばざる所とす、今回露國避難民救濟に關しては彼等主唱となり救濟方法につき支那當局と議する所ありしと聞く。

要するに彼等は吉林に在る三十年に近く地理に通じ支那語に巧みにして克く支那國民性の長短を解するを以て反感を招かず、極めて好評を博し高太夫と稱すれば多くの人の知る所とす、其他宣敎師として米人一、丁抹一、諾威一あるも唯米人宣敎師マキールは基督青年會幹事として徐廷霖が省長たりし當時各種利權獲得に努めたりとの噂ありしが後任として北京より來任せし宣敎師フウラーは專ら青年會の擴張に努め官民紳士竝びに學生の會員多きを加へ各機關とも連絡ありて學生を煽動して排日運動を行はしめたることあり。

H　哈爾賓に於ける外人文化事業　（大正十一年七月盡日滿洲特務機關調參照）

一、米國青年會の活動（哈爾賓）　米國青年會の北滿及西伯利に於ける活動は出兵前特に俘虜（獨墺等）の救濟に從事するを以てその步を初めた、然るに大正七年に至

り資金消盡せしを以て之を中止するの已むなきに至つたが共同出兵後は露國青年會(市青年會と稱す)及軍隊慰問部の二事業に活動範圍を縮少し特に自國軍隊慰問に全力を傾注することゝなつた。

哈爾賓青年會は卽ち此處に端を發するものにして大正八年十一月哈市駐屯米國兵の沿海州方面移動後は軍隊慰問部を停止し專ら市青年會に全力を傾注することゝなり一敎育部、二宗敎部、三體育部に分つて活動を初めたのである。

該青年會の目的につきては當時の主席幹事ホフマン氏をして次の如く說明せしめてゐる。

「吾人米國人が遙々此處に來りて努力する所以のものは他に何等目的野心の存するものにあらず人道上露國民を此の悲境より救援するにあり元來露國民は敎育無し、從て一定の思想を缺き輕信的にして事物を理解するの能力なし、素より今日の慘狀を呈するに至れるは他に諸種の原因あるべきも其主因は一般露國民の無敎育に歸す、過激主義の馬鹿らしきことは玆に說明するの要なきも徒らに彼等に金錢物資を供給するは不可なるのみならず却て懶怠ならしむる憂あり、勿論物質的援助も必要ならむ、然れども全國民の八十五

パーセントが無教育なるが故に現在の儘にては到底策の施すべきなく、依つて吾人米國人は露國民を眞に救濟するの一手段として彼等を教育するを第一義とせり、卽ち彼等に露語は勿論英語の知識を授けアングロ、サクソンの民主主義なるものを了解せしむるにあり、武力を以てしては到底救濟の方法なきを以て米兵を總て撤退し此方法を執るを上策とせり、前述の如く露國民の八十五パーセントは無教育者なるを以て今彼等全部を教育することは不可能事に屬す、故に露國青少年を教育し有用なる人物を造るを最も有效方法と考ふ、蓋し彼等青少年は今日社會に對し無力なるが如きも彼等は恰も樹木を栽培するに等しく五年十年後には一大森林卽ち露國社會の中堅を構成し政治社會其他に有力なるものに成るべきが故に玆に彼等の思想が具體化して今日吾人の持せる眞正の民主主義(米國主義?)は露國に行はれ露國は純然たる民主國となり其國は始めて文明の恩澤に浴するに至るべし云々。

扨彼等の米國人の人道義はおきまり文句である、その眞意は此の說明の言葉の上に於ても窺へる如く露國青少年を教育して米系の人物を養生するにある卽ち上海あたりに於て新進實業家たる穆藕初、余日章等が曾て米國教育を受け

今日米國の爲め大いに價しつゝある前例に鑑み人道主義と云ふ美名にかくれて將來の經濟的發展を企劃しつゝあるは蓋し想像し得られる所である。

彼等が露國人米化主義の具體化として該會に於て教養せし露國學生に多大の便宜を與へつゝあることは最も吾人の注意を要する點である、卽ち今日迄哈市より渡米せしめたる露人留學生の數は旣に四回に亙り百數十名に達し米國にては此等學生に奬學費を與へ且つ一箇月十弗乃至二十弗の低廉なる費用にて寄宿せしむる設備をなし橫濱及布哇の青年會にては殆ど無料宿泊せしむる歡待振である、殊に桑港に著するや加洲大學青年會幹事は移民局と充分なる諒解を遂げ彼等の上陸を容易ならしむ、其シャトルに上陸するも亦同前なり、其注意至れり盡せりと云ふべく將來更に留學生派遣準備中なりと云ふ、之れホフマン氏が大正八年末に述べたる如く米國式人物卽ち露人を米化せしむるに著々實行しつゝあるものと云ふことが出來る。

當青年會は普通青年會に對する外更に露國避難民救濟事業に關連して避難民兒童を收容し之が給養及教育をもなしつゝある、尙附屬事業として基督教說教會を毎日曜日に開催し英米露人の來會者約三十名なりと。

二、來世の福音傳道會(哈爾賓)　本傳道會は本部を米國に其極東本部を支那上海に置く、基督の再來を信仰し大に共產主義に傾けるものゝ如し、哈市に於ては新市街及埠頭區二箇所に傳道館(數萬圓を投ぜるもの)を設け露國ヴクライナ人バビエンコ之が長にして每週三回彼等は露語を以て說敎す、來會者はウイライナ及露國人中下層階級者多數を占め目下三百餘名の信者を有してゐる、斯く多數下層階級の來會者あるは物質的援助を與へつゝあるに依るものゝ如くである。

第七章　滿洲に於ける邦商の現狀

滿洲に於ける我國の經濟勢力は日露戰後南滿洲鐵道の經營と其他幾多の經濟施設とにより南滿に於ては殆ど他の侵し得べからざる程の勢力を扶植し次いで歐洲大戰及露國政變によりその經濟勢力は北滿にも著しく伸張することゝなつた。然れども此の今日滿洲に覇を唱へつゝある我經濟勢力なるものは其基礎たる果して堅實にして拔くべからざるものなるや否や、吾人は甚だ疑はざるを得ない。

滿洲に於ける我經濟勢力を檢覆するに或は連山灣問題あり或は滿蒙四鐵道問題あり或は濱黑鐵道問題あり或は東支南滿兩鐵道運賃問題(北滿貨物東南行問題)あり其他研究すべき問題少からざれども此處には只商業方面卽ち本邦商品及本邦商人の發展概況を述ぶるに止む。

第一節　本邦商品の現狀

今本邦商品の現狀を見るに南滿は勿論北滿に於ても今日猶其數に於て列國商品の第一位にあるが、そは日本品が頗る廉價なると露支人の懷具合が裕ならざるその爲め品は惡いが已むを得ないと云ふ事情に依るものである。

先きにも述べた所であるが日本品には何等の特徴を有しない、只廉價なる下級品を提供し(價格相應以下に品質は劣るかも知れない)それが露支人の文化程度低く懷具合の乏しい事情に適應すると云ふ點をのみ强味とする、日本品が常に粗惡品なりとの非難を受けながらも猶第一位の販路を有するは之が爲めに外ならない。

然れども日本商品は現在下級品に於ては支那製品に刻々壓迫せられつゝあり高級品に於ては歐米品に及びもつかないと云ふ甚だ杞憂すべき窮境にある、文化の程度低く工業も未だ大なる發展を見ない今日の滿洲に於ては猶日本品の存在し得る餘裕を有し南支那の如くではないが滿洲にも將來低級の工業が益々勃興せんとする氣運にあることは衆目の認むる所にして支那本部の工業の發展と相俟つて今後日本品の一大恐威たることは明かなる所である

今日本よりの最も主要なる輸入品綿糸布につきて日本品支那品及日本以外の外國品に分ち大正元年より同十年に至る滿洲輸入狀況(大連、營口、安東の輸入合計)を見るも這般の事情は既に具體的に現はれてゐる。

1、綿糸

（海關統計單位擔）

	日本品	支那品	日本以外外國品	計
大正元年	七〇、五〇九	三、五四二	五九、七〇〇	一三三、七五一
大正二年	七七、四六七	五、三九九	五五、六三七	一三八、五〇三
大正三年	一二二、二八五	七、一七九	三九、九五二	一六九、四一六
大正四年	九七、六六八	二〇、六一六	三二、三三八	一五〇、六二二
大正五年	一〇八、一八五	一三、六八七	三三、三八一	一五五、二五三
大正六年	一二〇、〇二五	二〇、五二三	一三、四九六	一五四、〇四四
大正七年	九五、二六二	五〇、五六八	一六、一八四	一六二、〇一四
大正八年	九七、七五七	一一四、五五五	三〇、七八六	二四三、〇九八
大正九年	一一〇、五三五	六七、三四〇	二七、二四七	二〇五、一二二
大正十年	一四四、一五五	八〇、一二四	二二、三五三	二四六、六三二

2、綿布。

(イ) 生金巾

	米國品	英國品	日本品	支那品	不明	計
大正元年	一六一、五五二	一四三、〇四三	二九、六二四	四四〇	二七、八九五	三六二、五四四
大正二年	一七七、九三五	一一一、一三三	七六、一五二	四三	一〇一、二三一	四六六、四九四
大正三年	六〇、一〇一	七四、〇一三	六九、二二六	七、六七〇	九二、三四八	三〇三、三五八
大正四年	四九、七七五	七五、八四五	二六、一一四	二八二	九、四四七	一六一、四六三
大正五年	八、九四四	五三、七五〇	一二四、五八八	七〇二	—	一八七、九八四
大正六年	一、〇五五	四一、一三三	二三五、二三〇	五、一五三	—	二八二、五七一
大正七年	一一〇	三〇、四九一	二二三、九九七	一三、三〇〇	—	二六六、九〇八
大正八年	一、四一〇	二八、四二二	四四〇、三〇四	一三、〇〇二	—	四八三、一三八
大正九年	三六〇	六、八四三	四九三、一六三	八、八四〇	—	五〇九、二〇六
大正十年	三、〇六八	三六、六七四	四四〇、七二八	九、四八〇	—	四八九、九五〇

（ロ）組布

米國品	三七八、八六五	二九九、九二九	一八六、八四〇	一二六、〇三一	一五一、六二九	六五、四七九	二四、一八四	五八、三七一	一、九一七	六三、五四九
英國品	一〇、三四九	三三、七〇五	三〇、〇〇一	二〇、〇四八	一五、二六三	八、七〇六	六五三	二、一一八	一、八一三	三、五九八
日本品	九三五、七七一	二、〇〇六、〇一一	三、三三七、二九二	一、〇〇九、〇四八	七五二、五二六	八〇二、〇〇三	八一五、六〇五	八七九、七三三	九一八、一三一	五九五、三六四
支那品	一七九、六三八	一四一、七八六	七六、六二一	二一七、五四三	一九五、四一六	一八九、八八七	二五三、〇八二	三一七、四六七	四八四、六七四	五九七、八一二
不明	九、六四三	八、七六四	二九、四八七	九、八六九	—	—	—	—	—	—
計	一、五一四、二六六	二、四七九、一九五	三、五五〇、二四一	一、三八二、五三九	一、一一四、八三三	一、〇六六、〇七四	一、〇九三、五三三	一、二五七、六七八	一、四〇六、五二四	一、二六八、三三三

（ハ）晒金巾

米國品	五〇	三〇七、七三一	二五〇	—	—	—	—	—	—	—
英國品	二三五、〇三九	—	二六三、〇三九	七九、九〇四	八四、〇八九	九七、二〇〇	四三、六八二	五三、〇八八	四二、六二四	五一、六〇三
日本品	二九、二五五	四二、二八〇	三九、四一〇	七、四七六	三、五四二	二一、一四七	八二、九一五	一七一、四二九	一四二、九六〇	八四、二六二
支那品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
不明	一五、〇二四	一七、三三五	一四、二七〇	一三七、四四八	一二二、二六七	一四九、三七九	一二九、三六五	一五三、〇二九	一、七九八	—
計	二七九、三六八	三六七、三四六	三一六、九六九	二二四、八二八	二〇九、八九八	二六七、七二六	二五五、九六二	三七七、五四六	一八七、三八二	一三五、八六五

（ニ）綾木綿

	米國品	英國品	日本品	支那品	不明	計
	一四二、三五五	三、五三六	二〇一、七〇六	一六、一五三	九、九五八	三七三、七〇八
	八四、〇〇一	三、九八一	三七五、六五九	一八、七三五	一五、一六七	四九七、五四三
	六三、六九三	三、二七六	四三四、四五五	八、七八二	九、八九六	五二〇、一〇二
	二四三、二八一	二、八二九	三九九、六一〇	九〇、一三〇	—	七三五、八五〇
	四八、一一三	一、〇六七	三二七、四〇九	六三、一八六	—	四三九、七七五
	三、五七〇	一、二五五	二七九、〇九八	六四、四六〇	—	三四八、三八三
	六〇	一、〇二一	二九四、二八五	九五、五九二	—	三九〇、九五八
	一二、八四〇	二四八	四五九、六〇七	二七、九三二	—	五〇〇、六二七
	—	一四七	二二三、一六九	六三、七六七	—	二八七、〇八三
	九、五七四	三一五	二三九、四一四	六七、六五八	—	三一六、九六一

（ホ）細綾木綿

	米國品	英國品	日本品	支那品	不明	計
	六二〇	四五二、二二四	六、〇五〇	—	二、六六二	四六一、五五六
	四、三六八	四二二、九〇二	四八、七九五	—	一二、二九〇	四八八、三五五
	三四〇	三五九、七七八	一五二、一一八	—	一三、三四三	五二五、五七九
	—	二九〇、一九八	二四三、七八一	—	一、四三〇	五三五、四〇九
	—	一二九、四二四	四一七、〇八二	—	—	五四六、五〇六
	三二〇	八五、四一七	四八〇、六八三	—	—	五六六、四二〇
	二、四四〇	四九、七四五	六八三、五九三	一、〇七〇	—	七三六、八四八
	七〇〇	七一、九六一	八五八、一八四	一二、二一八	—	九四三、〇六三
	二四〇	一三、三〇八	五九三、一七一	一、一二〇	一五、二六一	六二三、一〇〇
	六八〇	八〇、〇三〇	六五八、七九九	—	—	七三九、五〇九

（ヘ）天竺布

米國品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
英國品	四、七八七	四、一三三	四、九六六	三、六三四	二、四七七	二五〇	六、三三六	二、一六〇	二、三〇五	七、四二〇
日本品	三一、〇〇二	三四、四八一	三、三九九	一四、九五六	二八、八八五	四一、二〇六	三三、八三五	五八、八九〇	五二、四七八	三三〇
支那品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
不明	—	—	—	六八〇	八三〇	一、〇五〇	四、一六〇	一、八六〇	七五〇	—
計	三五、七八九	三八、六一四	八、三六五	一九、二七〇	三二、一九二	四二、五〇六	四四、三三一	六二、九一〇	五五、五三三	七、七五〇

（ト）大尺布

米國品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
英國品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
日本品	二、五二五、三〇七	三、一四三、三八五	一、三三七、九六一	四、三三七、二二三	一、四六五、九七四	一、七六一、七一九	一、五三二、三六五	二、一四八、九一二	一、二〇四、一三〇	一、四五三、六八二
支那品	一、三九九、八六七	四、二五八、六七六	四、〇五一、一六二	九〇八、三三三	七三、五九二	二五九、六九六	一四一、九二四	一八二、〇八九	三二、〇七三	二四、九三二
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	三、九二五、一七四	七、四〇二、〇六一	五、三八九、一二三	五、二四五、五五六	一、五三四、五六六	二、〇二一、四一五	一、六七四、二八九	二、三三一、〇〇一	一、二三六、二〇三	一、四七八、六一四

右の諸統計によりて明かなるが如く日本以外の外國品は年々衰頽一方にして日本品は増加しつゝあるもより以上のパーセンテージを以て支那品は増加しつつある、以て如何に支那製品が急激に發展しつゝあるかを窺ふに足るであらう。之れ支那が今日未だ文化程度低く高級技術者少くして下級勞働者多く從つて勞銀頗る低廉なるが爲め下級品の製造に最も好都合なる條件を有するに依るものである、然るに一方日本は敎育の普及と共に文化程度高まり高級技術者の增加を見勞銀も高上し且つ資本も增加して下級品の製造に不利となり或る程度まで高級品の製造を利益とする狀態になつた、故に今後は過去に於て日本が演じた役目を支那が爲すべき運命に在るのである、然るにも係はらず日本がいつまでも下級品の製造に甘んじ支那と競爭せんとする時は勝算の見込なき又自明の理であ
る、かくて日本は今後常に支那品に一步を先んじ高級品の製造に向はなければならない、然るに日本に於て今日未だ此の理を明かに自覺せるもの甚だ少く而も尙目先の利を追ふに急にして粗製亂造品を提供し常に惡評を受けつゝある現狀に在るは甚だ遺憾とする所である、歐米列國品が旣に遠く下級品を以ては極東に於て日本或は支那と爭ふ能はざるを覺り高級品を以つて發展しつゝあるは彼等の

瞞眼なる寧ろ敬服に値する、

他方高級品に於て日本品は今日歐米品に仲々及びもつかない是れ彼等が日本より文化程度高く技術的に著しく進步し高級品の製造が割合に勞銀の低廉なるに依るものである、かくて日本品は下級品に於て支那製品に壓迫せらるゝと同時に他面高級品に於ても亦歐米品の爲めにその進路を塞がるゝの感がある。

然れども日本には又特別の進路がなければならない、卽ち日本は支那と地理的及人種的に密接なる關係を有し其の風俗習慣、趣味嗜好を理解し易き地位に在る、且つ文化程度も歐米諸國ほど支那と隔絕してゐない、故に高級品の製造にも眞に支那人に適するものを製造することを得べく尙かくて支那人の文化を指導開發すべき使命を有する譯である、故に日本が眞に此の使命を自任し益々工業技術を練り資本を集中し商業機關を完備して常に支那に一步を先んじ歐米列國の追從を許さざる獨特の高級品を提供するに努めたならば歐米品必ずしも怖るるに足らないのである。

然れども今日までの日本品は殘念ながら徒らに歐米品の模倣時には贋造に忙しくして全く日本品の進むべき路を知らないものゝ如くである。

滿洲に於て今日猶日本品が數に於て第一位に在るに甘んじ其の頗る危險なる地盤の上に立ちつゝあるを顧みず現狀を以て進むに於ては將來日本品は自滅するの已むなきに至るであらう、而も商人と云ふものは自己の商品が販路を有する限り殊に第一位の賣行にありて利得を擧げつゝある間は現狀に甘んじて仲々自省しない、之れ甚だ杞憂すべき點である、然れども他日日本品の自滅する時に遭遇し覆水の盆たる悔を味はざらんと欲すれば日本品が未だ第一位の賣行にある今日に於て旣に猛省邦商品の改造に努力しなければならない。

第二節　本邦商人の現狀

日本商品の現狀は以上述べた如くである、次に日本商人の活動狀況を見るも亦甚だ面白からざる事情に在る。

支那本部に於てもそうであるが殊に滿洲に於てはその居住外人中日本人は絕對多數を占めてゐる(但し北滿に於ては露西亞人が絕對多數であるがそは我競爭者に非ずして寧ろ支那人と等しく需要者顧客である)然れども此の數に於ける絕對多數は直ちに以て吾が商業勢力の優越を示すものではない、商人の上より見たる商業勢力の絕對優越は數と質とに於ける優越が必要である、悲しいかな滿洲に

於ける日本人は徒らに數多くして質之に伴はない。

滿洲が日本と近距離にあると、滿洲に於ける日本勢力の絕大なると更に日露戰爭當時滿洲は嚴寒の荒野なりと照介せられたるとは過去に於て日本人をしてその優良分子の渡滿を欲せしめず所謂「喰ひつぶし」といふ資本は勿論何等の自覺も自信も有せざる劣惡分子の只濡手で粟を夢みブラリと滿洲に流れ來るものを頗る多からしめた、かくて在滿邦商なるものは滿洲に於げる日本の地位を克く自覺し積極的に働きつゝあるもの甚だ稀にして一攫千金を夢みるものに非ざれば共食の悲劇を演じつゝあるものである。

時々在滿邦商人間に起る滿鐵消費組合撤廢運動は何を物語るか、之れ邦商人が少數の在滿邦人を唯一の顧客として生活しつゝある意氣地なさを暴露せるものに外ならない、彼等は支那人の內部に喰入ることを知らないのである。

在滿邦商も儲けたいとは常に望んでゐる、然し努力することを知らない、彼等の儲けることゝ云ふのは勞せずして儲けることを意味する、卽ち日頃何等の努力なく素地をつくらずして棚から牡丹餅の落ち來るを待ち受けてゐる、過去に於ては所謂シロ、クロ（モヒ、アヘン）の密輸入に依つて一時的成金を生せしめた、現在に於てもシ

ロ、クロ或は銃器の密輸入が行はれないとは斷言し得ない、他の外國人にも之を爲すものがないではない、或る人は云ふ「現在他の外國人だつてやつてゐるのだから日本人も大いにやつて儲けたらいい」と、然れども斯る過去の夢を追ひ而のみならず人道的にも外交的にも相反した行爲を爲すことは只にその行爲自身が惡事であるのみならず之が爲め人をして不勞一攫千金の念を抱かしめ勤勉力行確固たる商業地盤建設に努めしめないといふ大弊害を生ずるものである、一時的目先の利得のみを見て日本全般的永久の大利益を知らない彼等は憐れといはずして何ぞや。

更に在滿邦人は日本國の威を借て支那人を侮蔑すること甚だしく他面關東廳或は滿鐵の保護援助に依賴するの念あまりに强すぎる支那人をして親日せしめず確固たる邦商の發展を見ないのも亦當然といはなければならない。

然るに在滿(在支)外國人は殆ど選ばれたる者のみである、卽ち彼等は相當の資本と自覺と自信とを以て遠き本國より眞に對滿活躍を目指して來たものである、彼は假令數に於て少なりと雖も實力に於て大である、而のみならず彼等は相互に克く一致協力して外に當る、且つ彼等が支那と異文異種族にしてその國情を容易に

理解し難きことは同文同種の日本人よりもより熱心に之が研究に沒頭せしめる質に於て著しく劣り而も尙團結力の乏しい日本人が如何に數に於て大なりとも彼等外人と太刀打ちの出來ないことは又當然である、只に邦商人は外國人と太刀打し得ざるのみならず今日に於ては相當商業智識も增進し商賣そのものを生命として決して勞力を惜まない支那人の爲めにその地盤を日一日と年一年と蠶蝕せられつゝある而も邦商人は未だ猶醒めない、在滿邦商人が斯の如きのみならず日本內地に在る商人達も自ら滿洲に出掛けて來て露支人の趣味嗜好を研究し之に適するものを製造して送り出すと云ふが如き對滿商業に熱心なるは甚だ稀である哈爾賓の商品陳列館あたりより有望なる商品を內地に紹介するも彼等は斯る品は持ち合せずとか或は製造し得ずとして多く斷り來り一顧だにしない、外商がその第一線(滿洲)にも相當の人物を置きて販路の擴張に盡力せしめつゝあるを思ふ時遺感の念に堪へないではないか。

日本商人の消極的退嬰的なること實に斯の如し、且つ又少し田舍地方に於て日本人の居住するものは娘子軍、質屋、藥屋等にして日本の面汚したるものか或は餘り思はしからざる商賣である、英米煙公司、スタンダート石油會社が如何なる地方

にも目覺しき活躍をなしつゝあるを惟ふ時其間如何なる感ありや。

更に日本商人が時に商業不道法を敢てするに於ては殆ど沙汰の限りである、日本有數の某大商人さへ曾ては罐詰の中に砂を混じ或は消毒せざる脱脂綿を送る等の不德義をしたることありと聞く。

斯くて邦人の外商對策として余は先づ以て日本商人の一大自覺と改良を叫ばなければならない。

第八章　邦商の對外商滿洲發展策

本章は前章の延長である、然れども余は之を以て凡ての結論にかへんとする。邦商の對外商滿洲發展策としては更に金融問題あり或は取引所問題あり其他尙論求すべきもの少からざれどもこゝには只狹義に於ける商業の立脚點に立ちて特に余の注目を引きたる根本方策のみを述ぶるに止む。

一、商人の自覺と商品の改造

在滿本邦商人及商品の現狀は前章に於て述べた如くである而してゆきつまれる邦商の現狀を展開するには先づ以て邦商人の猛省と邦商品の改造とを必要とすることは既に述べた所である。

邦商人は從來の消極的退嬰的舊套を脫して商業道法を重んじ親切を旨とし堅實なる信用を獲得するに努むるは勿論露支人を顧客として協力一致我商勢の擴張に突進しなければならない、然らざれば我商人は遠からずして支那商人及外國商人の爲めに驅逐せらるゝの悲運に遭遇するであらう、かくて邦商人の自覺を促すと共に他方不堅實なる在滿商店會社は決して之を外部より援助するが如きことなく寧ろ自滅せしめるの策に出づることを必要とする。

即ち在滿邦商人に對しその優良分子の自省を促し不良分子の自滅を計ると共に他方日本內地より人才の吸引に努め以て在滿邦人の改良を計るは目下の急務である。

邦商品の改造は前章に於ても述べし如く要するに日本獨特の商品を造るに在る、卽ち資本の集中と技術の熟練とに依り品質の向上と價格の低廉とを計ることとは勿論露支人の風俗習慣趣味嗜好を克く硏究し之に適するものを造らなければならない、然らざれば邦商品は外國品と支那品との板ばさみに依つて自滅するの外はない、今參考の爲め支那人及露西亞人の嗜好を見るに左の如し。

支那人の嗜好。

一、價格の低廉なること、安いものが喜ばれ品質は第二とされる。

二、容量の多量なること、のみとり粉で安住大藥房の猪印が露人間に賣れてゐるに反し支那人には容量が多いとて日本除虫粉の猿鷄印が喜ばれる等は一例なり

三、色は藍紅、アニリン染料等で上表だけ染まつて切つた時に內側の白い部分が現はれたりする事は好まれない幾度も染めたものがよい。

四、模樣は濃厚なもの、矢張濃厚なものが好かれる、さうして花ならば牡丹や菊人物

は偉人、又は美人文字ならば「福壽」寶等が特に好れる。

五、商標に對する觀念が强い、支那人も亦商標に對する觀念が强い同一品又はそれ以上でも舊い名の通つた商標と新商標とは値段に於て必ず差額を存して居る綿糸布取引等で常に見る所である。

露人の嗜好

一、洗濯に堪へ得るものなること、金糸で刺繡した着物等を見ても之は幾度洗濯が出來得るかと尋ねるものが往々にしてある程である、ロシヤ更紗は此點に於て最も優れたものである、同品は破れるまで洗濯しても色の變らぬのみならず洗濯すればする程光澤を增したものである、日本品の殆んど凡ては此の第一要點を缺いでゐる。

二、外觀するも實質の堅牢寧ろ頑丈なること、日本品は外觀甚だ美であるけれども實質之に伴はないロシヤのクズネオフ製陶器と日本製陶器と比較する時は明かに證據立てられる所である。

三、大形なること、手先等は不器用で且つ體全體が大きい爲め總て大形のものを好む日本人は自らが小さい爲め其對外輸出品も亦小さくて外人には不便なる

ものが多い、織物は可成廣幅なる事タオルの如きも可成大形なること其一例で最も注意すべき點である。

四、可成價格の低廉なること。

最近の困窮狀態では餘り高價なるものは買ひ得ないから尙更のことである、

五、色はネビ、茶、カーキ、白及黑但し色は流行が一定的に云はれぬが黑色ばかり多いのは喜ばれないそして色合を多數揃へれば揃へる程氣受のよい事は勿論である。

六、模樣は概して濃厚なもの、一般にゴテゴテしたものを好む之亦流行のある事は勿論である。

七、商標に對する觀念が强い一旦信用したものは其商標を指圖し購ひ決して他のものを顧みない。

八、建値は是非買手希望の場所渡とすること、各店を問合はして其中で最も安い店で買はふとするから比較硏究の出來ない他所の建値では考査の時除外さるゝ恐れがある獨逸商店は買手希望通りの土地に於ける建値を提供する。

然れども日本の現狀を見る時卽ち資本家は目前の利を追ふに急にして勞働者

は徒らに高き勞賃を要求することのみを知つて技術を練らず百圓と定價して賣れない商品が二百圓と定價を上昇して賣れる日本の現狀を顧みる時斯る遊蕩的氣分の彌蔓しつゝある現狀の日本を以つてして果して邦商品の改造を遂行し得らるゝや甚だ心細き次第である。

二、邦商發展助長機關の完備

(イ)　對滿貿易機關の設立

哈爾賓あたりより英米獨等に商品の註文書を發してより著荷までには半年短くとも三四箇月を要す、短距離にある日本は此の點に於て大なる強味を有すと云はなければならない、然るに現在に於ては日本より商品を取揃へて取寄せるには矢張り四五箇月を要しつつある。之れ日本の商人が對滿貿易に熱心ならざると便宜なる取次機關なきとの爲めに依る、卽ち現在に於ては日本はその有する利點を少しも利用してゐない譯である、故に滿洲に於て需要ある商品を直ちに日本內地より取寄せ得るが如き機關の設立は此の有力なる武器を活用するの所以である、從つて又對滿貿易品の指導改善に任せしめ得る機關ともなる。

哈爾賓の商品陳列館は獨特の出品法を採り卽ち內地に於て東京、橫濱、名古屋と

地方別によりて出品人の團體を組織せしめ外國品との競爭品質の良否、竝に調達の成否等團體員全體をして連帶責任を以て之に當らしめ苟も無責任なる粗製濫造を避ける事を努めてゐる、之れ曾て獨逸が貿易の發達を期する爲めに諸列國特に露國にこの方法を以て成功したるに擬したもので甚だ當を得た策である、然れどもよの考ふる所によれば此の組織を今少しく徹底せしめ單に哈爾賓商品陳列館のみに對するものとせず全滿洲に對する我貿易に裨益する組織たらしめることを必要とする、

(ロ) 商品陳列館の完備(詳くは調査時報第四卷第二號參照)

現在滿洲に於ける日本商品陳列館は哈爾賓、長春、鐵嶺、安東、錦州、奉天(最近開設の運びに至る)六箇所である、然れども此の中商品陳列館として稍その機能を發揮しつゝあるは僅かに哈爾賓商品陳列館のみにして他は殆ど見るべき價値がない是れ在滿邦商品陳列館が其の間に何等組織の統一及連絡なく或は滿鐵の經營に係り或は日露協會の經營に係り或は商業會議所の兼營に係り甚だしきに至つては營利會社の經營する所にして而も財源裕ならずそれ自身充分なる活躍をなし得ざると且つは商品陳列館なるものゝ重要さが一般に看過せられつゝあるに依る。

商品陳列館なるものが商品を陳列紹介し、貿易實務を幇助し經濟調査に任じ及び其他商業助長に資する凡ゆる事務を行ふものにして商業發展の爲め重要なる役目を有し殊に滿洲の如き露支人を相手とし外商の競爭場裡に伍してその販路の擴張を計る場合には之が完備の必要切なるは少しく心ある者に對して殆ど事新しく論ずるの必要を認めない所であらう。

滿洲に於る商品陳列館制度につきては先きに調査時報第四卷第二號に於て記述したるを以て今こゝに詳しく論ずることを避け同時報を參照せられんことを乞ふとして只次にその結論のみを再記することにしやう。

「滿洲に於ける我商品陳列館の現狀は上述の如くなるを以て何人も之が改造の必要に想到するであらう、現狀を以てしては僅かに無きに勝るの程度にして決して商品陳列館の使命を完ふし居るとは謂ひ得ない。

加ふるに近時歐米人の滿洲發展は著しきものあり殊に北滿に於ては激烈なる列國の商品戰が演ぜられつゝある、又最近は本邦下級品の支那製品に蠶蝕せらるの傾向著しく本邦商品は目下甚だしき窮境に在る、卽ち現在は本邦商品の覺醒期である、之が指導宜しきを得る爲めにも滿洲に於ける我商品陳列館は

頗る重大なる任務を有すと云はなければならない、然れども現狀を以てしては果して此の重大なる任務を克く全うし得るや否や然らば之を如何に改造するか。

本研究に於ては只在滿我商品陳列館改善の必要を述ぶるを目的としたるを以て今其の詳細なる改造具體案を有せざるも滿蒙開發の大使命を有する滿鐵が獨力之が統一經營に任ずるか或は關東廳、滿鐵、東拓、鮮銀、正金等の寄合經營するかの二途に出でぬであらう。

要は金と人とを以て統一的組織的に經營するに在る」。

(八) 競賣方法

上海あたりに於て外國人は自己の製品の販路を求めんとする時多く此の地の競賣業者を利用する、日本內地に於て競賣と云へば潮濡れか不完全なる商品の賣買の樣に思はれるが此の地に於ては "Cargo Goods Auction" といふて完全なる輸入品の競賣である。

製造家は其製品を先づ競賣業者を通じて一定の價格に賣らしめる、若し其製品が堅實で價が廉であれば必ず數箇月か一箇月後には同品の需要を喚起する斯く

して製造家は毎月少量宛を試賣し徐々に研究を重ねて行き需要の確實を究めて始めて大々的に根柢深く市場に入り込むのである。

勿論商品販路擴張の原則として堅牢にして價が廉でなければならない、英國製品は皆此のモットーに基いて徐々に販路を開拓しつゝある、尙競賣業者の多くは數十年此の地に於ける英人で資本も裕に信用も確實なるものゝみである。

滿洲の哈爾賓あたりに於て新しく日本品の販路を開拓せんとする場合此の競賣方法は確かに一考する價値があると思ふ、勿論そは日本品が堅實にして獨特の性質を有するものに改造せらるゝことを前提とする。

三、病院の設備。

抑々健康に對する保證なければ邦人も安神して地方的發展を企圖することを得ない然るに現狀は少しく地方に入れば醫者の存在するなく若し存在するとするもそは殆ど藪醫者にして生命を託するに足らない、故にこれ等地方に居住するものは全く生命の保證なきものと云はなければならない、卽ち彼等は少しく重病にかゝるや最早死を待つより外なき狀態に在る、

故に滿鐵沿線及東支沿線の主要都市に權威ある大病院を設立しその都市のみ

ならず附近地方の患者をして輕易に治療するを得るものたらしめることは邦人の地方發展につき最も重要なる施設である、從來も此種の病院なきにしもあらざれど眞に此使命に任ずるもの少く或は不親切或は治療費高との批評を聞く、最近哈爾賓に一大病院の設立が計劃されつゝありとか吾人の意を大いに强うする所である、願くは地方民も安神して且つ心易く治療し得るものたらしめたい。

更に此等主要都市の病院より巡廻醫師を地方に派遣するも又一策である、若し夫れ相當なる醫師を此等地方に駐在せしむるを得ばこれに越したことはない、

四、小學校の設備。

少しく田舍地方にある日本人はその子供の敎育に甚だしく不便を感じつゝある、此等の子供は遠距離を通學するが然らざれば內地或は滿洲の小學校所在地の知人に託せられて敎育を受けなければならない而も適當なる知人を有せざるものにとりては大いに困惑する所である、斯の如くして折角田舍地方に發展したものも生活の安定を得ない譯である。

かくて邦人の地方發展策を講ずる時その地方兒童の敎育問題は必ず考究せられなければならない、余の考ふる所に依れば夫々適當なる既存の小學校に寄宿舍

を建てその附近田舍地方の兒童を收容しその親達をして子供の全部を安神して學校に委任するを得るものとすることが必要である、之先きの病院設備問題と相俟つて邦人の地方發展に資するものである。（完）

大正十三年五月三十一日印刷
大正十三年六月　一　日發行

南滿洲鐵道株式會社
庶務部調査課

大連市吉野町五十一番地
印刷者　太田信三

大連市吉野町五十一番地
印刷所　小林又七支店